HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

8インチプレミアムインターナビ
VRM-165VFEi

プレミアムインターナビ
VRM-165VFi

ナビゲーション・オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。（商品の適用車種はHonda販売店にご確認ください。）
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書とセキュリティカードも一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。

アドバイス	● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。 ● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
お願い	お車のために守っていただきたいことを表します。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
MENU	本体に常に表示されている標準キーを表します。
名称	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。

使用上の注意事項等

- **本機の操作**
  - ・運転中の操作は避け、停車して行ってください。
  - ・運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の故障、誤動作または不具合によりSDカードやUSB機器内などの保存データの消失等については補償できません。**

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書では代表としてVRM-165VFEiのイラスト／画像を記載しています。
機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

VRM-165VFEi：VRM-165VFEi
VRM-165VFi　：VRM-165VFi

● BLUETOOTH® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

VRM-165VFEi
T A15-0051005
R 005-100452

VRM-165VFi
T A15-0052005
R 005-100453

もくじ

本書の読みかた……3

はじめに A-1

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-6
各部のなまえとはたらき……A-11
タッチパネルの操作のしかた……A-12
メニュー画面の操作方法……A-14
ディスプレイの角度を調整する……A-16
ディスクやSDカードを入れる／取り出す……A-16
文字／数字の入力方法について……A-18
本機を起動する……A-20

ナビゲーションの基本操作 B-1

地図画面の見かた……B-2
地図表示(方位)を切り替える……B-4
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-5
地図を拡大／縮小する……B-7
現在地を表示する……B-8
Quick MENUを設定する……B-9
Quick機能について……B-10
自宅を登録する……B-12
地点を登録する……B-13
右画面に地図／情報を表示する……B-14

目的地を探す C-1

名称で目的地を探す(施設50音)……C-2
電話番号で目的地を探す……C-4
住所で目的地を探す……C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する……C-7
周辺にある施設から目的地を探す……C-8
表示できる施設……C-10
施設のジャンルから目的地を探す……C-12
登録地点で目的地を探す……C-16
マップコードで目的地を探す……C-17
郵便番号で目的地を探す……C-18
地図から目的地を探す……C-18
緯度・経度で目的地を探す……C-19
スマートフォンアプリNaviConについて……C-20

ルート探索をする D-1

ルート設定について……D-2
ルート探索をする……D-4
クイック ルート探索をする……D-6
ルートを変更する……D-7
ルート案内をストップ／スタートする……D-12
現在のルートを表示する……D-12
現在のルートを保存する……D-13
現在のルートを削除する……D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-13
渋滞地点を確認する……D-14
経由地をスキップする……D-14
デモ走行をする……D-15
迂回探索をする……D-16
再探索をする……D-17
ルート探索条件の設定をする……D-18

情報を見る E-1

交通情報(VICS情報)を見る……E-2
緊急情報を見る……E-4
交通情報を選局する……E-5
プリセット(保存)する……E-6
プリセット(保存)呼び出しをする……E-7
internavi情報について……E-8
本体情報を見る……E-8
ecoドライブ情報を設定する……E-9
ETC情報を見る……E-14

ナビゲーションの設定 F-1

地図画面の表示設定をする……F-2
案内画面の設定をする……F-5
ランドマーク表示の設定をする……F-9
自車マークの種類を設定する……F-10
現在地(自車)の位置を変更する……F-11
VICS表示の設定をする……F-12
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-13
平均時速を設定する……F-14
登録地点の編集……F-15
登録地点を並び替える……F-20
自宅／登録地点の位置を修正する……F-22
自宅／登録地点を削除する……F-23
SDカードから地点を登録する……F-24
パーソナルHPと同期について……F-25
走行軌跡を使う……F-26

各種設定をする G-1

internavi設定について……G-2
オプションボタンの設定をする……G-2
ETCの各機能を設定する……G-3
セキュリティを設定する……G-5

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する…G-6
リアカメラ映像を表示する……G-13
リアカメラの次回表示ビュー設定
（リアワイドカメラ接続時のみ）……G-18
キー操作音の設定をする……G-19
データを初期化（消去）する……G-20
映像中の時計表示の設定をする……G-21

オーディオを楽しむ H-1

オーディオの基本操作……H-2
CDを聞く……H-5
FM／AMを聞く……H-9
iPod／iPhoneを使う……H-12
USB機器／SDカードを使う……H-19
BLUETOOTH Audioを使う……H-26
Music Rackを使う……H-34
フェード・バランス／サブウーファー音量の
調整をする……H-44
イコライザー（音質）の設定をする……H-44
サラウンドの設定をする……H-46
スピーカーの設定をする……H-47
車速連動音量を設定する……H-48

Music Rackに音楽を録音する I-1

音楽CDの録音設定をする……I-2
音楽CDを録音する……I-3
タイトル情報の更新について……I-5
ローカルアップデートをする……I-7
カスタムアップデートをする……I-8
Music Rackへ録音時の注意点について……I-10
Music Rackの使用容量を確認する……I-11
Gracenoteデータベースのデータを初期化する…I-12
録音データを初期化する……I-12

DVDを見る J-1

DVDを見る……J-2
DVDの初期設定をする……J-6

Digital TVを見る K-1

miniB-CASカードを入れる／取り出す……K-2
TVを見る……K-4
テレビの設定をする……K-10
緊急警報放送について……K-12

外部機器の映像を見る／音声を聞く L-1

接続する……L-2
映像を見る／音声を聞く……L-4

ハンズフリーを使う M-1

初期登録設定……M-2
ハンズフリー電話を使う……M-10
ハンズフリーの通話設定……M-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する……M-15
QQコールを利用する（有料サービス）……M-17
QQコールを表示する……M-17
Siri Eyes Free機能を使う……M-19

困ったとき N-1

故障かな？と思ったら……N-2
こんなメッセージが表示されたら……N-21

必要なとき O-1

GPS衛星の電波受信と測位……O-2
自律航法とマップマッチング……O-3
交通情報（VICS情報）について……O-4
音声案内について……O-5
ルート案内時の注意点……O-6
出発地・経由地・目的地の設定について……O-8
VICSについて……O-10
地図ソフトについて……O-14
市街地図（10 m／25 m／50 mスケール）
の収録エリア……O-18
地図に表示される記号……O-22
ETCについて……O-23
映像の調整のしかた……O-24
オーディオ リモコン スイッチ……O-26
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…O-28
Gracenoteデータベースについて……O-29
ディスク／SDカードについて……O-31
USB機器について……O-34
miniB-CASカードについて……O-35
ウォークマン®について……O-36
iPod／iPhoneについて……O-38
BLUETOOTHについて……O-39
リア席モニターについて……O-42
音楽ファイルについて……O-44
画像ファイルについて……O-48
動画ファイルについて……O-49

構成内容……O-51
仕様……O-52
初期設定一覧……O-53
別売品(システムアップ)について……O-56
商標など……O-58
個人情報の取り扱いについて……O-60
保証とアフターサービス……O-60
さくいん……O-61

A
はじめに

安全上のご注意……A-2
使用上のお願い……A-6
各部のなまえとはたらき……A-11
CLOSE状態……A-11
OPEN状態……A-11
タッチパネルの操作のしかた……A-12
メニュー画面の操作方法……A-14
AUDIOメニューの表示のしかた……A-14
目的地メニューの表示のしかた……A-14
トップメニューのボタンを変更する……A-15
ディスプレイの角度を調整する……A-16
ディスクやSDカードを入れる／取り出す…A-16
文字／数字の入力方法について……A-18
ひらがな／カタカナ／英数を入力する……A-18
漢字を入力する……A-18
数字を入力する……A-19
訂正する……A-19
本機を起動する……A-20

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

● **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

● **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

⚠ 警告

分解禁止

当商品を分解したり、改造しない

故障の原因となります。

⚠ 注意

取り付け（取り外し）や配線は、Honda販売店に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

ご使用になるとき

⚠ 警告

実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。

リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用する

直接目視による安全確認をしながら運転してください。

運転者がテレビなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する

テレビは安全のため走行中は表示されません。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

接触禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ご使用になるとき

⚠ 警告

ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

安全のため運転者は、走行中に本機や携帯電話を操作しない、また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする

前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

⚠ 注意

ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があり、交通事故の原因となります。

長時間ご使用にならないときは、ディスク／SDカード／miniB-CASカードを取り出す

長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカード／miniB-CASカードを傷める原因となることがあります。

ご使用になるとき

⚠ 注意

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない

火災の原因となることがあります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない

液晶パネルのガラスが割れて、ケガの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない

急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがをするおそれがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない

挟まれてけがの原因となることがあります。

ディスク／SDカード／miniB-CASカード挿入口に手や指を入れない

けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

温度について

- 極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに結露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。
強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域にくると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路(道幅5.5 m未満の道路)を表示しません。
  ※細街路を走行しているときは、細街路表示をします。
  ※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

＜ディスプレイ部の清掃＞

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔かく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。（汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。）濡れたぞうきん・有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

＜本体の清掃＞

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ（車内側）のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。（汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。）有機溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

パネルについて

本機のパネル面は傷が付くと目立ちやすくなりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

外部接続機器(USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話)について

- USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器／iPodが接続されているときに、USB機器／iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSB機器などは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

その他

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク／SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミなど異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやテレビ、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

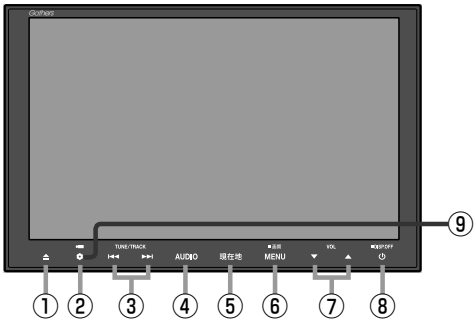
その他

- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 本機の時計表示は、車両装備の時計と時間表示が異なる場合があります。

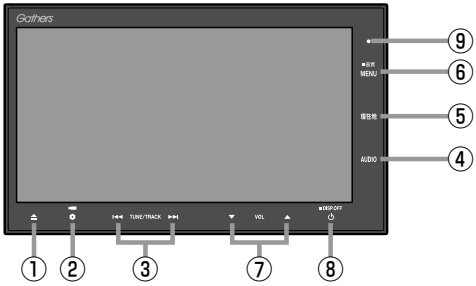
各部のなまえとはたらき

CLOSE状態

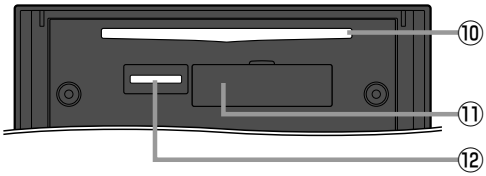
VRM-165VFEi



VRM-165VFi



OPEN状態



① ⏏ ボタン
ディスク／SDカード／miniB-CASカードの出し入れをするときにタッチします。

② ⚙ ボタン(オプション)
オプションボタン設定画面で設定した機能の操作をします。

③ ⏮ ／ ⏭ ボタン
- 短押しで以下の操作になります。
  曲／ファイル：頭出し
  FM／AM　：選局
  ※長押しすると自動選局します。
  Digital TV：選局
  DVD　　：前後のチャプターへ移動
- 押し続けると以下の操作になります。
  曲／ファイル：早戻し(⏮)、早送り(⏭)
  DVD　　：早戻し(⏮)／
  早送り(⏭)(再生中)
  スロー戻し(⏮)*1／
  スロー送り(⏭)(一時停止中)

＊1…VRモードではスロー戻しに対応していません。

④ AUDIO ボタン
AV MENU画面または、選択中のオーディオ画面を表示します。

⑤ 現在地 ボタン
現在地の地図を表示します。

⑥ MENU ボタン
- メニュー画面を表示します。
- 長押しすると画質調整画面を表示します。
- DVD視聴中に操作ボタンを表示します。

⑦ ▼ ／ ▲ ボタン(VOL)
オーディオの音量を調整します。

⑧ ⏻ ボタン
- オーディオ操作をON／OFFするときに使います。
- 長押しで画面を消します。

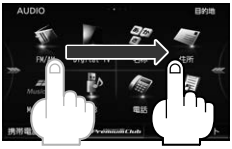
⑨ セキュリティインジケータ
セキュリティコード設定時に点滅します。(盗難抑止効果)

⑩ ディスク挿入口

⑪ miniB-CASカード挿入口カバー

⑫ SDカード挿入口

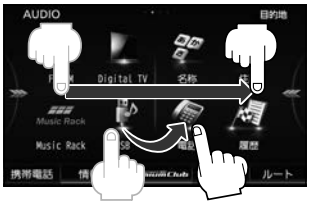
タッチパネルの操作のしかた

タッチ（軽く触れる）	ドラッグ（なぞる）	フリック（はらう）	ピンチ（つまむ、広げる）
画面に軽く触れます。	画面をタッチしたまま、指を移動します。	画面をサッとはらうように指を動かします。	2本の指で画面にタッチしたまま、つまむようになぞったり、広げるようになぞったりします。
			
●本書で「○○を選ぶ」と記載している場合は、タッチしてください。	●メニュー画面、地図画面、リスト画面で操作できます。	●メニュー画面、地図画面、リスト画面で操作できます。	●地図画面で操作できます。

画面を操作するときは指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面に傷が付いたり、誤動作の原因となります。

メニュー画面でのドラッグ／フリック操作例

左右にドラッグまたはフリック



左右のメニューが表示されます。

アドバイス 各メニュー画面の表示のしかたについては、「メニュー画面の操作方法」A-14

リスト画面でのドラッグ／フリック操作例

しばらくリストをタッチして▲／▼が表示されたときに、ドラッグ／フリック動作ができます。

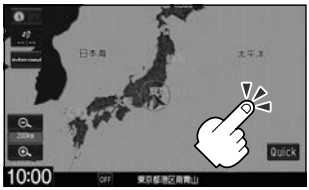
上下にドラッグまたはフリック

スクロールします。

アドバイス
- Digital TVソース（チャンネルリストなど）、FM／AMソース（放送局リストなど）、DVDソース（タイトルリストなど）では、ドラッグ／フリックによるスクロールはできません。
- ドラッグ／フリック操作のほかに、▲／▼をタッチしてもリストを上下に動かすことができます。
- 走行中はリスト画面でドラッグ／フリック操作はできません。

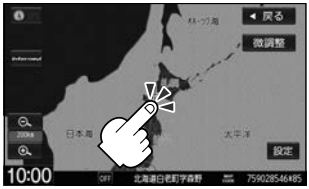
地図画面でのタッチ／ドラッグ／フリック／ピンチ操作例

タッチ
（1回タッチ）



タッチした場所が地図の中心になります。

タッチ
（1本の指ですばやく2回タッチ）

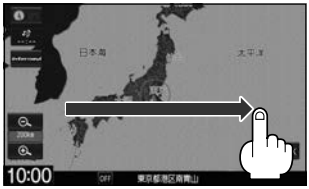


地図が拡大します。

タッチ
（2本の指で1回タッチ）

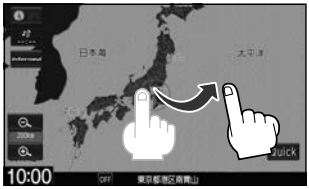
地図が縮小します。

ドラッグ



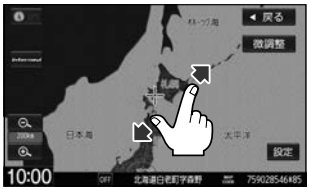
指の動きに合わせて、地図がスクロールします。

フリック



フリックした方向に地図がスクロールします。

ピンチ



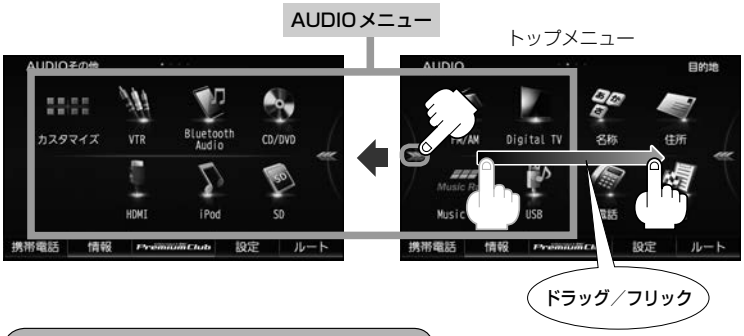
地図画面をつまむようにすると縮小し、指を広げると拡大します。

メニュー画面の操作方法

本機のほとんどの操作はメニュー画面から行います。

AUDIOメニューの表示のしかた

MENU をタッチしてトップメニューを表示します。

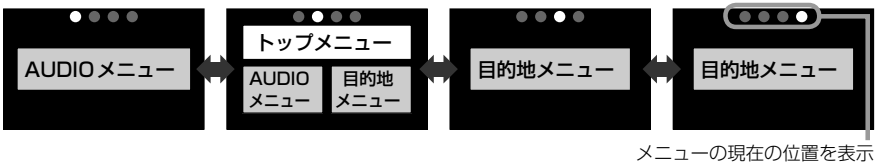


目的地メニューの表示のしかた

MENU をタッチしてトップメニューを表示します。

アドバイス

- 走行中はドラッグによるメニュー操作はできません。
- 各メニューは下図のように配置されています。
  トップメニューには、AUDIOメニュー／目的地メニューの各４ボタンが表示されています。



各メニュー画面共通で表示される項目について

携帯電話 …携帯電話の設定や発着信などのメニューが表示されます。
情報 …FM多重やecoドライブなどのメニューが表示されます。
internavi LINC PremiumClub …インターナビ・リンク プレミアムクラブのメニューが表示されます。
設定 …各種設定メニューが表示されます。
ルート …ルート編集などのメニューが表示されます。

トップメニューのボタンを変更する

トップメニューに表示するAUDIOメニュー／目的地メニューの各４ボタンをお好みで設定できます。

1 AUDIOメニュー(☞ A-14)／目的地メニュー(☞ A-14)から **カスタマイズ** をタッチする。

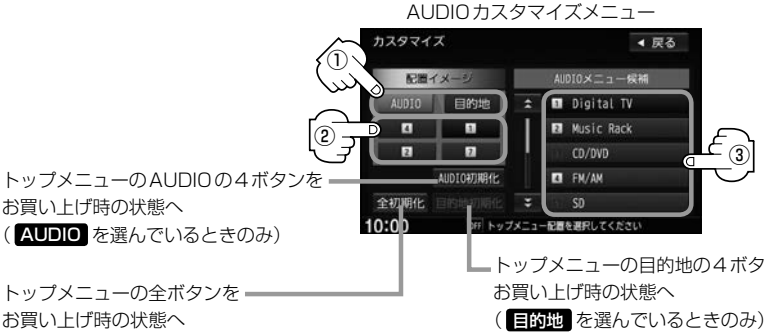
：カスタマイズメニューが表示されます。

2 カスタマイズの操作をする。

① 配置イメージからカスタマイズしたいメニュー(**AUDIO** ／ **目的地**)を選び、タッチする。

② カスタマイズしたいボタンを選び、タッチする。

③ 右側のメニュー候補から設定したい機能を選び、タッチする。



3 MENU をタッチする。

：設定したボタンがトップメニューに表示されます。

ディスプレイの角度を調整する

VRM-165VFiのみ

ディスプレイの角度を手動や工具を使って無理やり調整しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

1 ▲をタッチする。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2 ◀または▶をタッチする。

※ディスプレイの角度を５段階に調節できます。

アドバイス 車のエンジンスイッチをロックに入れると、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると、前回角度調整した段階でディスプレイが開きます。

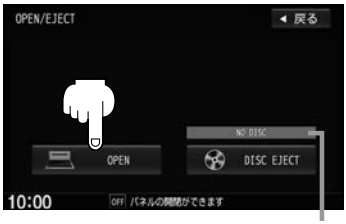
ディスクやSDカードを入れる／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

1 ▲をタッチする。

2 OPENをタッチする。

：ディスプレイが開きます。

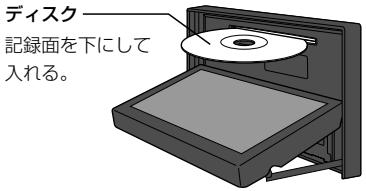


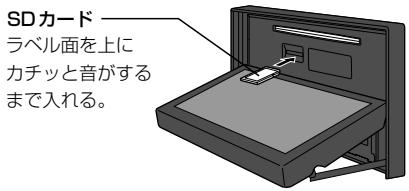
DISC IN：ディスク挿入済み
NO DISC：ディスク未挿入

3 ■ ディスク／SDカードを入れる

① ディスク／SDカード挿入口にディスク／SDカードを挿入する。

：挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。





■ ディスクを取り出す

① DISC EJECT をタッチする。

：ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

② ▲ をタッチする。

：ディスプレイが閉じます。

■ SDカードを取り出す

① SDカードを１回押して取り出す。

② ▲ をタッチする。

：ディスプレイが閉じます。

アドバイス

- ディスプレイが開いたまま、車のエンジンスイッチをロックに入れた場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的には閉じません。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合がありますので、十分お気をつけください。
- 長時間使用すると、SDカードが熱くなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- ディスク挿入時に ▲ を長押しすると、自動でディスクが押し出されます。
- CDを挿入すると自動で録音を開始する初期設定になっています。設定を変更するには ☞ I-2
- すでにディスクが挿入されている状態で、２枚目のディスクを挿入しないでください。

文字／数字の入力方法について

入力する場面によっては、入力できる文字の種類に制限があります。画面に表示されるボタンは、入力する画面によって異なります。
（例）施設名称検索（☞ C-2）で入力できるのは、「ひらがな」のみです。

ひらがな／カタカナ／英数を入力する

1 入力したい文字の種類を選ぶ。

タッチするたびに
カナ → 英数 → かな と切り替わります。

2 文字を入力し、**無変換** ➡ **決定** をタッチする。

※ **無変換** のタッチが不要な場合があります。そのときは **決定** をタッチしてください。
※小文字を入力したい場合は、 **小文字** をタッチしてください。（変更可能な文字のみ）

漢字を入力する

1 ひらがなで文字を入力し、**変換** をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。

2 変換したい漢字を選び、**決定** をタッチする。

アドバイス

- ← ／ → をタッチして変換する文字の範囲を選ぶことができます。
- ■ をタッチすると１文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。
- 設定を変更するときは **決定** をタッチして設定を保存してください。 **決定** をタッチしないで 現在地 ／ MENU ／ **戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

数字を入力する

1 数字を入力し、**決定** をタッチする。

訂正する

入力した１文字を訂正	**訂正** をタッチ
全ての文字を訂正	**訂正** を長押し
途中の文字を訂正	**←** ／ **→** をタッチし、訂正したい文字の右側へカーソルを移動 ➡ **訂正** をタッチ

本機を起動する

1 車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れる。

：起動初期画面が表示され、しばらくすると現在地の地図が表示されます。

起動初期画面

自車マーク

現在地表示画面

「あれ？画面がちがう…」
起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチをロックに入れる前に表示していたモードの画面になります。地図画面を表示しなかった場合は、 現在地 をタッチしてください。

バッテリーまたは本機を一度車から外した場合

起動初期画面の後に、セキュリティコード入力画面が表示されます。下記操作を行ってください。

① **数字をタッチしてセキュリティコードを入力し、 決定 をタッチする。**
：現在地の地図が表示されます。
※規定回数間違うと、一定時間操作ができなくなります。
※セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが記載されています。セキュリティコード入力画面が表示されたら、5桁の数字を入力してください。
セキュリティカードは、なくさないよう保管してください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げのHonda販売店までお問い合わせください。
※セキュリティコードを変更することはできません。
※起動時のセキュリティコードの入力を省略するには
G-5

ラベルの一番下の行にセキュリティコードが記載されています。

アドバイス

- **実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。**
- **お買い上げ後、一度も現在地の測位ができていない場合は、本田技研工業株式会社本社付近を表示します。**
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

B
ナビゲーションの基本操作

地図画面の見かた……B-2
タッチパネル部について……B-2
画面の表示内容について……B-3
地図表示(方位)を切り替える……B-4
地図をスクロールする(地図を動かす)……B-5
平面地図でスクロールする……B-5
3D表示画面でスクロールする……B-6
地図を拡大／縮小する……B-7
現在地を表示する……B-8
表示された現在地が実際の現在地と違うときは…B-8
Quick MENUを設定する……B-9
Quick機能について……B-10
道路切替ボタンの機能について……B-10
自宅を登録する……B-12
地点を登録する……B-13
右画面に地図／情報を表示する……B-14
全画面表示に戻す……B-16

地図画面の見かた

操作するためのタッチボタンやさまざまな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネル部について

現在地画面

スクロール画面

①方位ボタン
地図表示(方位)を切り替えることができます。
☞ B-4

②VICSタイムスタンプボタン
- VICS情報が提供された時刻を表示します。
- 渋滞／規制地点を表示します。

③ internavi ボタン
internavi画面を表示します。
☞ 別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編

④ ／ ボタン
地図の縮尺スケールを変更します。

⑤ Quick ボタン
Quick MENUを表示します。
☞ B-10

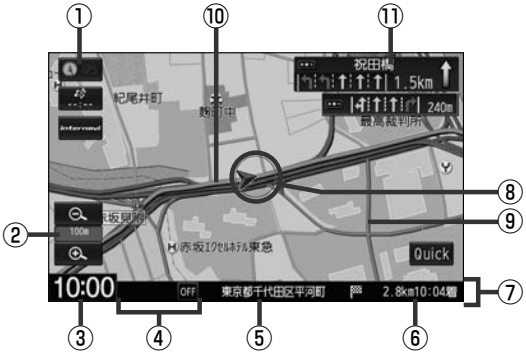
⑥ 戻る ボタン
現在地または1つ前の画面に戻ります。

⑦ 微調整 ボタン
スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)
☞ B-6

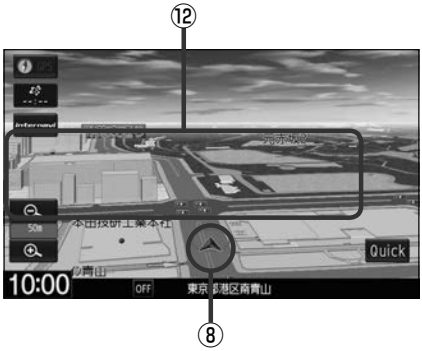
⑧ 設定 ボタン
設定MENUを表示します。☞ B-11
閉じる をタッチすると設定MENUを閉じます。
※設定MENU以外の画面をタッチしても閉じることができます。

画面の表示内容について

平面地図画面



3D地図画面



①GPS受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。
青色：現在地の測位ができている。
灰色：現在地の測位ができていない、
または測位計算中

アドバイス 測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてからしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

②縮尺スケール

地図のスケールを表示します。

③現在の時刻

④各種マーク表示

- 再生中のオーディオソースや接続されている機器のマークを表示します。
- ecoドライブを開始したときにマークを表示します。

⑤周辺の住所(または道路名)・AUDIO情報

※どの情報を表示させるか設定できます。
F-3

⑥目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。

⑦情報バー

⑧自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。
※設定により自車マークを変更することができます。
F-10

⑨道路

道路の種類を色で区別しています。
青　色：高速道路、有料道路
赤　色：国道
緑　色：主要地方道、県道
灰色(太線)：一般道、細街路
灰色(細線)：細街路
青色(点線)：フェリー航路
※灰色(破線)はルート探索できません。
※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

アドバイス 道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。上記の色は **ノーマル** を選んだときの色を記載しています。
F-2

⑩設定ルート

ルート探索を行うと、探索されたルートがピンクまたはイエロー(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。
F-5

⑪交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。
※お客様の設定によっては表示されません。
F-5

⑫立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

1 地図画面の方位ボタンをタッチする。

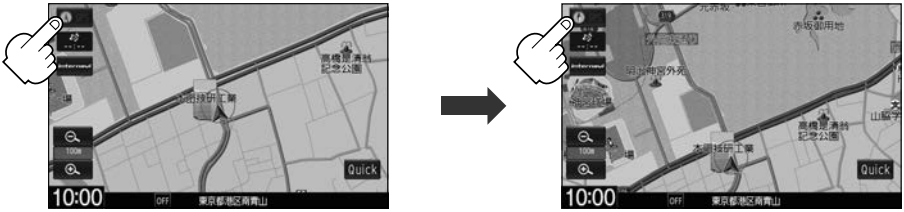
：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

北方向を上

北方向が常に上になります。

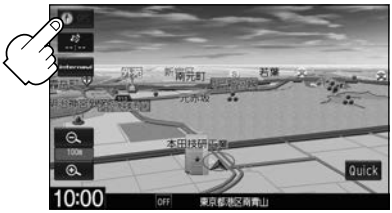
進行方向を上

進行方向が常に上になるようにして、自車マークと画面の向きを一致させることができます。走行に合わせて地図が回転します。



3D表示

進行方向は常に画面の上方向になります。



アドバイス

- 設定MENU表示中や目的地検索中などでは、地図表示(方位)を切り替えられない場合があります。

3D表示について

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3D表示の角度調整をすることができます。F-2
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図をスクロールする(地図を動かす)

停車中、地図をスクロールして、見たい地域を表示することができます。

平面地図でスクロールする

タッチしてスクロール

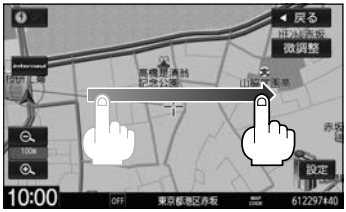
1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(┼)が表示され、タッチした場所が中心になります。

ドラッグしてスクロール

1 地図をドラッグする。

：指の動きに合わせて、地図がスクロールします。



フリックしてスクロール

1 地図をフリックする。

：フリックした方向に、地図がスクロールします。

アドバイス

- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 走行中は、スクロール操作が制限されます。

微調整をする

1 **地図をタッチし、 微調整 ➡動かしたい方向の矢印をタッチする。**

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※ ↕↔ 以外をタッチするとスクロールしません。

※微調整が終了したら 調整終了 をタッチしてください。スクロール画面に戻ります。

※微調整は平面地図のみ可能です。

3D表示画面でスクロールする

1 **地図をタッチする。**

：画面にカーソル(−┼−)と ↺ / ↻ が表示されます。

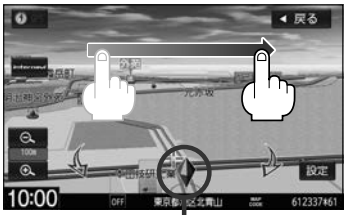
2 **動かしたい方向へドラッグ／フリックする。**

：地図がスクロールします。

※ ↺ / ↻ をタッチして向きを変えることもできます。

↺ ：カーソル(−┼−)を中心に右回転(時計まわり)

↻ ：カーソル(−┼−)を中心に左回転(反時計まわり)



自車マークは ◆ で表示

地図を拡大／縮小する

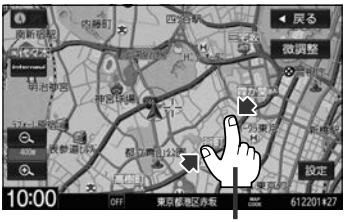
1 ／ をタッチ、または地図画面をピンチやタッチする。

／ をタッチしたとき

市街地図（10 m／25 m／50 m）表示のスケールの背景色は茶系色、それ以外は灰色で表示

タッチやドラッグでも詳細（拡大）表示、広域（縮小）表示させることができます。
※ドラック操作は走行中できません。

地図画面をピンチしたとき



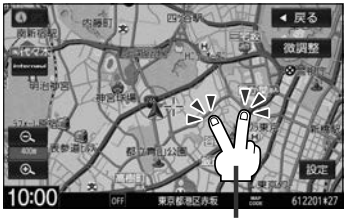
広域（縮小）表示

詳細（拡大）表示

地図画面をタッチしたとき
（1本の指ですばやく2回）

詳細（拡大）表示

地図画面をタッチしたとき
（2本の指で1回）



広域（縮小）表示

アドバイス

- 右画面に地図を表示していて右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面上で、同じように操作してください。
- ピンチやドラッグ操作以外でも ／ をタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺スケールになったら指を離してください。
- 走行中は、ピンチ操作してフリーズームさせることができません。

現在地を表示する

地図をスクロールしたり、住所などで目的地を探索したあとに、現在地表示に戻すには 現在地 をタッチします。

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。

アドバイス

- 現在地(自車)マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。☞ F-11
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 現在地(自車)マークの位置や角度が間違っている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。

Quick MENUを設定する

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

1 現在地表示時に Quick ➡ Quick設定 をタッチする。

：Quick MENU設定画面が表示されます。

2 Quick MENU配置より配置したい場所を選んでタッチする。

Quick MENUの設定をお買い上げ時の状態へ

選んだメニューを消去

メニューを全て消去

現在設定されているメニューの配置イメージ

3 メニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。

Quick MENUに追加できる機能

1 自宅(自宅へ帰る)
2 地点を登録
3 案内スタート／ストップ
4 周辺施設検索(周辺施設)
5 再探索
6 住所検索(住所)
7 電話番号検索(電話番号)
8 ジャンル検索(ジャンル)
9 登録地点検索(登録地点)
10 目的地履歴検索(目的地履歴)
11 郵便番号検索(郵便番号)
12 ルート編集
13 全ルート表示(全ルート)
14 登録ルート
15 道路切替
16 VICS表示設定
17 VICS文字情報(文字情報)
18 VICS図形情報(図形情報)
19 渋滞地点
20 ETC情報
21 登録地点編集
22 地図表示設定
23 ルート案内設定(ルート案内)
24 カーマーク設定(カーマーク)
25 ecoドライブ情報(ecoドライブ)
26 音声案内
27 右画面設定(右画面表示)
28 昼夜切替

(　　)内はQuick MENU表示時のボタン名

Quick機能について

主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／設定MENU)を設けています。
Quick MENUを表示させるには Quick (現在地表示時)、設定MENUを表示させるには 設定 (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

- **自宅へ帰る**
  自宅までのルートを探索します。
  ※あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。☞「自宅を登録する」B-12
- **案内ストップ** ／ **案内スタート**
  タッチするたびに、ルート案内ストップ⇔スタートが切り替わります。
  ※ルートが設定されていない場合、 **案内ストップ** ／ **案内スタート** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **渋滞地点**
  設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。
  ※ルート案内を停止している場合、 **渋滞地点** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **再探索**
  探索条件を変えて、再探索することができます。
  ※ルート案内を停止している場合、 **再探索** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **地点を登録**
  地点の登録を行います。
- **周辺施設**
  現在地の周辺施設を検索することができます。☞「周辺にある施設から目的地を探す」C-8
- **右画面表示**
  右画面に表示する情報画面を選びます。☞「右画面に地図／情報を表示する」B-14
- **昼夜切替**
  画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。
- **道路切替**
  一般道または有料道の切り替えをします。☞「(道路切替ボタンの機能について)」下記

アドバイス
よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに設定することができます。
☞「Quick MENUを設定する」B-9

道路切替ボタンの機能について

一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に 道路切替 をタッチすると強制的に他の道路へと切り替わります。

※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り替わるとは限りません。

アドバイス
有料道に切り替えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

設定 をタッチ(地図スクロール時)

- **目的地セット**
  目的地を登録し、ルートを探索します。「(現在地から目的地までのルートを探索する)」D-6

- **出発地セット**
  出発地を登録し、ルート探索します。「(出発地／目的地の変更)」D-7
  ※ルート編集画面で出発地の変更を行う場合に表示されます。

- **経由地セット**
  経由地を登録し、ルート探索します。「(経由地の追加)」D-9
  ※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。

- **複数探索**
  複数ルート探索を行います。D-3

- **自宅セット**
  自宅を登録します。「自宅を登録する」B-12
  ※自宅の登録を行う場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。

- **テナント情報**
  テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。
  ※市街地図(10 m／25 m／50 m)表示のスケールでテナント情報のある物件にカーソル(−┼−)をあわせます。

- **地点登録**
  地点の登録を行います。

- **地点編集**
  登録地点の編集や並び替え、削除ができます。「登録地点の編集」F-15／「登録地点を並び替える」F-20
  ※登録地点マークにカーソル(−┼−)をあわせます。

- **周辺検索**
  スクロール先の周辺施設を検索することができます。「周辺にある施設から目的地を探す」C-8

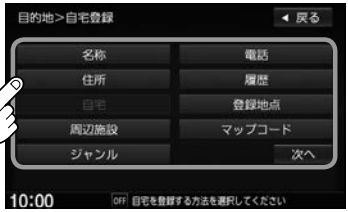
- **施設詳細**
  ランドマーク表示する設定をして、その表示されたランドマークにカーソルを合わせると施設の詳細情報が表示されます。

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、自宅までのルートを探索することができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から 自宅 ➡ はい をタッチする。

2 登録方法を選び、タッチする。

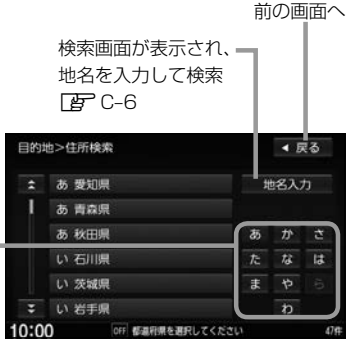


例 住所から自宅を探し登録する

① 住所 をタッチする。

② リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを順次選び、タッチする。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。（ 地図から ／ 出発地付近 ／ 目的地付近 で探索した場合は、地図のみ表示されます。）



アドバイス
- 丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を表示するリスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは都道府県名、市区町村名、町名を選んだあと 代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

3 自宅を登録する。

表示された位置で良いとき	自宅セット をタッチ ※ 設定 が表示されたら、 設定 ➡ 自宅セット をタッチ
位置修正やスケール変更をするとき	閉じる ／地図画面をタッチ➡カーソル(−┼−)を自宅に合わせる➡ 設定 ➡ 自宅セット をタッチ

：自宅が登録され、メッセージが表示されます。 はい をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。 いいえ をタッチすると、地図が表示されます。

アドバイス
- 自動的にマークは 🏠 になります。マークを変更することができます。
- 登録地の表示をしない設定にしている場合は、地点を登録しても地図上にマークは表示されません。
- 自宅を変更したい場合は、登録した自宅を削除してから再登録するか、または自宅編集から変更してください。

地点を登録する

地点にマークをつけて登録できます。（最大300カ所・自宅は含まれません。）

1 マークをつけたい場所にカーソル(−┼−)を合わせ、**設定** をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

2 **地点登録** をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。

アドバイス

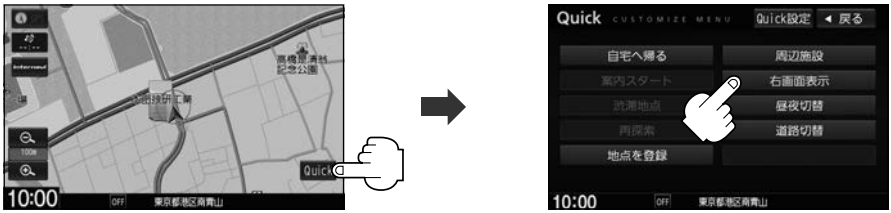
- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、上記手順 **2** の **地点登録** をタッチした後にメッセージが表示されます。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-24をご覧ください。
- マークを非表示にできます。（登録地検索時は表示）☞ F-3

右画面に地図／情報を表示する

現在地表示時、画面を２つに分けて、右画面にルート情報やecoドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

1 現在地表示時に、 Quick ➡ 右画面表示 をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



2 表示項目を選んでタッチする。

■ 右画面に地図を表示する

① 地図 ➡ OK をタッチする。

：地図が2 画面で表示されます。

アドバイス
- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 右画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示↔全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面の地図はスクロールできません。

■ 右画面にecoドライブ画面を表示する

① ecoドライブ ➡ OK をタッチする。

：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーター、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。
（ 表示切替 をタッチで表示の切り替え）

アドバイス
- ルート案内中は交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、交差点拡大図などを優先して表示します。
- ecoドライブ画面については☞ E-13

■ 右画面にオーディオ画面を表示する

① AV ➡ OK をタッチする。

：右画面にオーディオ画面が表示されます。

アドバイス 右画面にオーディオ画面を表示するには、オーディオをONにしてください。

■ 右画面にルート情報を表示する

① ルート情報 ➡ OK をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。

経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示

アドバイス ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。

■ ハイウェイモードの表示切り替えをする

① ハイウェイモード をタッチする。

：表示灯が点灯の時はハイウェイモード（高速道路／一般有料道路の情報）を表示する設定になります。消灯の時は表示しない設定になります。

経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示

アドバイス
- ハイウェイモードはルート案内時とデモ走行時に表示されます。
- 「■ 右画面にルート情報を表示する」（上記）で ルート情報 をタッチまたは、F-5でルート情報の表示を する に設定すると高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、 ハイウェイモード が選べなくなります。
- ハイウェイモードを選んでいる場合、他の表示項目を選んでいてもハイウェイモードを優先して表示します。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

■ 右画面に時計を表示する

① 時計 ➡ OK をタッチする。

：右画面に日付と時間が表示されます。

アドバイス

右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると全画面表示に切り替わります。
現在地 または 戻る をタッチすると、右画面表示に戻ります。

全画面表示に戻す

1 現在地表示時に Quick ➡ 右画面表示 ➡ OFF ➡ OK をタッチする。

C
目的地を探す

名称で目的地を探す(施設50音)……C-2
順番を並び替えて表示する……C-3
電話番号で目的地を探す……C-4
住所で目的地を探す……C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する…C-7
周辺にある施設から目的地を探す……C-8
表示できる施設……C-10
施設のジャンルから目的地を探す……C-12
道路名から地点を探す……C-15
登録地点で目的地を探す……C-16
マップコードで目的地を探す……C-17
郵便番号で目的地を探す……C-18
地図から目的地を探す……C-18
緯度・経度で目的地を探す……C-19
スマートフォンアプリNaviConについて……C-20
本機で対応可能な端末について……C-20
準備する……C-20
NaviConを使用する……C-20

名称で目的地を探す(施設50音)

施設の名前を直接入力したり、候補を絞り込んで探すことができます。

1 目的地メニュー(☞A-14)から **名称** をタッチする。

：施設名入力画面が表示されます。

2 施設名をひらがなで入力し、 **検索** をタッチする。

：施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 **検索** は選べません。

アドバイス
- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

3 検索方法を選ぶ。

■ リストから施設名を選ぶ

① リストから施設名を選び、**ここを** をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選び、 **ここを** をタッチしてください。

■ 絞込み検索で施設を選ぶ

① **絞込み** をタッチする。

：条件入力画面が表示されます。

② 条件を選び、タッチする。

地域	都道府県名➡市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル➡施設の種類をタッチ

③ リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選んでください。

アドバイス

- 検索施設の件数が多くなるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- 絞込み検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 指定した条件を変更したい場合は、変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

順番を並び替えて表示する

表示したい方法を選び、タッチする。

50音順	50音順に表示
距離順	地図上の直線距離で現在地から近い順に表示

4 地図を見る、または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4

■ 周辺の地図を見る

① **閉じる** または地図画面をタッチする。

：設定MENUを閉じ、周辺の地図が表示されます。

■ 施設の詳細情報を見る

① **施設詳細** をタッチする。

：施設の詳細情報が表示されます。

※ **施設詳細** は、情報がある場合しか表示されません。

※電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** ➡ **はい** をタッチすると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(あらかじめBLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。☞ M-2)
携帯電話を接続していない場合、 **電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります)

電話番号で目的地を探す

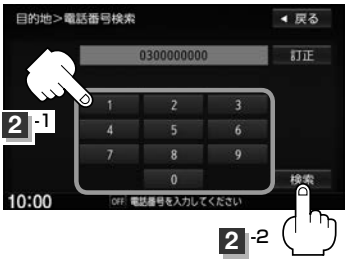
電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して目的地を探すことができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報)が収録されています。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **電話** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号を入力し、検索をタッチする。

※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



■ 個人宅以外の電話番号を入力したとき

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は 「ルート探索をする」D-4

アドバイス
- 入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選ぶと地図が表示されます。
- 入力途中で 検索 をタッチした場合や該当する電話番号が収録されていない場合は、市内局番に該当する周辺地図を表示します。

■ 個人宅の電話番号を入力したとき

プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

① 登録者名の名字を入力後、検索 をタッチする。

：入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、メッセージが表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合、地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、再度入力してください。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は 「ルート探索をする」D-4

アドバイス
- 入力方法は、ひらがなのみとなります。
- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で目的地を探す

住所を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から 住所 をタッチする。

：住所検索リスト画面が表示されます。

2 リストから選ぶまたは地名を入力して探す。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4

※郡は表示(選ぶまたは入力)できません。町村から選ぶまたは入力をしてください。

■ リストから探す

① リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを順次選び、タッチする。

■ 地名を入力して探す

※市町村名で検索できます。

① 地名入力 をタッチする。

：地名入力検索画面が表示されます。

② 地名をひらがなで入力し、検索 をタッチする。

：リストが表示されます。

③ リストから地名を選んでタッチする。

※複数の都道府県に該当する地名がある場合は 絞込み が表示されます。
絞込み をタッチすると都道府県を絞り込むことができます。

④ 丁目などを順次選び、タッチする。

アドバイス 目的地メニューから 地名 をタッチしても、地名を入力して目的地を探すことができます。

目的地履歴の中から目的地を探す／削除する

過去に設定した目的地周辺の地図を表示することができます。一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

1 目的地メニュー(☞A-14)から 履歴 をタッチする。

：目的地履歴検索画面が表示されます。

2 リストより目的地を表示させる、または履歴を削除する。

■ 目的地を表示

① リストから行きたい履歴を選び、
ここを をタッチする。

：選んだ目的地付近の地図画面を表示します。

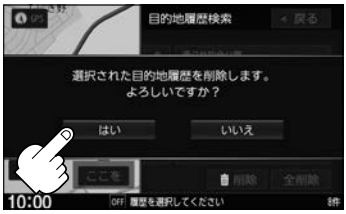
※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞「ルート探索をする」D-4

アドバイス 設定した目的地は、最新のものから順に20個まで自動的に登録されます。
登録数が20個を超えると古いものから順に消去されます。

■ 履歴を削除

① リストから削除したい履歴を選び、 削除 ➡ はい をタッチする。

※全履歴を削除する場合は 全削除 ➡ はい をタッチしてください。



※リストに他の履歴がない場合は
メニュー画面に戻ります。

周辺にある施設から目的地を探す

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から目的地を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときなどに便利です。検索できる施設の種類については、☞「表示できる施設」C-10

1

■ 現在地周辺の施設を検索

① 目的地メニュー(☞ A-14)から **周辺施設** をタッチする。

■ 地図スクロール先周辺の施設を検索

① 地図をスクロールして **設定** ➡ **周辺検索** をタッチする。

2

検索方法を選ぶ。

地図周辺	現在地またはスクロール先周辺を検索
ルート沿い	ルート沿いにある施設を検索
目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索

アドバイス

- ルート案内していない場合、**ルート沿い** / **目的地周辺** は選べません。(ボタンが暗くなります)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先から半径 10 km以内に存在する施設を最大 100件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って 10 km以内で、ルートの左右約 100 m以内に存在する施設を最大 100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

3

探している施設のジャンルを選び、タッチする。

※詳細分類があるジャンルは▶マークが表示されます。

■ 施設の種類が表示されたとき

C-9手順 **4** へ

■ 施設名が表示されたとき

C-9手順 **5** へ

4 表示したい施設の種類を選び、検索 をタッチする。

※リストに▶が表示された場合、▶をタッチすると、さらに細かくリストを選ぶことができます。

※選んだ種類に✔印が付きます。
全選択 をタッチすると、全種類に✔印が付きます。

※選択を解除したい場合は再度ボタンをタッチして✔印を消します。 全解除 をタッチすると、リストに付いている✔印を全て消します。

5 リストから施設名を選び、ここを をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。

アドバイス

- C-8手順 2 で 地図周辺 を選んだ場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、左画面の地図に現在地から施設の方向を赤い線で表示します。
  ルート沿い を選んだ場合、右画面リストに現在地からの距離を、左地図画面の吹き出し内にルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
  目的地周辺 を選んだ場合、右画面リストに目的地からの距離を表示します。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。（施設名がスクロールし続けます。）

6 地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法 ☞ C-4

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4

表示できる施設

ジャンル	企業名・中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド
駐車場	駐車場
交通機関	駅
	高速・都市高速・有料道路施設
	道の駅
	フェリーターミナル
	港
	空港
	タクシー
遊ぶ	遊園地(テーマパーク)
	レジャー公園・牧場
	その他レジャー施設
	海洋・海浜公園
	サファリパーク
	海水浴場
	川くだり
	果物狩り
	遊覧船
	遊覧飛行機
	リフト・ロープウェイ
	釣り
	キャンプ場
	公営ギャンブル
	パチンコ
	麻雀
	ゲームセンター
	ビリヤード
	ボウリング場
	カラオケボックス
	マンガ喫茶
	インターネットカフェ
	アニメ・ゲームグッズ
	プラネタリウム
	クラブ・ライブハウス
	マリーナ
	待ち合わせ場所
	趣味・娯楽・教養
観る	動物園
	植物園
	水族館
	美術館
	博物館
	資料館
	文化施設
	ホール会館
	劇場

ジャンル	企業名・中分類
観る(続き)	映画館
	城・城跡
	史跡
	名所・観光地等
	イベント
	ビューポイント
	住宅展示場
泊まる	ホテル
	ビジネスホテル
	旅館
	ペンション
	公共の宿
	ファッションホテル
	カプセルホテル
	家族旅行村
	国民休暇村
	民宿
	その他宿泊施設
買う	カー用品
	ホームセンター
	ディスカウント
	スーパー
	デパート
	複合大型商業施設
	アウトレットモール
	家電
	本
	ファッション
	衣服・呉服・小物
	シューズ
	バッグ・コート・毛皮
	その他繊維製品
	スポーツ
	雑貨
	ドラッグストア
	100円ショップ
	その他日用品・雑貨・文具
	チケット売買・プレイガイド
	携帯電話ショップ
	リサイクルショップ
	おもちゃ屋
	子供用品・服
	酒屋
	食材
	パン・お菓子
	花屋
	園芸店
	家具店

ジャンル	企業名・中分類
買う(続き)	インテリア用品店
	メガネ・コンタクトレンズ
	釣具店
	アウトドア用品店
	CDレコード店
	中古CDレコード店
	レンタルビデオ・CD
	化粧品・装飾品・民工芸品
	オーディオ・パソコン・OA
	金物店・刃物店
	ガラス・陶磁器
	その他小売店
食べる	ファミリーレストラン
	ファストフード
	ラーメン
	うどん・そば
	日本料理
	中華
	イタリア料理
	寿司屋
	回転寿司
	フランス料理
	カレーハウス
	焼肉・ホルモン
	韓国料理
	お好み焼き
	とんかつ
	持ち帰り弁当
	喫茶
	酒場
	うなぎ料理店
	おでん屋
	海鮮料理店
	懐石料理
	割烹・料亭
	スパゲティ専門店
	ステーキハウス
	てんぷら料理店
	鳥料理店
	ピザハウス
	アイスクリーム
	その他和風飲食店
	その他洋風・中華飲食店
生活施設	郵便
	理容・美容
	クリーニング

ジャンル	企業名・中分類
生活施設（続き）	温泉
	銭湯
	サウナ・健康センター
	クアハウス・スパ
	教養施設・福祉施設
	写真・写真館
	組合
	人材紹介・代行サービス
	録音スタジオ
	クレジット・質屋・買取
	宅配便・運輸
	リース・レンタル・修理
トイレ	トイレ
銀行	都市銀行
	地方銀行
	その他銀行
公共施設	役所
	警察署・交番
	消防署
	図書館
	裁判所
	税務署
	年金事務所
	保健所
	法務局
	運転免許試験場
学校・教育施設	大学
	高校
	中学校
	小学校
	短大
	高専
	中等教育学校
	幼稚園
	保育園
	特別支援学校
	自動車学校
	各種専門学校
	予備校
	その他学校・教育施設
病院	病院
冠婚葬祭	冠婚葬祭場
	結婚式場
	霊園・墓地
	造花・装飾・花環
	火葬場

ジャンル	企業名・中分類
スポーツ施設	ゴルフ
	スキー・スケート
	マリンスポーツ
	野球場
	競技場
	プール
	モータースポーツ
	自転車
	テニスコート
	体育館
	武道館
	スポーツクラブ
	バッティングセンター
	公営スポーツ施設
	その他スポーツ施設
神社・仏閣・教会・巡礼	神社
	仏閣・寺
	教会
	全国著名巡礼名所
Honda Cars店	Honda Cars店
カーディーラー	Honda Cars店
	スズキ
	スバル
	ダイハツ
	トヨタ
	トヨタ部品
	日産
	日産部品
	マツダ
	三菱
	レクサス
	アウディ
	アルファロメオ
	クライスラー
	シトロエン
	ジャガー
	GM
	GMDAT
	BMW
	フィアット
	フェラーリ
	フォルクスワーゲン
	フォード
	プジョー
	ベントレー
	ポルシェ
	ボルボ
	マセラティ

ジャンル	企業名・中分類
カーディーラー（続き）	MINI
	メルセデス・ベンツ
	ヤナセ
	ランドローバー
	ランボルギーニ
	ルノー
	ロータス
	ロールスロイス
	いすゞ
	日野
	三菱ふそう
	UDトラックス
	その他カーディーラー
自動車関連	自動車整備工場
	中古車販売
	レッカーサービス
	ロードサービス
	レンタカー
	オートバイ販売・部品・用品
	レンタルバイク
	その他自動車・自転車
エコステーション	エコステーション
その他ジャンル	大使館・領事館
	マスメディア
	旅行・観光業
	ペット
	製造・卸売業
	農園・果樹園

施設のジャンルから目的地を探す

施設のジャンルや都道府県を指定して該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、☞「表示できる施設」C-10

1 目的地メニュー(☞ A-14)から ジャンル をタッチする。

：ジャンル検索画面が表示されます。

2 検索方法を選ぶ。

※細かい分類がある場合は▶マークが表示されます。

■ リストから選ぶ

① 探している施設のジャンルを選び、さらに細かく分類された施設の種類を選んでタッチする。

■ ジャンル名を入力して選ぶ

① ジャンル名入力 ➡文字をタッチしてジャンル名を入力し、 検索 ➡ジャンル検索リストから該当するジャンルを選び、タッチする。

※候補が100件より多い場合は検索できません。

※ジャンル検索リストがさらに続く場合はリストより選んでタッチしてください。

3 さらに検索する条件を選ぶ。

現在地周辺を検索	地図周辺 をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	目的地周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	ルート周辺 をタッチ
都道府県で検索	都道府県 ➡都道府県名を選び、タッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
地域／路線で検索	地域／路線 ➡地域を選び、タッチ➡路線を選び、タッチ

アドバイス

- ルート案内をしていない場合は 目的地周辺 ／ ルート周辺 は選べません。（ボタンが暗くなります。）
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先周辺から半径10 km以内に存在する施設を最大100件まで表示します。
- ルート周辺にある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって10 km以内で、ルートの左右約100 m以内に存在する施設を最大100件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- 地域／路線 は、交通機関 ➡ 高速・都市高速・有料道路施設 ➡ IC ／ SA ／ PA をタッチしたとき選ぶことができます。

4 リストから施設名を選ぶ。

■ 地図周辺 ／ 目的地周辺 ／ ルート周辺 を選んだとき

① リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選んで、 ここを をタッチしてください。

■ 都道府県 を選んだとき

① リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選び、 ここを をタッチしてください。

■ 地域／路線 を選んだとき

① リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

アドバイス リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

5 地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法 ☞ C-4

※ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4

道路名から地点を探す

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **ジャンル** をタッチする。

：ジャンル検索画面が表示されます。

2 **交通機関** ➡ **高速・都市高速・有料道路施設** をタッチする。

：リスト画面が表示されます。

3 **地域／路線選択** をタッチし、地域／路線を選んでタッチする。

4 リストから表示したい地点をタッチし、**ここを** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

登録地点で目的地を探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から目的地を探すことができます。よく利用する場所を登録しておくと、簡単に目的地として設定することができます。

1 目的地メニュー(☞A-14)から 登録地点 をタッチする。

：登録地点検索画面が表示されます。

2 リストから登録地点を選び、ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞「ルート探索をする」D-4

アドバイス

- 登録地点の表示方法を選ぶことができます。
- 登録地点をお好きなフォルダに入れるには ☞F-16

マップコードで目的地を探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **マップコード** をタッチする。

：マップコード入力画面が表示されます。

2 マップコードを入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞「ルート探索をする」D-4

目的地

アドバイス

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。

＊ について

マップコード入力後、 ＊ をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。

郵便番号で目的地を探す

郵便番号簿などに掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

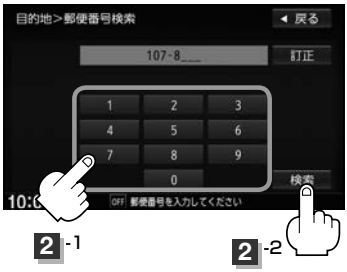
1 目的地メニュー(☞ A-14)から **郵便番号** をタッチする。

：郵便番号入力画面が表示されます。

2 郵便番号を入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図画面が表示されます。

※ルート探索する場合は
☞「ルート探索をする」D-4



アドバイス
- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合、検索リストが表示されます。

地図から目的地を探す

表示中の地図から目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **地図から** をタッチする。

：この画面に入る前の地図画面を表示します。

※ 目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4

緯度・経度で目的地を探す

緯度と経度(日本測地系)を入力して目的地を探すことができます。

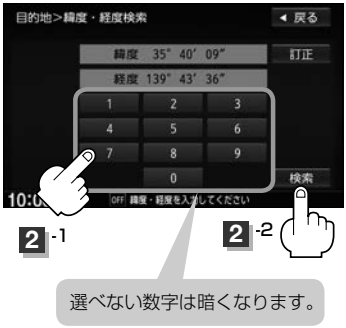
1 **目的地メニュー(☞ A-14)から 緯度経度 をタッチする。**

：緯度・経度入力画面が表示されます。

2 **緯度・経度(日本測地系)〔緯度(北緯)と経度(東経)〕を入力し、検索 をタッチする。**

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞「ルート探索をする」D-4



アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

スマートフォンアプリNaviConについて

本機はスマートフォンアプリNaviConに対応しています。
スマートフォンアプリNaviConで、行きたい場所を検索して目的地を本機に送信し、本機でルート探索・ルート案内を行うことができます。

本機で対応可能な端末について

NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォン(NaviConアプリに対応しているiPhoneおよびAndroidスマートフォンについては、NaviConホームページをご覧ください)
※タブレット端末やiPodでは、本機でNaviConを使用することができません。
※お手持ちのスマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備する

- **本機にスマートフォンをハンズフリー登録してください。**(登録方法 ☞「初期登録設定」M-2)
- **本機とスマートフォンをケーブルで接続をしている場合は、スマートフォンをケーブルから外してください。**
- **本機にiPodを接続している場合、iPhoneでNaviConは使用できません。iPodをケーブルから外してください。**

NaviConを使用する

NaviConアプリ側での操作方法は、NaviConのホームページまたはNaviConアプリ上の説明をご覧ください。

1 スマートフォン側でNaviConアプリを起動する。

※本機とBLUETOOTH接続がされていることをアプリ側で確認してください。

2 アプリ側で目的地を設定する。

:本機に目的地が送信され、ルート探索を始めます。

3 本機で 案内スタート をタッチする。

:ルート案内を開始します。

アドバイス NaviConアプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。

D
ルート探索をする

ルート設定について……D-2
ルート設定の流れ……D-3
ルート探索をする……D-4
クイック ルート探索をする……D-6
現在地から目的地までのルートを探索する……D-6
現在地から自宅までのルートを探索する……D-6
ルートを変更する……D-7
出発地／目的地の変更……D-7
目的地の追加……D-8
経由地の追加……D-9
経由地の変更／削除……D-10
経由地／目的地など地点の入れ替え……D-10
探索条件の変更……D-11
ルート案内をストップ／スタートする……D-12
現在のルートを表示する……D-12
現在のルートを保存する……D-13
現在のルートを削除する……D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-13
渋滞地点を確認する……D-14
経由地をスキップする……D-14
デモ走行をする……D-15
迂回探索をする……D-16
再探索をする……D-17
ルート探索条件の設定をする……D-18

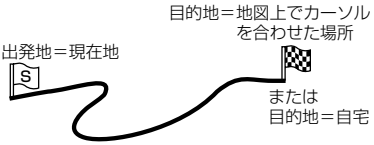
ルート設定について

本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、ルート案内画面を表示します。このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

ルート設定は、主に下記の方法で行います。また、探索条件設定をすることができます。

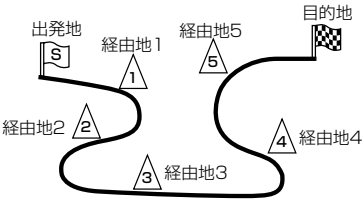
クイック ルート探索

- カーソル(┼)を目的地に合わせ 設定 ➡ 目的地セット をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。
  ☞「現在地から目的地までのルートを探索する」D-6
- 現在地表示時に、 Quick ➡ 自宅へ帰る をタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。
  ☞「現在地から自宅までのルートを探索する」D-6



ルート から1ルート探索／複数ルート探索

- 複数探索 をタッチすると、5ルートを探索します。
  表示されたルートを見て、最適なルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として5つまで登録できます。
- 経由地を設定すると、 複数探索 は選べません。



目的地メニューから探索方法を選んでルート探索

電話番号／施設名称／ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

NAVI設定 から探索条件を設定 ☞D-18

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

internaviルート

インターナビが提供するルート配信サービスで、下記の探索方法からお好みのルートを選ぶことができます。

① 時間と料金のバランスがよい スマートルート
② 最も早く目的地に到着できる 最速ルート
③ 無料道路で最も早く目的地に到着できる 最速無料優先ルート
④ ETC割引を最大限に活用できる ETC割引ルート
⑤ 燃料消費が最も少なく、CO_2排出量も削減する 省燃費ルート

※インターナビの提供サービス変更に伴い、ルートの種類は変更される場合があります。

ルート設定の流れ

1ルート探索

地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを1つ探索する簡単な方法です。

目的地を登録する
↓
探索実行
↓
ルート案内開始

複数ルート探索

有料道路や距離、道幅などの条件から5ルートを表示し、その中から最適なルートを選ぶ探索方法です。

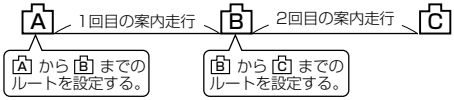
目的地を登録する
↓
複数探索 を選ぶ
↓
探索実行
↓
探索条件を選ぶ
↓
ルート案内開始

探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internaviルート	インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 （複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。）

アドバイス

- ルート探索中に車のエンジンスイッチをロックに入れると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると前回探索途中のルートは中止（削除）されています。
- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 経由地が設定されている場合は複数ルート探索はできません。
- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎると、メッセージが表示され、ルート探索できない場合があります。
  例えば、A地点からC地点に行く場合、途中のB地点で区切り、ルートを2回に分けてください。



- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

ルート探索をする

1 目的地メニュー(☞ A-14)から検索方法を選ぶ、または ルート ➡ ルート編集 ➡ をタッチする。

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示します。

- 名称 ☞ C-2
- 電話 ☞ C-4
- 住所 ☞ C-6
- 履歴 ☞ C-7
- 自宅
- 周辺施設 ☞ C-8
- 登録地点 ☞ C-16
- ジャンル ☞ C-12
- マップコード ☞ C-17
- 郵便番号 ☞ C-18
- 地図から ☞ C-18
- 緯度経度 ☞ C-19
- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示

アドバイス 目的地メニューから 自宅 を選んだ場合、☞ D-5 手順 3 に進んでください。

2 目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 ➡ 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地で良い	目的地セット をタッチ
設定MENU表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ➡カーソルを目的地に合わせる ➡ 設定 をタッチ➡ 目的地セット をタッチ

- 目的地メニューから探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- ルート から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。
  探索開始 をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- 目的地を設定する際、設定MENUまたはルート編集画面の 複数探索 をタッチすると、複数ルート(最大5ルート)探索できます。最適なルートを選んでください。

3 ルート案内を開始する。

■ 1ルート探索

① **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

全ルート表示画面

ルートの詳細情報を表示

■ 複数ルート探索

※経由地を設定しているときは複数ルート探索はできません。

① **別ルート** をタッチする。

全ルート表示画面

② 探索条件をタッチしてルートを確認し、**案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

ルートの詳細情報を表示

アドバイス

- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。自宅が登録済みの場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1 地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

「地図をスクロールする(地図を動かす)」B-5

2 カーソル(–┼–)を目的地に合わせ、 設定 ➡ 目的地セット をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※メッセージが表示されたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1 現在地 ➡ Quick ➡ 自宅へ帰る をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)
案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※すでに探索されているルートがある場合、メッセージが表示されるので はい を選ぶとルート探索を開始します。

※自宅が登録されていない場合、メッセージが表示され、 はい を選ぶと自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。

アドバイス

- ⚙(オプション)に 自宅 を設定している場合は、 ⚙ をタッチすると自宅までのルートを探索します。(オプションボタンの設定方法 G-2)
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。
出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／出発地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

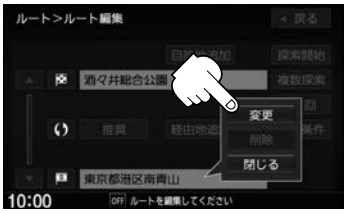
出発地／目的地の変更

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2 S または ➡吹き出しから 変更 をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。



3 検索方法を選び、タッチする。

※この後は、選んだ方法で出発地／目的地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。

4 出発地または目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 ➡ 出発地セット ／ 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された出発地または目的地で良い	出発地セット ／ 目的地セット をタッチ
設定MENU表示中、出発地または目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ➡カーソルを出発地または目的地に合わせる➡ 設定 ➡ 出発地セット ／ 目的地セット をタッチ

5 探索開始 ／ 複数探索 を選び、タッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大５つのルートが表示されます。 （探索条件に設定したルートは優先的に探索されます。） 好きなルートを選び、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

アドバイス
- 複数ルート探索は１ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、 複数探索 は選べません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地としたルート案内を見たい場合は、 デモ走行 をタッチしてください。D-15
- 探索条件を internaviルート にしてルート探索した場合は、出発地の変更はできません。

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 ➡ 目的地追加 をタッチする。

2 検索方法を選び、タッチする。

3 目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 ➡ 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地で良い	目的地セット をタッチ
設定MENUが表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ➡カーソルを目的地に合わせ 設定 をタッチ➡ 目的地セット をタッチ

：目的地が追加され、もとの目的地は経由地に変更されます。

4 ルートを探索するには 探索開始 ➡ 案内スタート をタッチする。

経由地の追加

経由地を5つまで追加できます。

1 追加方法を選ぶ。

ルート編集画面から追加	MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 ➡追加する場所の 経由地追加 をタッチ➡経由地の検索方法を選ぶ
ルート案内中に目的地メニューから追加	目的地メニューから検索方法を選ぶ

※この後は、選んだ方法で追加経由地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。

2 経由地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 ➡ 経由地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された経由地で良い	経由地セット をタッチ
設定MENUが表示中、経由地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ➡カーソルを経由地に合わせ 設定 をタッチ➡ 経由地セット をタッチ

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

3 ルート探索をする。

ルート編集画面が表示されたら	探索開始 をタッチ
経由地追加画面が表示されたら	追加 をタッチ

：ルート探索を開始します。

4 案内スタート をタッチする。

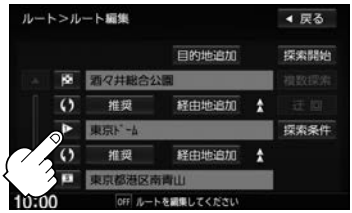
アドバイス
- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

経由地の変更／削除

1 MENU ➡ **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチし、変更／削除する経由地の ▶ をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１を選んだ場合



2 変更または削除する。

変更する	**変更** をタッチし、新しい経由地を設定する ※検索方法の画面が表示されますので、検索方法を選び、経由地を設定してください。
削除する	**削除** をタッチ

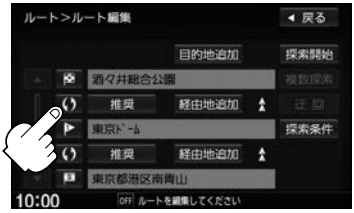
アドバイス **閉じる** をタッチすると、変更／削除の操作を中止します。

経由地／目的地など地点の入れ替え

1 MENU ➡ **ルート** ➡ **ルート編集** をタッチし、入れ替えしたい場所の ( ) をタッチする。

アドバイス すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

経由地１と目的地を入れ替える場合



探索条件の変更

探索条件を変更することができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 をタッチし、変更する場所の 推奨 をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１までの探索条件を変更する場合

探索条件を変更

「ルート探索条件の設定をする」D-18

2 探索条件を選んでタッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。

探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internaviルート	インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 （複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。）

アドバイス

- 距離優先 を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- internaviルートを利用するには、インターナビ・リンク プレミアムクラブに登録する必要があります。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再度開始させることができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ 案内ストップ または 案内スタート をタッチする。

案内ストップ	ルート案内を停止し、地図画面を表示
案内スタート	前回ルート探索したルート案内を開始

アドバイス
- ルート設定していない場合は選べません。（ボタンは暗くなります。）
- 現在地表示時に Quick ➡ 案内ストップ ／ 案内スタート をタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

現在のルートを表示する

設定したルート（出発地から目的地まで）を全画面に表示させて確認することができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ 全ルート表示 をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称
「出口」：目的地から一番近いICの名称
「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離
「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金
※高速道路を使わない場合や、一般道や一部の有料道路で料金不明の場合は「－－－円」と表示されます。

1つ前の画面へ
設定したルートの道路の種類や案内区間の距離・料金を確認
デモ走行します。 D-15
ルート案内を開始
出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。
出発地　設定ルート　目的地

アドバイス
- 3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

現在のルートを保存する

20個まで保存することができます。保存したルートは、再度呼び出すことができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート管理 ➡ ルート保存 をタッチする。

アドバイス 現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。

現在のルートを削除する

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート管理 ➡ ルート削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので はい を選ぶとルートを削除し、ルートメニューになります。

アドバイス 現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。

保存したルートの呼び出し／削除をする

保存したルートを呼び出して、ルート探索をすることができます。また、保存しているルートを削除することができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

2 保存しているルートを呼び出す、または削除する。

ルートを呼び出す	リストから呼び出したいルートをタッチ ：ルート探索後、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※保存したときの探索条件でルート探索されます。 ※全ルート表示画面は、設定によっては表示されません。 ※すでに現在のルートがあるときは、メッセージが表示され、 はい を選ぶとルート探索を開始します。
ルートを削除する	リストから削除したいルートの 🗑 をタッチ ：メッセージが表示され、 はい を選ぶと選んだルートを削除します。

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 **現在地表示画面でVICSタイムスタンプボタンをタッチする。**

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。

アドバイス

- ルート上に渋滞／規制がない場合、音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方10 km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENUに渋滞地点を設定すると、 Quick ➡ 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
- ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプボタンは無効です。

経由地をスキップする

ルート案内時、経由地を設定している場合、検索した経由地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経由地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

※通過していない経由地がある場合に選べます。

1 MENU ➡ **ルート** ➡ **経由地スキップ** **をタッチする。**

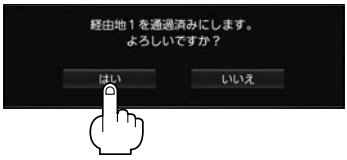
：メッセージが表示されます。

2 **はい** **をタッチする。**

：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。

※経由地のスキップは、次の経由地がスキップ(通過済み)されます。

※経由地を通過済みにしない場合は、 **いいえ** をタッチすると、ルートメニューに戻ります。



デモ走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをデモ走行と呼びます。)ルート情報表示、音声案内をすることもでき、出発前に前もってルートを確認するのに便利です。

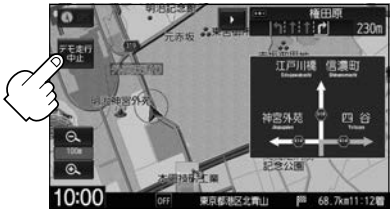
1 MENU ➡ **ルート** ➡ **全ルート表示** をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

2 **デモ走行** をタッチする。

：デモ走行が開始されます。

3 デモ走行を終えるには **デモ走行中止** または MENU をタッチする。



アドバイス

- デモ走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 上記手順 **2** で **詳細情報** をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
- デモ走行中に ▶ をタッチすると、JCTビュー、交差点拡大図表示を一時的に消すことができます。再度表示したい場合 ◀ をタッチしてください。

迂回探索をする

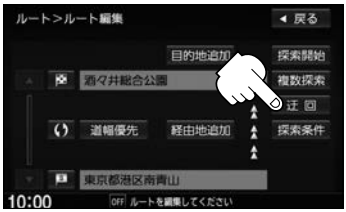
ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1 MENU ➡ ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2 迂回 をタッチする。

：迂回距離選択画面が表示されます。



3 迂回距離を選ぶ。

：選んだ距離の迂回ルートを再探索します。

アドバイス

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）
- 探索条件を internaviルート にしてルート探索した場合は、迂回探索できません。

再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索(リルート)するように初期設定されていますが、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で再探索することができます。
再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。
※あらかじめQuick MENUに 再探索 を設定しておく必要があります。
☞「Quick MENUを設定する」B-9

1 現在地表示画面で、 Quick ➡ 再探索 をタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。

2 探索条件を選んでタッチする。

アドバイス

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

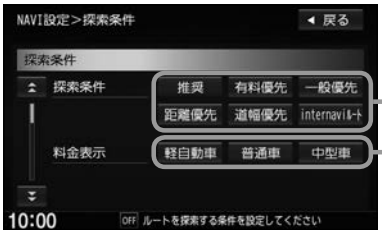
ルート探索条件の設定をする

ルートを探索する条件を変更することができます。次に行うルート探索から、変更後の条件で探索します。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 探索条件 をタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。

2 探索条件を選んでタッチする。



探索する条件を設定

車種別に有料道路料金表示を設定

▼をタッチ ▲をタッチ

自動再探索する／しないを設定

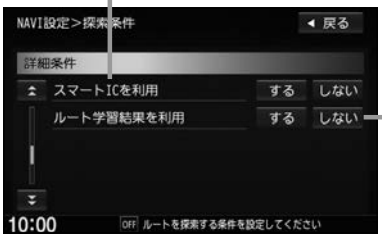
フェリーを優先する／しないを設定

季節規制を考慮する／しないを設定

時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定

- 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

▼をタッチ ▲をタッチ



利用できるスマートIC(SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ)を利用する／しないを設定

過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定

※上記の探索条件で 距離優先 を選んでいる場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。

▼をタッチ

VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定
※internavi交通情報を考慮 **しない** に設定するとボタンが暗くなり選べなくなります。
※FM VICSのみの場合は、規制による自動探索は行いますが、渋滞による自動探索は行いません。

▲▲ をタッチ

internavi交通情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定

アドバイス

- **推奨**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先**、**internaviルート** は、いずれか1つ設定できます。
- ルート探索条件の変更はルート編集からも変更することができます。☞ D-11
- ルート案内中に探索条件を変更し **戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選んでいる場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、フェリー航路を優先しない場合もあります。

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「－－－円」となります。)
- “○○IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 全ルート表示画面では出発地から目的地までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。このような場合は、実際の料金に従ってお支払いください。

アドバイス

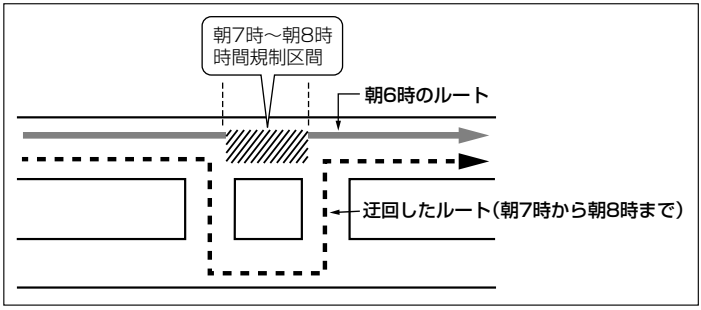
スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。
※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

時間規制道路を考慮について

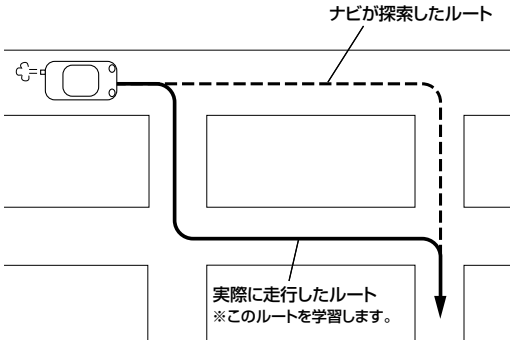
下記斜線部分に朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



※ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
※ルート学習結果を初期化するには「データを初期化(消去)する」G-20をご覧ください。



VICS自動再探索について

- VICS自動再探索 **する** に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

E
情報を見る

交通情報(VICS情報)を見る …… E-2
交通情報(VICS情報)とは …… E-2
文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)を見る… E-2
VICS情報の地図表示(レベル3)について …… E-3
緊急情報を見る …… E-4
緊急情報について …… E-4
交通情報を選局する …… E-5
プリセット(保存)する …… E-6
プリセット(保存)呼び出しをする …… E-7
internavi情報について …… E-8
本体情報を見る …… E-8
ecoドライブ情報を設定する …… E-9
ecoドライブ設定をする …… E-10
評価履歴を見る …… E-11
グラフ表示で見る …… E-11
評価履歴を削除する …… E-12
ETC情報を見る …… E-14

交通情報(VICS情報)を見る

交通情報(VICS情報)とは

FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1、レベル2、レベル3)を放送している局[*1]があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

VICS情報を見るには、あらかじめ受信する放送局を選局しておく必要があります。☞ E-5

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

※表示内容は更新(変更)される場合があります。

＊1…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。

文字情報(レベル1)、簡易図形情報(レベル2)を見る

1 MENU ➡ 情報 ➡ FM多重 ➡ 文字情報 ／ 図形情報 をタッチする。

文字表示(例)
文字で情報などが表示されます。

簡易図形表示(例)
簡単な図形や文字で交通情報が表示されます。

①ヘッダー文

VICS放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

②目次内容

③ 戻る ボタン

ひとつ前の画面に戻ります。

④受信中の周波数

⑤目次選択ボタン

⑥ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

⑦ ▲ ／ ▼ ボタン(ページ戻し／送り)

2ページ以上ある場合に表示されます。暗い項目は選べません。

⑧ 矢印表示

高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先に情報提供がない場合は、灰色です。

⑨VICS情報マーク☞ E-3

⑩矢印方向の次の地点までのおおよその所要時間

所要時間を5分単位で表示します。

⑪渋滞情報

赤色：渋滞　　橙色：混雑
※渋滞方向を矢印で表示します。

VICS情報の地図表示(レベル3)について

VICS情報(レベル3)を受信すると、地図画面に交通規制や渋滞情報などを表示します。

地図表示(例1：現在地表示画面)
地図上に交通情報が表示されます。

地図表示(例2：スクロール画面)

①VICSタイムスタンプボタン

- 交通情報の提供時刻を表示します。
  ※表示可能なレベル3情報がないときは
  “－－：－－”を表示します。
- ルート案内中にタッチすると、渋滞／規制を確認することができます。

②渋滞情報

赤色：渋滞　橙色：混雑　緑色：渋滞なし　黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。

③VICS情報マーク

VICS情報マーク(一例)

事　故	故障車	路上障害	工　事	凍　結	片側交互通行
チェーン規制	対面通行	車線規制	徐　行	大型通行止め	入り口制限

④マーク詳細情報

地図をスクロールさせてVICS情報マークにカーソル(－┼－)を合わせると、マーク詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 渋滞情報は、情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されているときに、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、レベル1、レベル2、レベル3の情報を全て表示することはできない場合があります。
- 次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。
  ・車のエンジンスイッチをロックに入れたり、受信周波数が変わると受信した情報が消去されることがあります。
  ・渋滞情報保存時間が経過した場合、消去されます。

緊急情報を見る

交通情報の緊急情報番組を受信します。

1 MENU ➡ 情報 ➡ FM多重 ➡ 緊急情報 をタッチする。

※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書き替えます。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地、スクロール画面、トップメニュー画面、AV画面表示時などに受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
  ※しばらくすると緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、▶をタッチして、割り込み前の画面に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、戻る をタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには MENU ➡ 情報 ➡ FM多重 ➡ 緊急情報 をタッチしてください。

アドバイス

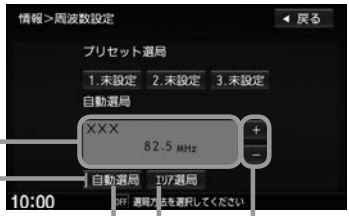
- 緊急情報は、見終わった後も消えません。再度緊急情報を見るときは MENU ➡ 情報 ➡ FM多重 ➡ 緊急情報 をタッチすると表示されます。
  ※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。
- 緊急情報表示をやめる場合は、現在地 ／ MENU ／ 戻る をタッチしてください。

交通情報を選局する

交通情報を見るには、情報を受信する放送局を選局してください。
選局には、自動選局、手動選局、エリア選局の３つの方法があります。

1 MENU ➡ **情報** ➡ **FM多重** ➡ **周波数設定** をタッチする。

2 選局方法を選んで選局する。



受信中の放送局と周波数
表示灯
自動選局を選ぶとき
エリア選局を選ぶとき
手動選局を選ぶとき

自動選局	**自動選局** をタッチし、表示灯を点灯／消灯 （点灯：自動選局に設定、消灯：自動選局解除） ※自動選局に設定すると、“サーチ中”と表示され、自動選局を開始します。（放送局が受信できるまでは、“サーチ中”を表示したままとなります。） ※自動選局に設定中は、受信中の電波が弱くなると自動的に電波の強い周波数（放送局）に切り替えます。
手動選局	**＋** ／ **－** をタッチし、受信したい周波数を表示 ※ **＋** をタッチすると、0.1 MHzアップ、長押しすると始めは0.1 MHzアップし、その後１MHzずつアップします。 **－** をタッチすると、0.1 MHzダウン、長押しすると始めは0.1 MHzダウンし、その後１MHzずつダウンします。
エリア選局	① **エリア選局** をタッチ ：放送局リスト画面が表示されます。 ② **選局する放送局を選んでタッチ** 放送局リスト画面

お知らせ

- 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、自動選局／エリア選局ができない場合があります。その場合は手動選局で周波数を合わせてください。
- 電波が強くなければ交通情報は受信できません。音声放送が聞けたとしても、交通情報は受信できない場合があります。

プリセット(保存)する

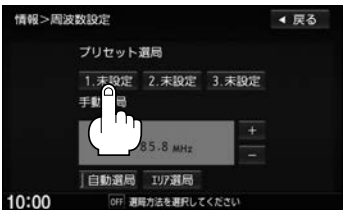
放送局を3局までプリセット(保存)できます。

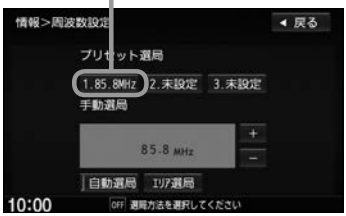
1 プリセットしたい放送局を受信する。

アドバイス
自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始め、周波数が変わる場合があります。

2 保存する場所(1.未設定 ／ 2.未設定 ／ 3.未設定)を選び、長押しする。

未設定が85.8 MHzに変わります。





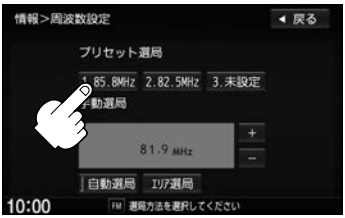
アドバイス
すでに他の放送局がプリセットされているボタンを選ぶと、新しい放送局が上書きされます。

プリセット(保存)呼び出しをする

1 MENU ➡ 情報 ➡ FM多重 ➡ 周波数設定 をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2 呼び出す周波数を選び、タッチする。



81.9 MHzが85.8 MHzに変わります。

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

internavi情報について

internaviに接続して、インターナビが提供する情報を見ることができます。

1 MENU ➡ 情報 ➡ internavi情報 をタッチする。

2 各操作は、別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

本体情報を見る

地図データのバージョン、本体のシリアル番号、音楽データ容量を見ることができます。

1 MENU ➡ 情報 ➡ 本体情報 をタッチする。

：本体情報画面が表示されます。

本体情報画面

地図データの詳細を表示

ecoドライブ情報を設定する

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(ecoドライブ)ができているか評価して、その情報を確認することができます。

1

MENU ➡ **情報** ➡ **ecoドライブ** をタッチする。

：ecoドライブ情報画面が表示されます。

アドバイス

ecoドライブ情報画面について

- 1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル　初級で評価した場合、マークを表示
急加速　急に加速した回数
急減速　急に減速した回数
eco速度　規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)
アイドリング　車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)
総合評価　総合評価をA～Eの5段階で判定

ecoドライブ情報画面

評価履歴を見る、削除する
E-11、E-12

ecoドライブの結果をグラフにて確認
E-11

ecoドライブを設定
E-10

メッセージがスクロール

総合評価をバーで表示

- この評価は本機独自の評価です。グラフの数が5つのときはA、4つのときはB、3つのときはC、2つのときはD、1つのときはE評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていることを意味します。

2

ecoドライブ評価を中止／開始する。

■ ecoドライブ評価を開始する

ecoドライブ評価開始 をタッチする。

：ecoドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バーに eco マークを表示します。

ecoドライブ情報画面

■ ecoドライブ評価を止める

ecoドライブ評価中止 をタッチする。

：ecoドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バーの eco マークが消えます。

ecoドライブ情報画面

ecoドライブ設定をする

1 MENU ➡ 情報 ➡ ecoドライブ ➡ 設定 を**タッチする。**

：ecoドライブ設定画面が表示されます。

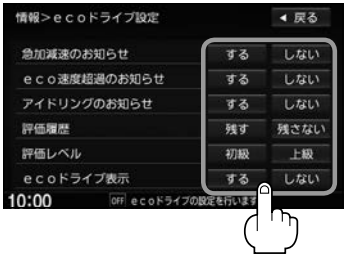
ecoドライブ情報画面

2 **各種設定を選び、タッチする。**

※評価レベルを変更する場合、メッセージが表示されるので、はい ／ いいえ を選び、タッチしてください。

※ecoドライブ評価中止時、ecoドライブ表示を する をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し、 OK をタッチしてください。

※eco速度超過のお知らせの する をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し OK をタッチしてください。



アドバイス

- 手順 2 でecoドライブ表示を する に設定した場合、ecoドライブ評価中は現在地の地図画面に戻ったとき右画面にecoドライブ情報を表示します。ecoドライブ情報の表示を止めたい場合は、ecoドライブ表示の しない をタッチしてください。
- 手順 2 で評価レベルの 初級 を選ぶと、2画面表示またはecoドライブ情報を表示させたとき マークが表示されます。
- ルート情報／ハイウェイモード表示中はecoドライブ表示を する に設定しても右画面にecoドライブ情報は表示されません。
- Quick ➡ 右画面表示 ➡ ecoドライブ とタッチして、右画面にecoドライブ情報を表示することもできます。

評価履歴を見る

1 MENU ➡ 情報 ➡ ecoドライブ ➡ 履歴 を**タッチする。**

：ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。

ecoドライブ情報画面

2 **リストから見たい日時の履歴を選んで**
タッチする。

：ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

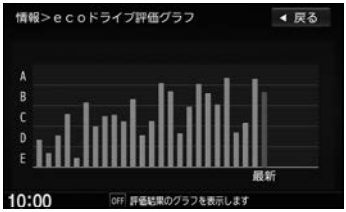
ecoドライブ評価履歴画面

グラフ表示で見る

1 MENU ➡ 情報 ➡ ecoドライブ ➡ グラフ を**タッチする。**

：グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。

ecoドライブ情報画面



評価履歴を削除する

1 MENU ➡ 情報 ➡ ecoドライブ ➡ 履歴 をタッチする。

：ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。

ecoドライブ情報画面

2 削除したい履歴を選び、タッチする。

：ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。

ecoドライブ評価履歴画面

全ての評価履歴を削除

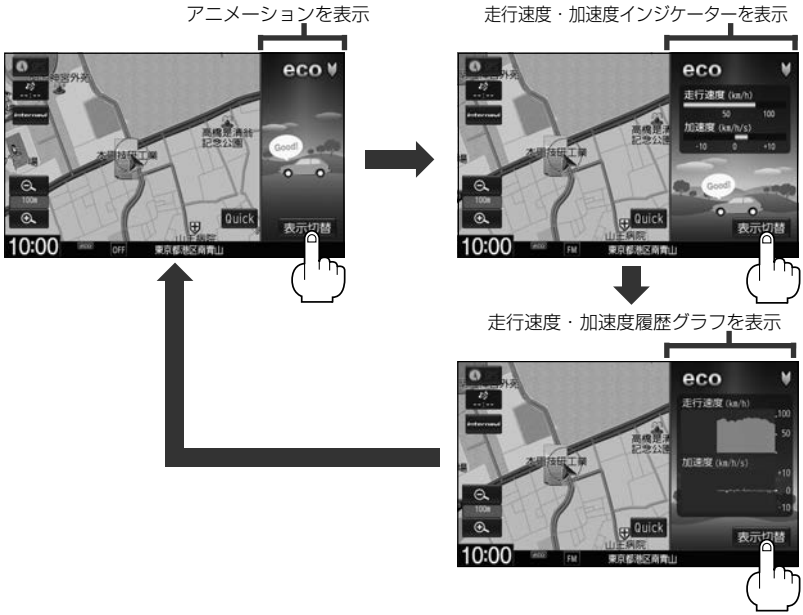
3 削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので はい をタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。

ecoドライブ評価履歴の詳細画面

アドバイス

- E-9の手順 **2** でecoドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにはチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。
  ※ecoドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。
- 右画面にecoドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーター、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたecoドライブ情報は、**表示切替** をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大図などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大図などを優先して表示します。
  ※ecoドライブ評価を開始していない場合は、右画面にecoドライブ情報を表示しません。



- **ecoドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。**
- アニメーション、走行速度・加速度インジケーターの場合、現在の走行状態によって車の色が変わります。（水色＝優良、ピンク色＝注意、茶色＝要注意）
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- ecoドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

ETC情報を見る

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1 MENU ➡ 情報 ➡ ETC情報 をタッチする。

：ETC情報画面が表示されます。

2 管理情報または履歴を表示する。

車載器情報を表示する	車載器情報 をタッチ ：ETC本体の登録内容が表示されます。
カード情報を表示する	カード情報 をタッチ ：カード情報内容が表示されます。
履歴を表示する	利用履歴 をタッチ ：今までの利用履歴が最大100 件まで日付の新しい順に表示されます。 ※地図ソフトに収録されていない料金所の名称は“登録なし”と表示されます。

アドバイス

接続可能なETC車載器(ナビ連動タイプ)について詳しくは、Honda販売店へご相談ください。

F

ナビゲーションの設定

NAVI設定

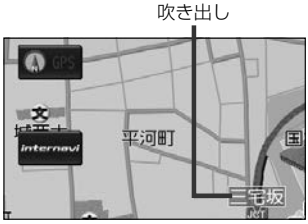
地図画面の表示設定をする……F-2
案内画面の設定をする……F-5
ランドマーク表示の設定をする……F-9
自車マークの種類を設定する……F-10
現在地(自車)の位置を変更する……F-11
VICS表示の設定をする……F-12
音声案内の音量調整／詳細設定をする……F-13
平均時速を設定する……F-14
登録地点の編集……F-15
登録地点を並び替える……F-20
自宅／登録地点の位置を修正する……F-22
自宅／登録地点を削除する……F-23
SDカードから地点を登録する……F-24
パーソナルHPと同期について……F-25
走行軌跡を使う……F-26

地図画面の表示設定をする

メイン画面／右画面や地図色、情報バー表示などの設定ができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 地図表示設定 をタッチする。

2 表示したい項目を選んで設定する。

メイン画面用地図設定／右画面用地図設定	
名称の文字サイズ	地図に表示されている名称の文字サイズを変更
吹き出しを表示	高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を吹き出しで表示する／表示しない ※表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない交差点では表示しません。 
標高地図を表示	地図の縮尺が10 km以上の画面で、詳細な地形地図にする／しない
地図モード	地図表示(方位)を設定できます。(☞ B-4) 北向き …… 北方向を上 進行方向 … 進行方向を上 3D …… 3D表示
3D視角調整	3D表示の角度を調整 …角度を下げる　…角度を上げる
右画面に地図表示 (右画面用地図設定のみ)	右画面に地図を表示する／表示しない

地図色設定	
昼夜切り替え	時間連動 …… 日付、時間と自車位置を考慮し、地図色を切り替え 昼 ／ 夜 …… 昼モード／夜モードに固定 スモール連動 … 車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替え
地図切り替え	ノーマル …… 道路・文字が標準的に表示 道路メイン …… 詳細地図で国道と一般道を識別しやすくするため、道路をしっかりと表示 レトロ …… 彩度を落とした落ち着いた色調で表示
標高地図色	季節連動 …… GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替え 標準 ／ 春 ／ 夏 ／ 秋 ／ 冬 …… 標準色や各季節色に固定

情報バー表示設定	
MAPCODEを表示	マップコードを表示する／表示しない(現在地表示時は除く。) 情報バー MAPCODE
地図情報を表示	住所名…住所名を表示 道路名…道路名を表示 ※住所名を選んだ場合は周辺の名称を表示し、道路名を選んだ場合は地図データに収録されている道路を走行しているとき道路名を表示します。 地図情報(例) ※道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。 ※GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。
AUDIO情報を表示	現在地表示時に、再生中の曲名や周波数、放送局名などを表示する／表示しない ※BLUETOOTH Audio再生時は曲名が表示されない場合もあります。

その他設定	
緯度・経度を表示	地図画面(現在地表示時は除く。)に、緯度･経度を表示する／表示しない 緯度・経度
登録地点を表示	登録地マークを表示する／表示しない 登録地マーク

その他設定	
右画面AVを表示	右画面にオーディオ画面を表示する／表示しない ※録音中でも右画面AV表示にすることができます。 ※走行中は音声のみとなります。 ※現在地表示時に Quick ➡ 右画面表示 ➡ AV をタッチして右画面にオーディオ画面を表示することもできます。 ※右画面AV(ナビゲーションとDVD)の場合、DVDの初期設定でアスペクト比を“16：9”に設定していても、その比率で表示されません。

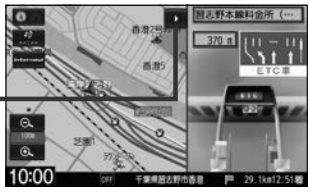
案内画面の設定をする

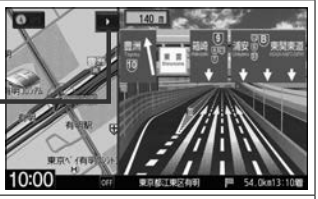
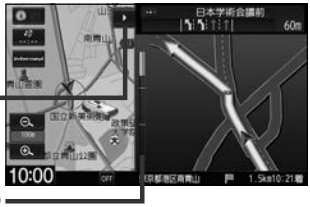
ルート案内時に表示する内容を設定します。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 表示 ➡ ルート案内設定 をタッチする。

：ルート案内の設定画面が表示されます。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

全ルートの表示	ルート探索終了後、ルート全表示する／全表示しない ※ しない に設定していても、複数ルート探索後はルート全表示となります。
交差点情報の表示	走行中、常に交差点情報を表示する／表示しない （ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示） ※ 案内中のみ をタッチするとルート案内時のみ交差点情報を表示します。
ルート色の表示	ピンク …… 設定ルートの色をピンクで表示 イエロー … 設定ルートの色をイエローで表示 ※ ピンク ／ イエロー どちらを選んでも有料道路の設定ルートは青色になります。
ETCレーンの表示	料金所の手前でETCレーンを表示する／表示しない ▶ をタッチすると、一時的にETCレーン表示を消します。 （再度表示するには ◀ をタッチ） 
ルート情報の表示	ルート情報を表示する／表示しない ＊1 ＊2 ＊3 ＊1… 詳細 をタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示できます。（探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合、ボタンは表示されません。）走行中は詳細情報は表示できません。 ＊2…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 SA／PA をタッチすると、サービスエリア／パーキングエリアのみルート情報を表示します。探索したルートに高速道路がある場合でもその高速道路にサービスエリア／パーキングエリアがないときは選べません。 ＊3…経由地や各ポイントなどへの到着時間や距離を表示します。

ハイウェイモードの表示	高速道路／一般有料道路走行時のみルート情報を表示する／表示しない
JCTビューの表示	JCTビューを 表示する／表示しない ▶をタッチすると、一時的に JCTビュー表示を消します。 （再度表示するには◀をタッチ） 
交差点拡大図の表示	交差点拡大図を 表示する／表示しない ▶をタッチすると、一時的に 交差点拡大図表示を消します。 （再度表示するには◀をタッチ） バーの長さによって交差点までの 残距離の目安を表示 
リアル3D表示	リアル3D交差点を 表示する／表示しない ▶をタッチすると、一時的に リアル3Dの表示を消します。 （再度表示するには◀をタッチ）
方面看板の表示	走行中は常に方面看板を 表示する／表示しない ▶をタッチすると、一時的に 方面看板表示を消します。 （再度表示するには◀をタッチ） ※ 案内中のみ をタッチするとルート案内時のみ方面看板を表示します。 ※ する ／ 案内中のみ に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
AV画面中の案内割込み	オーディオ画面表示中に左折や右折などの情報がある場合、ルート案内画面に切り替える／切り替えない ※ルート案内終了後、オーディオ画面に戻ります。 ※▶をタッチするとルート案内画面を一時的に消します。
右画面AV中の案内割込み	右画面AV表示中に左折や右折などの情報がある場合、ルート案内画面に切り替える／切り替えない ※ルート案内終了後、オーディオ画面に戻ります。 ※▶をタッチするとルート案内画面を一時的に消します。

盗難多発地点案内	地図上に盗難多発地点を表示する／表示しない ※盗難多発地点マークは地図の縮尺スケールが200 m以下で表示されます。
目的地方向を表示	自車マークから目的地まで直線で表示する／表示しない
EWS(緊急情報)の割込み	EWS(☞K-12)受信時に、EWSに自動的に切り替える／切り替えない

アドバイス

交差点情報の表示について

- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。(表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合もあります。)
- 次の交差点が10 km以上の場合は交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。

ETCレーンの表示について

- ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。
- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

ルート情報の表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がる方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。
- VICS情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS情報マークを表示します。

ハイウェイモードの表示について

- “ルート情報の表示” **する** に設定すると、高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”は選べなくなります。
- ハイウェイモードを表示する設定にしていても、ルートを引いていないと表示されません。

JCTビューの表示について

- 高速道路や都市高速道路のJCT分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図を右画面に表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていない分岐点では、JCTビューはしません。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

アドバイス

交差点拡大図の表示について

- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマークとともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合や、GPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大図機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合は、この機能は働きません。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
  - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大図表示はしません。
  - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
  - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

リアル3D表示について

ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。

方面看板の表示について

交差点まで距離が短い場合、方面看板は表示されません。

AV画面中の案内割込みについて

- 本機を操作している間は、ルート案内画面に切り替わらない場合があります。
- ルート案内画面に切り替わった際に本機を操作するとAV画面に戻らない場合があります。

盗難多発地点案内について

- 盗難多発地点の詳細情報を見るには、地図をスクロールして盗難多発地点に合わせ **設定** ➡ **施設詳細** をタッチしてください。
- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。
- 盗難多発地点のマークの表示は盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。
  (地域により基準は異なります。)
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、メッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行するとメッセージと音声でお知らせします。
- 3D表示ではマークの表示はされますが、地図画面上に“車上ねらい多発地点”は表示されません。また、**設定** をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。

ランドマーク表示の設定をする

特定の施設を探したいとき、または道しるべとして利用したいときなどは、各施設を地図上にマークで表示させることができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 表示 ➡ ランドマーク設定 をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

2 リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

：詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク（詳細施設）がない場合は、選んだジャンルに✔印が付き、設定が完了します。

3 リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

：選んだ施設に✔印が付きます。

※ 全選択 をタッチすると全施設に✔印が付きます。

■ ランドマークの表示をやめる

① 上記手順 2 で表示をやめたいジャンルを選んでタッチする。

※ランドマーク名横に▶マーク（詳細施設）がない場合は、✔印が消え、設定が完了します。

② 詳細施設をタッチする。

：✔印が消えます。

※全解除したい場合は、 全解除 をタッチします。

4 戻る をタッチする。

：選んだジャンルに✔印が付きます。

NAVI設定

ランドマーク表示の設定をする

アドバイス

- ランドマーク表示は、縮尺スケールが400 m以下の場合に表示されます。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合って見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソル(−┼−)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。
  設定 ➡ **施設詳細** をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。
  施設に電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。 **電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。)
  ※携帯電話を接続(登録)していない場合、 **電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります)

詳細情報画面

自車マークの種類を設定する

自車マークの種類を選ぶことができます。

1 MENU ➡ **設定** ➡ **NAVI設定** ➡ **表示** ➡ **カーマーク設定** をタッチする。

：カーマーク設定画面が表示されます。

2 マークの種類を選んでタッチする。

現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(−┼−)を合わせる。

2 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 表示 ➡ 自車位置設定 をタッチする。

：自車位置設定(位置)画面が表示されます。

3 カーソル(−┼−)の位置を確認し、必要であれば微調整して修正する。

4 セット をタッチする。

：自車位置設定(角度)画面になります。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。

5 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、セット をタッチする。

：修正した現在地の地図画面が表示されます。

アドバイス 現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。

VICS表示の設定をする

地図画面にVICS情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。

1

MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ VICS をタッチする。

：VICS表示設定画面が表示されます。

2

表示したい道路を選んでタッチする。

：表示灯が点灯／消灯し、マークや矢印の表示／非表示が切り替わります。

一般道	一般道路に対し交通情報を表示
有料道	有料道路に対し交通情報を表示

3

表示したい項目を選んでタッチする。

：表示灯が点灯／消灯し、選んだ項目の表示／非表示が切り替わります。

規制	規制情報がある場合に表示
点滅	渋滞情報などの矢印を点滅表示
駐車場	駐車場情報がある場合に表示
渋滞無し	渋滞なし情報がある場合に表示
渋滞混雑	渋滞や混雑情報がある場合に表示

表示灯

アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、VICS情報が表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がVICS情報表示できない縮尺であることが考えられます。
- 情報が多い場合は、VICS情報表示するまでに数秒かかることがあります。
- VICS情報表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面にVICS情報を表示する場合は、VICS情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。

音声案内の音量調整／詳細設定をする

音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内などの詳細設定ができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 音声案内 をタッチする。

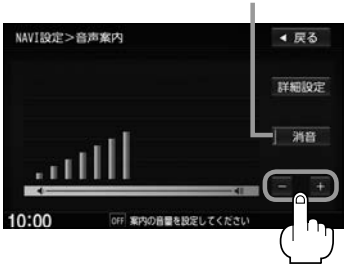
2 音声案内の音量調整／詳細設定をする。

■ 音声案内の音量調整

① － ／ ＋ をタッチし、お好みの音量に調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声が鳴ります。

タッチするたびに
音声案内をやめる⇔音声案内をする
（消音設定時、表示灯は点灯）



■ 音声案内の詳細設定

① 詳細設定 をタッチし、設定したい項目を設定する。

合流案内	高速道路の合流地点に近くなると音声でお知らせ 常時 ……ルートを設定していないときでも音声案内をする 案内中 …ルート案内中に音声案内をする なし ……音声案内をしない
踏み切り案内	踏み切り近くになると音声でお知らせ 常時 ……ルートを設定していないときでも音声案内をする 案内中 …ルート案内中に音声案内をする なし ……音声案内をしない
専用レーン案内	ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせない
高速走行時の音声切替	高速走行時に自動で音量を上げる／上げない
VICS案内	渋滞／規制情報がある場合に音声案内をする／しない ※VICS情報を受信できない場合などは、 ON を選んでいても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

平均時速を設定する

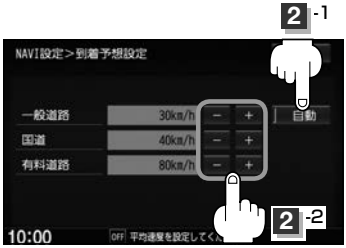
ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておくとより正確な到着予想時刻を知ることができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 到着予想 をタッチする。

：到着予想設定画面が表示されます。

2 自動 ➡ － ／ ＋ をタッチして平均走行速度を設定する。（5 km/h単位）

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。



アドバイス 自動 をタッチして表示灯を消灯にしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。

登録地点の編集

登録した地点の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモを登録したり、登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくしたりすることができます。
また、低速でカメラ地点に近づいたときに自動でカメラ映像に切り替える設定をすることもできます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2 編集したい項目を選んでタッチする。

■ 自宅／登録地点を編集する

① 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ 登録地点編集 をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選んでください。

アドバイス

- 前回 フォルダ を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには 全表示 をタッチしてください。
- カーソル(−┼−)を登録地点マークに合わせ 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。
  ※この場合、位置修正はできません。

フォルダ選択画面

② 変更／登録する項目をタッチする。

名称 …名称を変更します。

フォルダ …フォルダを選べます。
（登録地点編集時のみ表示）

TEL …電話番号を登録します。

メモ …メモを登録します。

マーク …マークを変更します。

アラーム …アラーム音を変更します。

カメラ …カメラ地点の自動表示を設定します。
（別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示）

登録地点詳細画面

現在登録している情報を表示

登録地点の位置を修正

アドバイス

電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。 **電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。（BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。M-2）携帯電話を接続していない場合、 **電話する** は選べません。（ボタンは暗くなります。）

□ 名称／メモを編集する

1. 名称 または メモ をタッチする。

：名称編集またはメモ編集画面が表示されます。

2. 文字を入力し、 決定 をタッチする。

：登録地点詳細画面に戻ります。

□ フォルダを変更する

1. フォルダ をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。

2. リストから移動したいフォルダを選んでタッチする。

：選んだフォルダに登録地点が移動し、登録地点詳細画面に戻ります。

□ 電話番号を編集する

1. TEL をタッチする。

   ：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字をタッチし、決定 をタッチする。

   ※20文字まで入力できます。

□ アラームを編集する

1. アラーム をタッチする。

   ：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。

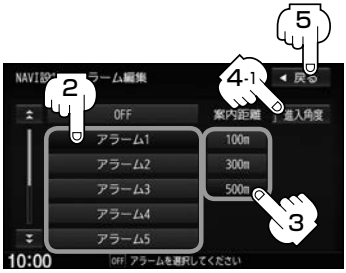
   ※ OFF を選んだ場合、アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離を選んでタッチする。

   ※選んだ距離まで近づくと、アラーム音が鳴ります。

4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、進入角度 をタッチし、矢印をタッチして自車マークの方向を修正し、セット をタッチする。

   ：アラーム編集画面に戻り、進入角度 の表示灯が点灯します。



アラーム音の種類

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音1
アラーム7	効果音2
アラーム8	効果音3
アラーム9	効果音4

進入方向

5. 戻る をタッチする。

アドバイス 音声案内の音量設定(☞ F-13)で消音設定している場合はアラーム音が鳴りません。

□ マークを編集する

1. マーク をタッチする。

：マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして 戻る をタッチする。

※選んだマークが地図上に表示されます。

※下記の□カメラ地点編集をする で カメラ地点 を表示する(ON)に設定している場合は、マークの変更はできません。

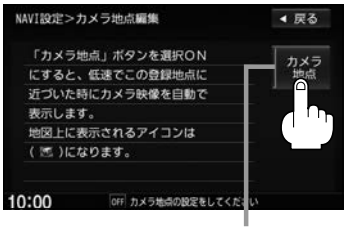
□ カメラ地点編集をする

1. カメラ をタッチする。

：カメラ地点編集画面が表示されます。

2. カメラ地点 をタッチする。

：表示灯を点灯／消灯するたびにカメラ映像を自動で表示する(ON)／しない(OFF)が切り替わります。



3. 戻る をタッチする。

アドバイス 表示する(ON)に設定した場合、カメラ地点として設定されます。地図上のマークは になり、他のマークには変更できません。

■ フォルダ名を編集する

① **フォルダ名編集** ➡リストから編集する
フォルダを選び、タッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。

アドバイス **フォルダ指定なし** は編集できないため表示されません。

② 文字を入力し、**決定** をタッチする。

アドバイス 本機は“かな”を1度に入力できる文字数が14文字までのため、14文字まで入力したら一度 **変換** ／ **無変換** をタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

2 登録地点編集 をタッチする。

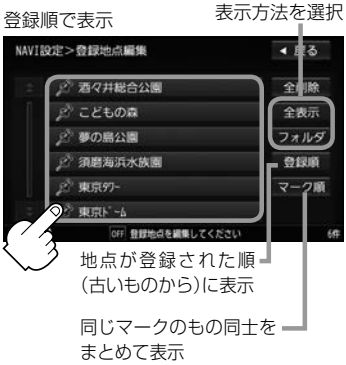
：登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

アドバイス ☞F-15で フォルダ を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3 並び替えをしたい地点を選んでタッチする。

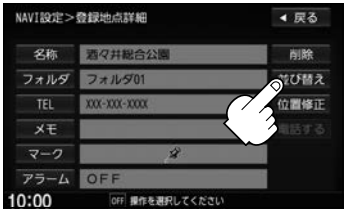
：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内での並び替えをします。



4 並び替え をタッチする。

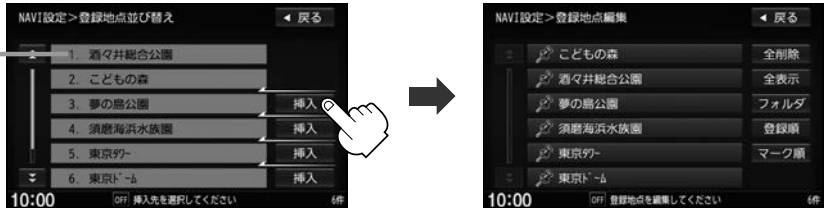
：登録地点並び替え画面が表示されます。



5 挿入したい場所の 挿入 をタッチする。

例 2.こどもの森の下に挿入する場合

並び替えしたい地点の番号を青色で表示



アドバイス

- 登録地点が自宅以外に２個以上ある場合に並び替えができます。１個の場合は 並び替え は表示されません。
- カーソル( )を登録地点マークに合わせ、 設定 ➡ 地点編集 をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

自宅／登録地点の位置を修正する

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

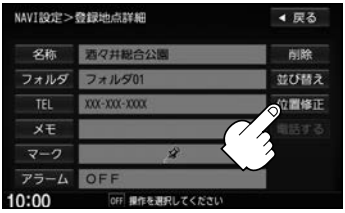
※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 4 へ進んでください。

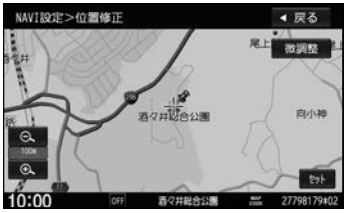
アドバイス ☞F-15で フォルダ を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3 登録地点をタッチする。

4 位置修正 をタッチする。

：自宅または選んだ登録地点の地図が表示されます。





5 カーソル(−┼−)の位置を修正する。

6 セット をタッチする。

：位置が修正されます。

自宅／登録地点を削除する

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2 自宅編集 ／ 登録地点編集 をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ 自宅編集 をタッチした場合は手順 4 へ進んでください。

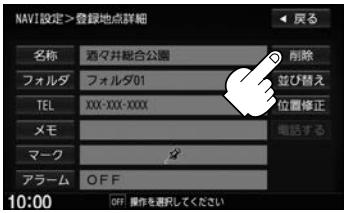
アドバイス ☞F-15で フォルダ を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3 削除したい地点を選び、タッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

4 削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので はい をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



アドバイス 登録地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称などの項目も全て消えます。

SDカードから地点を登録する

パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。（最大300カ所）
あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。
※SDカードの再生を停止してから操作してください。

1 ▲ ➡ **OPEN** をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

：自動でディスプレイが閉じます。

3 MENU ➡ **設定** ➡ **NAVI設定** ➡ **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

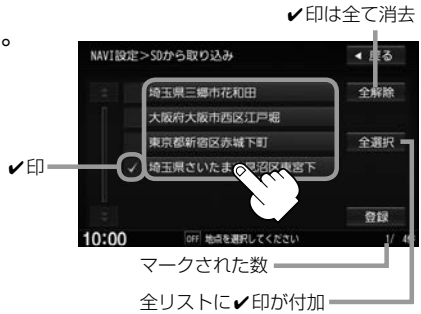
4 **SDから取り込み** をタッチする。

：SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

※SDカードに位置情報ファイルがないとメッセージが表示されるので、 **OK** をタッチしてください。

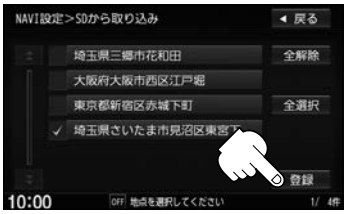
5 本機に登録したい地点を選んでタッチする。

：選んだリストに✔印が付きます。



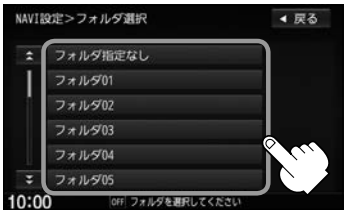
6 **登録** をタッチする。

：フォルダ選択画面が表示されます。



7 保存したいフォルダを選んでタッチする。

：メッセージが表示され、登録地点編集画面に戻ります。



アドバイス

- 登録した地点を確認するには、MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 ➡ 登録地点編集 をタッチしてください。
- 本機に登録しないと、名称／フォルダ／TEL／メモ／マーク／アラーム／カメラなどの編集を行うことはできません。
- SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。☞「登録地点の編集」F-15
- 地点情報により、アラームが設定される場合もあります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード／microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

パーソナルHPと同期について

登録地点の情報を、本機とインターナビ・リンク プレミアムクラブ会員専用のパーソナル・ホームページを同期することにより、お互いの情報を最新の内容に更新できます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2 パーソナルHPと同期 をタッチする。

3 操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

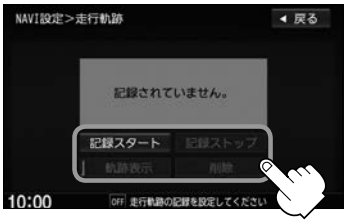
走行軌跡を使う

通った道にしるしをつけ、記録することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1 MENU ➡ 設定 ➡ NAVI設定 ➡ 走行軌跡 をタッチする。

：走行軌跡の設定画面が表示されます。

2 “走行軌跡” の設定をする。



軌跡の記録をする	記録スタート をタッチ ：軌跡の記録を開始します。自車マークが移動すると、軌跡が表示され、登録が開始されます。
軌跡の記録をやめる	記録ストップ をタッチ
地図上に軌跡を表示する	軌跡表示 をタッチし、表示灯を点灯 ：地図上に軌跡が青色で表示されます。 ※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。 ※表示するだけで記録はされません。
地図上の軌跡の表示をやめる	軌跡表示 をタッチし、表示灯を消灯 ※表示をやめるだけで、メモリから消すわけではありません。
軌跡を削除する	削除 をタッチ ：メッセージが表示されるので、 はい をタッチします。 ※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。

アドバイス

- 軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の記録をやめ、再度軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。
- 軌跡を記録中は、軌跡の表示をやめることはできません。
- 走行中の操作はできません。

G
各種設定をする

システム設定

internavi設定について……G-2
オプションボタンの設定をする……G-2
ETCの各機能を設定する……G-3
セキュリティを設定する……G-5
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する…G-6
フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする…G-6
フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する…G-8
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する…G-8
フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する…G-9
コーナーカメラガイドを表示／非表示する……G-10
コーナーカメラのビューを切り替える……G-10
コーナーカメラガイドの見かた……G-11
カメラの映像について……G-12
リアカメラ映像を表示する……G-13
リアカメラ映像を表示する……G-13
ビューの切り替えをする……G-13
リアカメラガイドを表示／非表示する……G-14
警告文の位置を上げる……G-15
リアカメラガイドの見かた……G-16
カメラの映像について……G-17
リアカメラの次回表示ビュー設定
（リアワイドカメラ接続時のみ）……G-18
キー操作音の設定をする……G-19
データを初期化（消去）する……G-20
映像中の時計表示の設定をする……G-21

internavi設定について

インターナビの各種設定をすることができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ internavi設定 をタッチする。

：internavi設定画面が表示されます。

2 各操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編を
ご覧ください。

オプションボタンの設定をする

本機の ✿ (オプション)によく使う機能を設定することができます。設定すると ✿ をタッチして、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ オプションボタン をタッチする。

：オプションボタン設定画面が表示されます。

2 設定する機能を選んでタッチする。

自宅	自宅までのルート探索をします。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示の右画面に地図を表示します。
ミュート	画面はそのままで、オーディオの音量のみ消します。 再度 ✿ をタッチすると音量が出ます。
昼夜切替	✿ をタッチするたびに、画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えます。地図設定色も昼用・夜用の色に切り替えます。
フロントカメラ切替 コーナーカメラ切替	画面をフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えます。 (別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示) ※フロントカメラまたはコーナーカメラを接続した直後は、強制的に フロントカメラ切替 または コーナーカメラ切替 に設定されます。

ETCの各機能を設定する

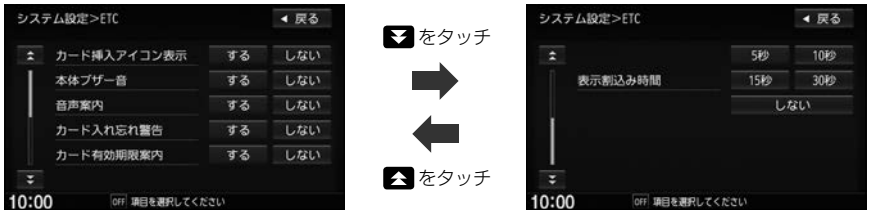
別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンの表示／非表示、料金所通過確認ブザーやETCカード有効期限案内の設定をすることができます。
詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の説明書をご覧ください。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ ETC をタッチする。

：ETC設定画面が表示されます。

2 設定する項目を選んでタッチする。



■ カード挿入アイコン表示の設定

する	ETCカードを挿入すると情報バーにETCアイコンが表示
しない	ETCカードを挿入しても情報バーにETCアイコンは非表示

アドバイス
カード挿入アイコン表示を する に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーにETCアイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

■ 本体ブザー音の設定

する	ETCカードを挿入したときや、入口／出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせ
しない	ブザーでのお知らせなし

■ 音声案内の設定

する	利用料金などをナビゲーション本体から音声案内
しない	音声案内なし

アドバイス
利用料金などの音声案内は、画面の表示と異なる場合があります。

■ カード入れ忘れ警告の設定

する	車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れたときにETCカードが挿入されていない場合、画面と音声でお知らせ
しない	お知らせなし

■ カード有効期限案内の設定

する	ETCカードの有効期限の2か月前または有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると、音声とメッセージ画面でお知らせ
しない	お知らせなし

■ 表示割込み時間の設定

5秒 10秒 15秒 30秒	ETC関係のお知らせをそれぞれの時間で表示
しない	ETC関係のお知らせはなし

アドバイス

しない に設定していても料金所通過時、料金支払時は表示割込みされます。

セキュリティを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。設定すると、ナビゲーションがバッテリーから外され、再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないとナビゲーションが起動しません。
また、セキュリティインジケータの設定もすることができます。

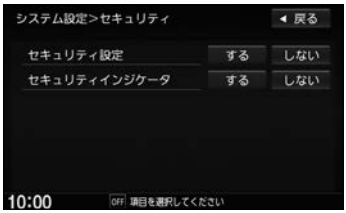
セキュリティカードに 5 桁のセキュリティコードが記載されています。
※セキュリティカードは、なくさないよう保管ください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの Honda 販売店までお問い合わせください。
※セキュリティコードを変更することはできません。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ セキュリティ をタッチする。

：セキュリティ設定画面が表示されます。

2 設定する機能を選んでタッチする。

セキュリティ設定画面



■ セキュリティ設定

する	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続した際にセキュリティコード入力画面を表示
しない	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続してもセキュリティコード入力画面は非表示

■ セキュリティインジケータの表示設定

※セキュリティ設定が する のときのみ設定可能

する	車のエンジンスイッチがロックに入っているときに、インジケータが点滅
しない	インジケータの点滅なし

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的に画面がフロントカメラ／コーナーカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイドコーナー付近から前方をモニター画面で確認することができます。

フロントカメラ設定 ／ コーナーカメラ設定 は別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時に表示されます。

※フロントカメラ／コーナーカメラの映像を調整するには ☞「映像の調整のしかた」0-24

フロントカメラ／コーナーカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、 アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 をタッチする。

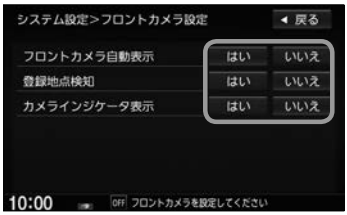
2 フロントカメラ設定 ／ コーナーカメラ設定 をタッチする。

：カメラ設定画面が表示されます。

コーナーカメラを接続している場合は、ボタン表示が コーナーカメラ設定

3 設定したい項目を選んでタッチする。

フロントカメラ接続の場合



4 戻る をタッチする。

：設定を保存し、システム設定画面に戻ります。

“フロント／コーナーカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

“登録地点検知” について

- 登録したカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- あらかじめカメラ地点を登録しておく必要があります。
  「(フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する)」G-9
- カメラ地点編集画面で カメラ地点 の表示灯を消灯にしている場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
  「□カメラ地点編集をする」F-18

“カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナーカメラを接続すると情報バーに
アイコンを表示する／しないの設定ができます。

アイコンの色について

緑色：低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。
灰色：低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。

アイコン

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

“フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示”や“登録地点検知”で はい に設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

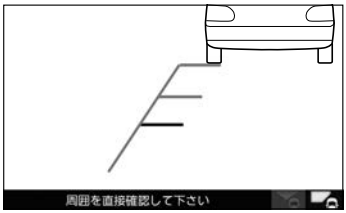
低速で走行すると・・・

：前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。

走行速度があがると・・・

：もとの画面に戻ります。

コーナーカメラ映像



アドバイス

フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示 いいえ を設定した場合

- カメラの操作は、オプションボタンの設定を フロントカメラ切替 ／ コーナーカメラ切替 にしておく必要があります。G-2
- 低速走行または停車時に [⚙] をタッチして、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。もとの画面に戻したいときは、再度 [⚙] をタッチしてください。
- 高速走行時は [⚙] をタッチしても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。低速走行になると、１回だけカメラ映像を表示します。（再度 [⚙] をタッチするとメッセージが表示され、低速走行になってもカメラ映像は表示しません。）

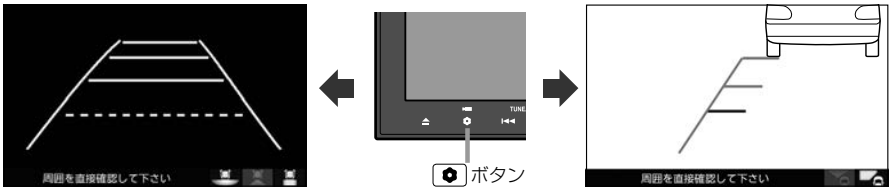
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のセレクトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

※ [⚙] をタッチするたびに、映像画面が切り替わります。

リアカメラ映像画面　　コーナーカメラ映像画面



アドバイス

車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(−┼−)を合わせ、**設定** をタッチする。

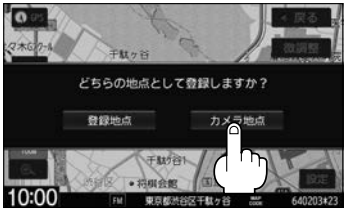
：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

2 **地点登録** をタッチする。

3 **カメラ地点** をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上にカメラ地点マーク が追加されます。



アドバイス フロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するかのメッセージは表示されません。

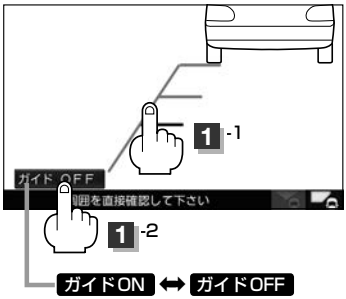
システム設定

コーナーカメラガイドを表示／非表示する

アドバイス
- 必要なガイド線はHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1 コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、**ガイドOFF**をタッチする。

：コーナーカメラガイドが非表示になります。



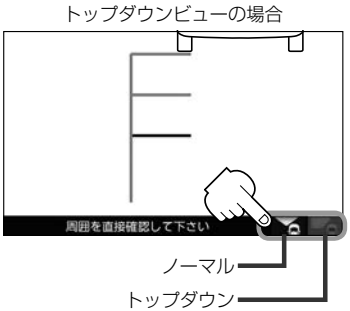
2 再度、表示させるには画面をタッチして**ガイドON**をタッチする。

コーナーカメラのビューを切り替える（コーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ）

1 ビュー(ノーマル／トップダウン)切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのコーナーカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



コーナーカメラガイドの見かた

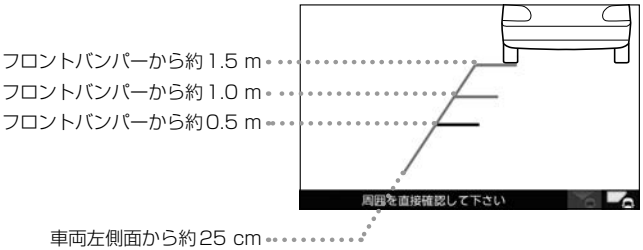
画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。

お願い

- 画面上に表示されるコーナーカメラガイドは目安です。コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

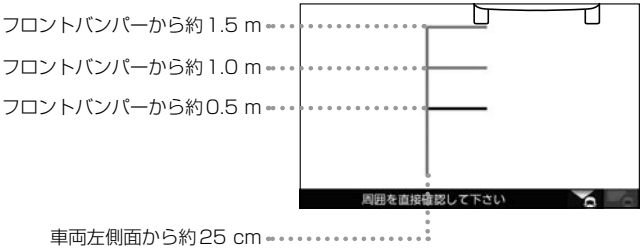
■ コーナーカメラ(ノーマルビュー)画面

コーナーカメラ(2ビュー)(例)



■ コーナーカメラ(トップダウンビュー)画面

コーナーカメラ(2ビュー)のみ



アドバイス

- ガイド線は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図に示すガイド線の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド線と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

リアカメラ映像を表示する

車両標準装備
別売

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

※リアカメラの映像を調整するには ☞「映像の調整のしかた」G-24

リアカメラ映像を表示する

■ **車のセレクトレバーをリバースに入れる**

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。

■ **車のセレクトレバーをリバース以外に入れる**

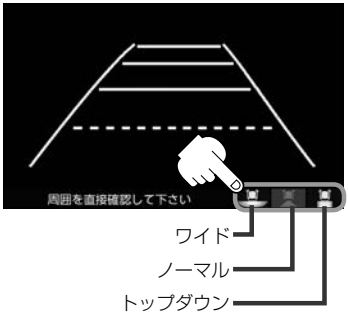
：もとの画面に戻ります。

ビューの切り替えをする（リアワイドカメラ接続時のみ）

1 **ビュー（ワイド／ノーマル／トップダウン）切り替えボタンをタッチする。**

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



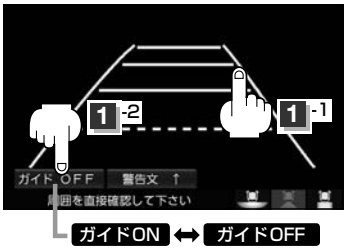
お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

リアカメラガイドを表示／非表示する

1 パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れリアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチしてボタンを表示させ、**ガイドOFF**をタッチする。

：リアカメラガイドが非表示になります。



アドバイス **ガイドON** ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもタッチすることができますが、周囲の安全を確認してから行ってください。

2 再度、表示させるには画面をタッチして**ガイドON**をタッチする。

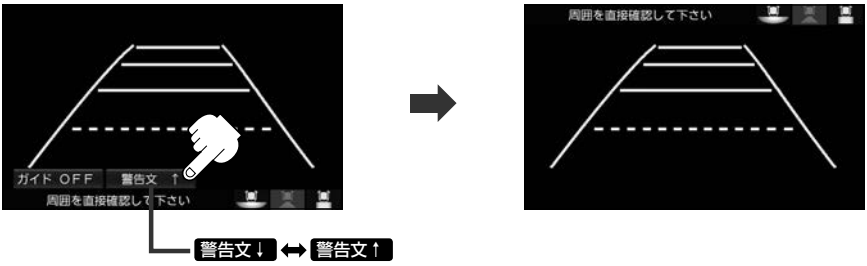
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

警告文の位置を上げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして 警告文↑ をタッチする。

：画面下部の警告文が画面上部に表示されます。



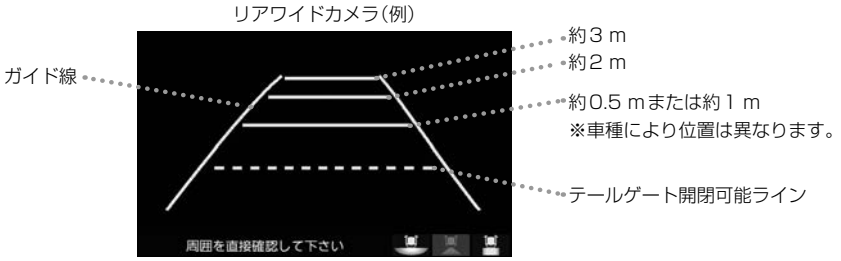
2 位置を下げるには画面をタッチして 警告文↓ をタッチする。

アドバイス
車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。

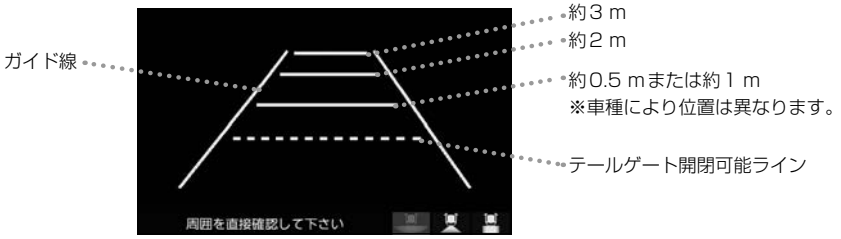
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類および選んだ表示ビューにより見え方が異なります。

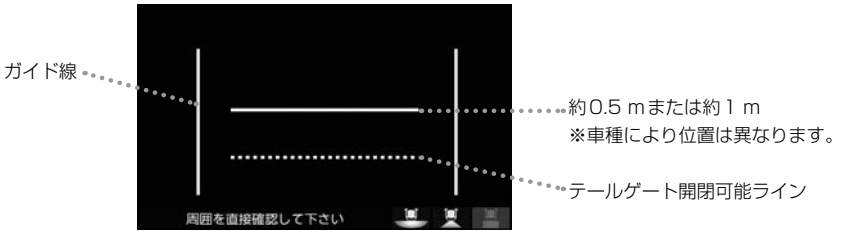
■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)画面



■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)画面

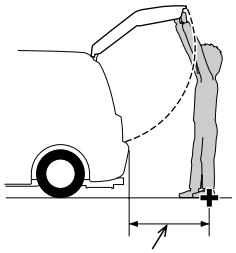


■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)画面



アドバイス

- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
  - 図(☞ G-16)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
  - 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
    - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
    - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。
リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1

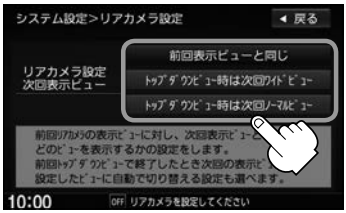
MENU ➡ **設定** ➡ **システム設定** ➡ **リアカメラ設定** をタッチする。

：リアカメラ設定画面が表示されます。

2

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。

リアカメラ設定画面



■ 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える

① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** ／ **トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー** をタッチする。

※リアカメラ表示終了後に 10 km／h を超えて走行していない場合は、次回表示ビューは切り替わりません。

■ 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする

① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。

キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2 キー操作音 をタッチする。

：キー操作音設定画面が表示されます。

3 キー操作音を選んでタッチする。

キー操作音1	キー操作音１を出す
キー操作音2	キー操作音２を出す
キー操作音OFF	キー操作音を出さない

データを初期化(消去)する

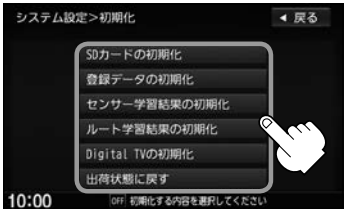
SDカードにあるデータや本機に登録・設定された内容などの情報を初期化できます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ その他 ➡ 初期化 をタッチする。

：初期化画面が表示されます。

2 初期化したい項目をタッチする。

※メッセージが表示されるので画面に従ってください。



SDカードの初期化	SDカードにあるデータを初期化します。
登録データの初期化	音楽データ以外の登録・設定した内容を初期化します。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
Digital TVの初期化	デジタルテレビで設定した内容を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。

お願い

- **初期化中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選ぶと、選択した項目は初期化(消去)され、もとに戻せません。**

※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)

- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

アドバイス

- 録音データの初期化、Gracenoteデータベースの初期化はI-12をご覧ください。
- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチをロックに入れてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。
  (センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行ってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。
- 出荷状態に戻す をタッチしたときはオーディオがOFFになります。

映像中の時計表示の設定をする

映像の全画面表示中に時計を表示する／しないを選べます。

1 MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ その他 をタッチする。

：その他画面が表示されます。

2 表示設定を選んでタッチする。

する	時計を表示する
しない	時計を表示しない

H

オーディオを楽しむ

オーディオの基本操作……H-2
ソースを選ぶ……H-2
映像の表示について……H-2
音量を調整する……H-2
オーディオをON／OFFする……H-3
音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する…H-3
音声はそのままで画面を消す……H-3
時計を表示する……H-4
CDを聞く……H-5
CDを再生する……H-5
選曲する……H-6
早戻し／早送りする……H-6
リピート／ランダム／スキャン再生する……H-7
オンライン検索をする……H-8
FM／AMを聞く……H-9
FM／AMを聞く……H-9
選局する……H-9
道路交通情報を聞く……H-11
iPod／iPhoneを使う……H-12
再生する……H-12
音楽を選曲する……H-13
音楽を早戻し／早送りする……H-15
音楽をリピート／シャッフル再生する……H-15
ビデオを再生する……H-16
iPod／iPhoneを本機に接続する……H-17
USB機器／SDカードを使う……H-19
再生する……H-19
音楽を選曲する……H-20
音楽を早戻し／早送りする……H-21
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する…H-22
画像を再生する……H-22
再生する画像を選ぶ……H-23
画像のスライドショーを表示する……H-23
表示中の画像を回転する……H-23
動画を再生する……H-24
リストより再生する動画を選ぶ……H-24
USB機器を接続する……H-25
USB機器の接続をやめる……H-25
BLUETOOTH Audioを使う……H-26
機器を初期登録設定する……H-26
登録した機器の詳細情報を見る／
登録した機器を削除する……H-27
登録機器を切り替える……H-28
登録した機器の自動接続／優先接続を設定する…H-29
本機のBLUETOOTH情報を確認する……H-30
デバイス名／パスキーを変更する……H-30
音楽を再生する……H-31
選曲する……H-31
音楽を早戻し／早送りする……H-33
音楽をリピート／ランダム再生する……H-33
Music Rackを使う……H-34
音楽を再生する……H-34
選曲する……H-34
音楽を早戻し／早送りする……H-37
音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する…H-37
Music Rackの曲管理を行う……H-38
ジャケット写真を登録する……H-40
ジャンルを変更する……H-41
お気に入りに登録する……H-42
お気に入りから削除する……H-43
お気に入りフォルダ名を変更する……H-43
フェード・バランス／サブウーファー音量の調整をする……H-44
イコライザー(音質)の設定をする……H-44
サラウンドの設定をする……H-46
スピーカーの設定をする……H-47
車速連動音量を設定する……H-48

オーディオの基本操作

ソースを選ぶ

1 **AUDIO をタッチする。**

：AV MENU画面またはオーディオ画面が表示されます。

※オーディオ画面が表示された場合は、再度 AUDIO をタッチしてください。

2 **操作したいソースをタッチする。**

：選んだソースのオーディオ画面が表示されます。

AV MENU画面

映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※別売のリア席モニターを接続している場合、リア席モニターでは走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDソース画面(例)

音量を調整する

1 **▼／▲をタッチする。**

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※押し続けても調整することができます。

USBソース画面(例)

音量表示

▲をタッチすると音量を上げ、
▼をタッチすると音量を下げます。

アドバイス

- DVD／BLUETOOTH Audio／VTR／リアモニタHDMI／HDMIソースは個別に設定可能です。
- (オプション)にミュート機能を設定している場合は、をタッチして音を消すことができます。
「オプションボタンの設定をする」G-2

オーディオをON／OFFする

1 ⏻ をタッチする。

：オーディオの各ソースを再生／終了します。

※録音中の場合、CDソースを終了しても録音は継続されます。

アドバイス BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、オーディオをOFF／車のエンジンスイッチをロックに入れても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFF にしてください。

音声はそのままで、ナビゲーション画面を表示する

1 各ソースの画面で、現在地 をタッチする。

：音声はそのままで、画面がナビゲーション画面に変わります。

※今聞いているソース画面に戻すには再度 AUDIO をタッチしてください。

アドバイス 音量調整や ⏮ ／ ⏭ を使っての操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

音声はそのままで画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1 ⏻ を長押しする。

：画面が黒くなります。

※再度画面を表示するには画面をタッチ、または ⏻ をタッチしてください。

アドバイス
- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
  ※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、⏻ を長押ししても画面を消すことはできません。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 **各ソースの再生画面で、 切替 をタッチする。**

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するソースの場合、本設定はできません。

※再度オーディオ画面に戻すには、画面をタッチし、 切替 をタッチしてください。

USBソース再生画面(例)

CDを聞く

CDを再生する

1 ディスクを入れる。(☞ A-16)

CD再生画面
(♪ タッチ時)

MP3／WMAファイル再生画面
(♪ タッチ時)

アドバイス

- Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、再生と同時にMusic Rackへ自動で録音を開始します。(自動録音／手動録音は変更できます。☞ I-2)
- すでに挿入されているディスクを再生する場合や再生画面を表示する場合は、AUDIOメニューから CD／DVD をタッチしてください。
- 1枚のディスクに音楽データとMP3／WMAデータが混在する場合はMP3／WMAデータは再生しません。

トラック名／アーティスト名／アルバム名について

- 表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。
- ディスクにCD-TEXT情報があれば、CD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
  ※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- CD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が表示されます。
- ディスクにCD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにもヒットしなければ、アーティスト名／アルバム名は“No Title”と表示され、トラック名は“TRACK XX”(XXはトラック番号)と表示されます。ジャンルは空欄となります。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮／⏭をタッチする。

アドバイス 音楽CD録音中は、トラックを戻したり、進めることはできません。

■ トラックリストから選曲する

① ☰➡再生したい曲をタッチする。

アドバイス
- タイトル情報がない場合、トラックリストにはTRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
- MP3／WMAファイルを再生中の場合、再生しているフォルダ内のトラックリストが表示されます。

■ フォルダ選曲する(MP3／WMAのみ)

① フォルダ⊖／フォルダ⊕をタッチする。

フォルダ⊖	前のフォルダに戻る
フォルダ⊕	次のフォルダに進む

早戻し／早送りする

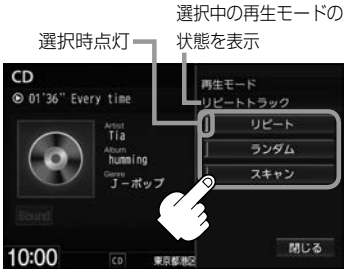
1 ⏮／⏭を長押しする。

アドバイス
- 音楽CD録音中は、早戻し／早送りはできません。
- ⏮／⏭をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

リピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

	CD	MP3／WMA
リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ フォルダ内の曲のリピート（REPEAT FOLDER 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	ディスク内の曲をランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）	選曲中フォルダ内の曲をランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）
スキャン	曲の初め（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 ディスク内の曲をスキャン再生（SCAN 表示） ↓ スキャン再生解除（マーク非表示）	

アドバイス

ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

オンライン検索をする

※市販の音楽CDの場合

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信USBを利用してGracenote音楽認識サービスより個別に取得できます。

1 **オンライン検索** をタッチする。

：インターナビ用データ通信USBを利用したデータ通信(接続)を開始します。

※接続に成功するとGracenote音楽認識サービス(サイト)より、タイトル情報を取得します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。
(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)

アドバイス

- 新作CDなどは、情報が取得できない場合があります。
- オンライン検索は、CDソースまたはMusic Rackソースから行うことができますが、録音後にCDソースでオンライン検索をしてもMusic Rackソースには反映されません。
  ※録音前にCDソースでオンライン検索をしておくとMusic Rackソースでもタイトル情報が反映されます。
  録音後にCDソースでオンライン検索した場合はMusic Rackソースではオンライン検索をしなくてもデータベース再探索をしてタイトル情報を更新することができます。
- 電波状況や情報のデータ量によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
  ・他の通信を行っているとき
  ・接続しているインターナビ用データ通信USBの圏外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報のデータ量や電波状況によっては、情報の取得に時間がかかる場合があります。
- 情報取得が終了すると、自動的に通信回線は切断されます。
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報が複数ある場合は、お好きなアルバムを選ぶことができます。

FM／AMを聞く

FM／AMを聞く

1 AUDIOメニュー(☞ A-14)から **FM／AM** をタッチする。

2 放送局リストからお好みの放送局をタッチする。

アドバイス 放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

選局する

■ 手動選局する

ひとつずつ上下する	⏮／⏭ をタッチ ：操作するたびに、FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わります。
連続して上下する	⏮／⏭ を長押しする ※押し続けている間、周波数が早送り／早戻しされます。お好みの周波数で指をはなしてください。 ※ ⏮／⏭ をしばらく押し続けていると周波数の早戻し／早送りが止まります。

■ 自動選局する

① ⏮／⏭ を長押しする。

：自動選局を始め、放送局を受信すると、自動的に止まります。
希望の放送局が見つかるまで、繰り返してください。

※自動選局中に ⏮／⏭ をタッチすると自動選局は止まります。

アドバイス 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセット選局(P1／P2)する

P1／P2にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

□ 放送局をメモリーする

FM、AMでP1／P2に6局ずつメモリーできます。

① **P1** ／ **P2** を選んでタッチする。

② ⏮ ／ ⏭ をタッチしてメモリーしたい放送局を選ぶ。

③ メモリーしたいボタンを、ボタンの表示が放送局の表示に変わるまで長押しする。

□ メモリーした放送局を呼び出す

① **P1** ／ **P2** ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します。

■ エリア選局する

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** ➡呼び出したい放送局をタッチする。

：選んだ放送局を受信します

アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数(ボタンの数)は変わります。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- 放送局リストは自動的には更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局リストを表示できていない場合があります。その場合は、**エリア更新** をタッチして現在地周辺の放送局リストに更新してください。

■ 放送局リスト選局する

受信できる放送局のリストを表示します。
※FM／AMソース以外のとき、自動で放送局をサーチします。

① **放送局リスト** ➡**呼び出したい放送局をタッチする。**

：選んだ放送局を受信し、ひとつ前の画面に戻ります。

□ 放送局リスト選局でリストを更新する

手動で車の現在地周辺で放送されている放送局のリストへ更新します。

① **リスト更新** **をタッチする。**

放送局リスト画面

：サーチ中はリスト表示や音声が消え、サーチが完了すると更新された放送局リストが表示されます。
受信できる放送局がない場合は、**リスト更新** をタッチする前のリストを表示します。

アドバイス
- リスト更新を行うとエリア選局の放送局名も更新されます。
- 自動で取得した放送局リストが正しく表示されない場合、リスト更新をすることで最新の放送局に更新することができます。

道路交通情報を聞く

1 **交通情報** **をタッチする。**

：交通情報受信画面になり、道路交通情報を受信します。

アドバイス 交通情報画面はAV MENU画面の **交通情報** をタッチしても表示させることができます。

2 **1620kHz** **または** **1629kHz** **をタッチする。**

：選んだ周波数の道路交通情報を受信します。

※受信をやめるには **戻る** をタッチしてください。
最後に選んでいたソースが表示され、交通情報の受信を終了します。

iPod／iPhoneを使う

あらかじめiPod／iPhoneを本機と接続(☞H-17)しておく必要があります。
※iPod／iPhoneはiPodソースで再生します。USBソースでは動作しません。

再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から **iPod** をタッチする。

※ビデオを再生したい場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

アドバイス

- 表示内容はiPod／iPhone本体で表示されるトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名となります。ただし、iPod／iPhoneの機種やバージョンによっては、トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod／iPhone本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では－(ハイフン表示)となります。
- iPod／iPhone本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮／⏭をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

① ☰➡再生したい曲をタッチする。

アドバイス

表示されるリストは選曲モード(☞H-14)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① **選曲モード**➡選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため **全曲** 以外は操作できません。

選曲モードのリスト

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	**再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ**
アーティスト	**再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ**
ポッドキャスト	**再生したいポッドキャストを選んでタッチ**
ジャンル	**再生したいジャンル➡アーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ**
プレイリスト	**再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ**
作曲者	**再生したい作曲者➡アルバム➡トラックを選んでタッチ**

すべて をタッチした場合は、絞込みをせずに次のリスト表示をします。
例えば、アーティストリストで **すべて** をタッチした場合、次に表示されるアルバムリストはiPod中にある全てのアルバムが表示されます。

アドバイス

- 選曲モードは、iPod／iPhone本体に収録されている内容となります。
- iPod／iPhoneのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチすると再生画面に戻ります。
- トラックリストのとき、トラック名が表示しきれない場合にタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。（スクロールは一巡すると止まります。）

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示となる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

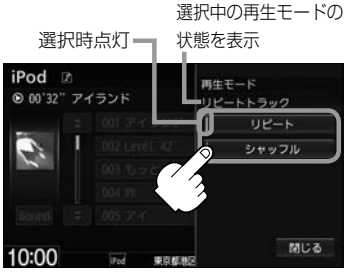
1 ⏮／⏭を長押しする。

アドバイス ⏮／⏭をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／シャッフル再生する

1 再生モードをタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。



※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
シャッフル	今聞いているリストの中からシャッフル再生（SHUFFLE TRACK 表示） ↓ 今聞いているアルバムごとにシャッフル再生（SHUFFLE ALBUM 表示） ↓ シャッフル再生解除（マーク非表示）

ビデオを再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から **iPod** をタッチする。

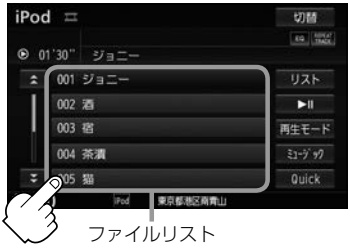
※ミュージックが再生される場合は、ミュージック再生画面で **ビデオ** をタッチしてください。

■ リストより再生するビデオを選ぶ

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② リストから再生したいファイルを選んでタッチする。

アドバイス ファイルリストを変更するには、**リスト** をタッチし、表示されたリストから選んでください。さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



ファイルリスト

■ ビデオをリピート再生する

① ビデオ再生中に、画面をタッチしてファイルリストと操作ボタンを表示させる。

② **再生モード** ➡ **リピート** をタッチする。

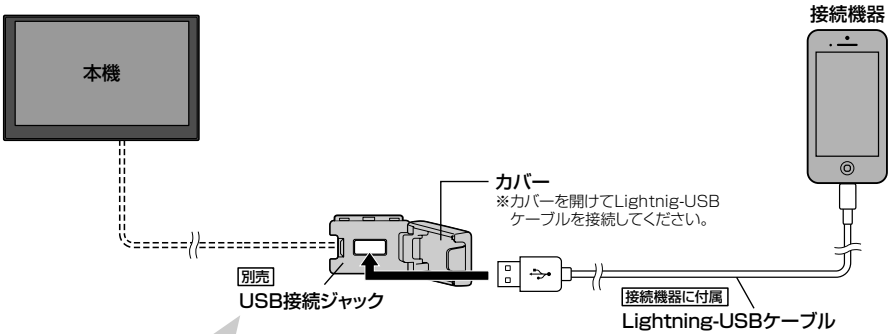
※ **リピート** をタッチするたびに、再生中のビデオをリピート⇔リピート解除が切り替わります。

アドバイス
- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。
- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod／iPhone本体の操作はできません。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPod／iPhoneがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度iPodビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のエンジンスイッチをロックに入れたりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リストの一番上の曲から再生となります。
- アーティスト／アルバムなどのタイトル情報を登録していないビデオは選択(再生)できません。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

iPod／iPhoneを本機に接続する

Lightningコネクタの場合

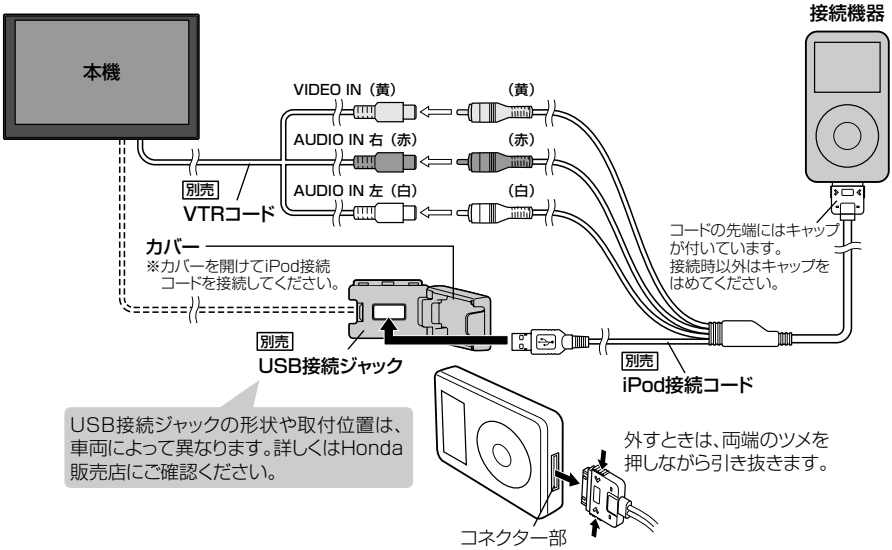
※ビデオ再生はできません。



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

Dockコネクタの場合

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると音楽・ビデオの再生が可能となります。



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

アドバイス

- USB接続ジャックにUSB機器やUSBメモリーデバイスコードが接続されている場合は外してください。☞ H-25
  ※iPod使用時は、USB機器は使用できません。
- USB接続ジャックからLightning-USBケーブルやiPod接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。
- VTRコードにVTR機器が接続されている場合は外してください。☞ L-2
- 未接続の場合、AV MENU画面で iPod は選べません。

iPod／iPhoneを本機に接続すると

- iPod／iPhoneに収録されたデータが本機に表示されます。
  （なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。）
- 本機に接続すると、起動中はiPodやiPhoneへ充電を行います。
- 接続中はiPod／iPhone本体を操作しないでください。
- iPod／iPhoneが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod／iPhoneを外してiPod／iPhoneをリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機にiPod／iPhoneを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod／iPhone 単体でお使いください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチをロックに入れると数分後にiPod本体の電源もOFFされます。（ただし、車のエンジンスイッチをロックに入れた場合の動作はiPodに依存しますので保証するものではありません。）
- iPodソースのときに、iPod／iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れたあとは、必ずiPod／iPhoneを取り外してください。iPod／iPhoneの電池を消耗することがあります。

USB機器／SDカードを使う

あらかじめUSB機器(USBメモリー／ウォークマン®)を本機と接続(☞H-25)／SDカードを本機に挿入(☞A-16)しておく必要があります。

再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から USB または SD をタッチし、
モード切替 ➡ 音楽ファイル ／ 画像ファイル ／ 動画ファイル をタッチする。

※画像／動画を再生中に操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。

アドバイス

- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アーティスト名／アルバム名／ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名／フォルダ名が表示しきれない場合は、タッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ウォークマン®に転送した「MP3」「WMA」「AAC」ファイルはフォルダ選曲でのみ再生できます。
- USB機器について☞0-34／SDカードについて☞0-33／音楽ファイルについて☞0-44／画像ファイルについて☞0-48／動画ファイルについて☞0-49

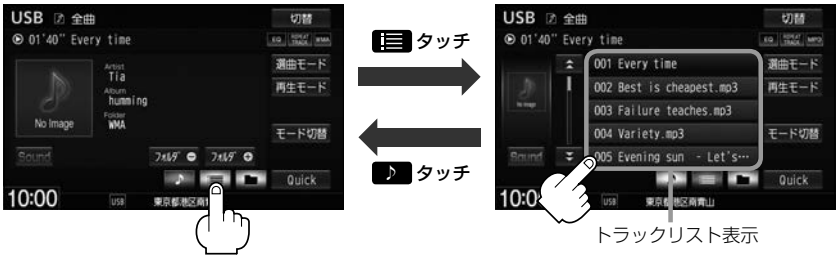
音楽を選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮／⏭をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

① ☰➡再生したい曲をタッチする。



アドバイス 表示されるリストは選曲モード(☞H-21)によって変わります。

■ フォルダ選曲する(USBメモリー／SDカード)／アルバム選曲する(ウォークマン®)

① 🗀／💿➡再生したいフォルダ／アルバムをタッチする。

アドバイス

USBメモリー／SDカードご使用の場合

再生画面(♪タッチ時)のとき、フォルダ⊖／フォルダ⊕をタッチしてフォルダを選ぶこともできます。(ウォークマン®は フォルダ⊖／フォルダ⊕は表示されません。)

ウォークマン®ご使用の場合

- 選曲モードでフォルダを選んだ場合は、💿が🗀に変わります。
- 選曲モードでジャンル／グループ／プレイリストを選んだ場合は、💿はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード(☞H-21)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、 全曲 以外は操作できません。

② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム ＊1	再生したいアルバム➡トラックを選んでタッチ
アーティスト ＊1	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックを選んでタッチ
ジャンル ＊1	再生したいジャンル➡トラックを選んでタッチ
グループ ＊1	再生したいグループ➡トラックを選んでタッチ
プレイリスト ＊1	再生したいプレイリスト➡トラックを選んでタッチ
フォルダ	再生したいフォルダ➡トラックを選んでタッチ

＊1…ウォークマン®のみ

③ 再生中画面 ⮌ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチするとひとつ前の画面に戻ります。

アドバイス
- 選べる選曲モードは機器により異なります。
- USB機器／SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。

走行中の操作制限について
- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭ を長押しする。

アドバイス
⏮／⏭ をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モード をタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）
スキャン	曲の初め（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生（SCAN 表示） ↓ スキャン再生解除（マーク非表示）

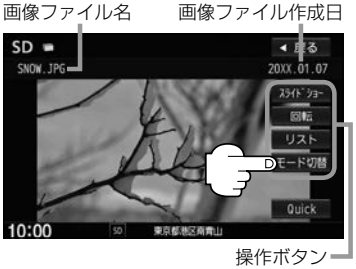
アドバイス ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

画像を再生する

1 AUDIOメニュー（☞A-14）から USB ／ SD をタッチする。

2 操作ボタンから モード切替 ➡ 画像ファイル をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、画面をタッチしてください。



再生する画像を選ぶ

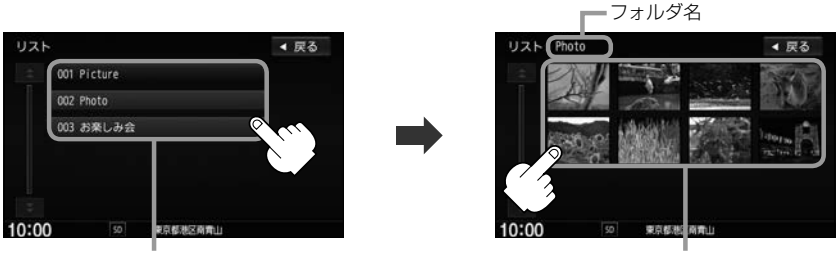
■ 1つずつ次の画像／前の画像を表示する

① ⏮／⏭をタッチする、
または全画面表示時(タッチボタン非表示時)に左右へドラッグ／フリック操作する。

■ リストより画像を選ぶ

① 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**リスト**をタッチする。

② フォルダを選んで、再生したい画像を選んでタッチする。



フォルダリスト　　画像リスト(サムネイル)表示

アドバイス　画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。

画像のスライドショーを表示する

選んでいるフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**スライドショー**をタッチする。

：設定した再生間隔でスライドショーを表示します。

※スライドショーをやめるには、画面をタッチ➡**終了**をタッチしてください。

アドバイス　再生間隔を変更できます。スライドショー表示中に画面をタッチ➡**再生間隔**をタッチし、お好みの時間を選んでタッチしてください。

表示中の画像を回転する

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**回転**をタッチする。

※タッチするたびに表示中の画像が90度ずつ右に回転(時計回り)します。

動画を再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から USB ／ SD をタッチする。

2 操作ボタンから モード切替 ➡ 動画ファイル をタッチする。

※操作ボタンが表示されていない場合は、
画面をタッチしてください。

リストより再生する動画を選ぶ

1 画面をタッチして操作ボタンを表示させ、 再生リスト をタッチする。

2 再生したい動画ファイルを選んでタッチする。

アドバイス

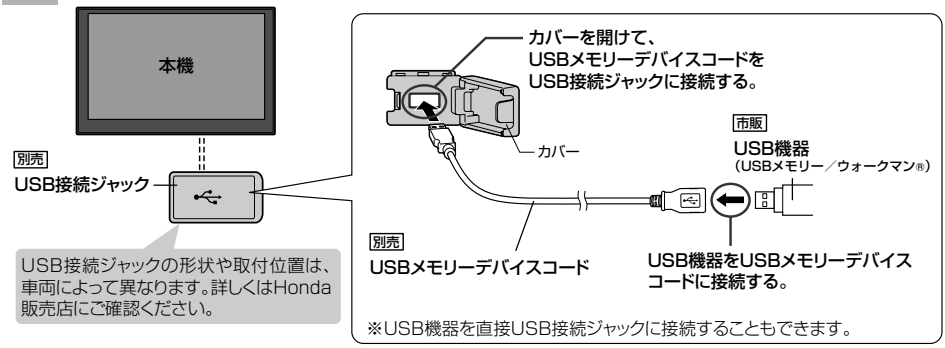
リストは変更できます。

全ファイルをリスト表示	再生リスト ➡ リスト変更 ➡ 全ファイル *1 をタッチ
選んだフォルダ内のファイルをリスト表示	再生リスト ➡ リスト変更 ➡ フォルダ *1 ➡フォルダリストから選んでタッチ

＊1…ウォークマン®の場合、 全ファイル が 全てのビデオ 、 フォルダ が VIDEO に変わります。

USB機器を接続する

1 別売のUSB接続ジャックとUSB機器を接続する。



アドバイス
- 車のエンジンスイッチをロックに入れている状態で行ってください。
- USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。☞ H-17
  ※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

1 ⏻をタッチする。

：オーディオをOFFします。

2 USB接続ジャックからUSB機器を外す。

3 カバーを閉じる。

※開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。

アドバイス
- USB機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
  ※USB機器認識中(再生中)に外した場合、または別のUSB機器を接続した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損するおそれがあります。
  必ずUSBソースを終了(OFF)にして外してください。

お願い
- USBソースのときに、ウォークマン®の接続・取り外しをしないでください。
  雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れたあとは、必ずウォークマン®を取り外してください。ウォークマン®の電池を消耗することがあります。

BLUETOOTH Audioを使う

機器を初期登録設定する

BLUETOOTH Audio機器の登録は、本機とBLUETOOTH Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、BLUETOOTH Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

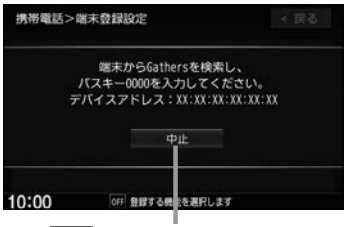
1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 携帯電話機器登録 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

アドバイス すでにBLUETOOTH接続済みの機器がある場合、その機器のBLUETOOTH接続を切断するかメッセージが表示されるので はい を選んで切断してください。

2 BLUETOOTH Audio機器側を操作して登録を行う。

※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に 中止 をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。

アドバイス
- BLUETOOTH Audio機器は2台まで登録可能です。
- BLUETOOTH Audio機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- BLUETOOTH Audio機器の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ登録することができます。
- 本機に登録済みのBLUETOOTH Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。

登録した機器の詳細情報を見る／登録した機器を削除する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

：登録機器一覧画面が表示されます。

※表示は最大2 件です。登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio は選べません。

2 情報を確認／登録機器を削除する。

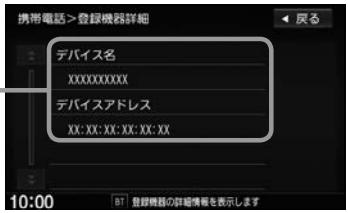
■ 登録機器の詳細情報を見る

① 詳細 をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。

登録機器一覧画面

登録機器詳細画面



登録しているBLUETOOTH Audio対応機器の詳細情報を確認

■ 登録機器を削除する

① 削除したい機器の 削除 をタッチする。

：メッセージを確認し、 はい をタッチすると、登録機器を削除します。

登録機器一覧画面

アドバイス

2台の登録があり、現在使用中のBLUETOOTH Audio対応機器を削除した場合は、残り1台を接続可能なBLUETOOTH Audio対応機器として自動で切り替えます。

アドバイス

安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録機器を切り替える

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

※表示は最大2 件です。登録されている BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio は選べません。

2 切り替えたい機器名の 接続する を タッチする。

：タッチするたびにBLUETOOTH接続する対象が切り替わります。

登録機器一覧画面

アドバイス

- BLUETOOTH Audio対応機器を切り替えた際、接続するまでに時間がかかることがあります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した機器の自動接続／優先接続を設定する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

：登録されているBLUETOOTH Audio対応機器の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

2 設定をする。

■ 自動接続の設定

① 設定を選び、タッチする。

する	ナビゲーション起動時に本機とBLUETOOTH Audio対応機器を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機とBLUETOOTH Audio対応機器を自動接続しない ※自動接続しない設定にしてもBLUETOOTH Audio対応機器から接続が行われた場合は接続を行います。

登録機器一覧画面

アドバイス
- 自動接続をする設定にしてもBLUETOOTH Audio対応機器が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- BLUETOOTH Audio対応機器を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

■ 優先接続の設定

① 優先したいBLUETOOTH Audio対応機器の 優先する をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると 優先する は選べません。

登録機器一覧画面

アドバイス
- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

3 設定を終えるには、 戻る または 現在地 ををタッチする。

：戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を表示

デバイス名／パスキーを変更する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

2 ■ デバイス名を変更する

① デバイス名変更 をタッチする。

② 英数字でデバイス名を入力し、決定 をタッチする。

■ パスキーを変更する

① パスキー変更 ➡ Bluetooth Audio をタッチする。

② 数字でパスキーを入力し、決定 をタッチする。

アドバイス 安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

音楽を再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から Bluetooth Audio をタッチする。

※機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは ▶ をタッチしてください。

表示					
残量	無し	少	←→	多	充電中

＊1…AVRCP ver.1.0では非表示
＊2…AVRCP ver.1.3以下では非表示／操作非対応

アドバイス

- 機器によっては、リストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 携帯電話の仕様によっては、携帯電話側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 携帯電話の機種によっては、オーディオ出力先を切り替えられる場合があります。その場合は出力先をBLUETOOTHにしてください。
- 機器によっては、機器側で操作を行うと、本機で表示される内容と機器側で表示される内容が異なる場合があります。
- 機器によっては、再生モードが正しく反映されない場合があります。
- 機器の仕様によっては、表示部の内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、本機で表示できないことがあります。
- 機器によっては、電池残量表示が表示されない場合があります。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮ ／ ⏭ をタッチする。

■ トラックリストから選曲する ※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

① ☰ ➡再生したい曲をタッチする。

※スクロールバーの位置表示／操作はできません。

※トラックリストの先頭から ▲▲ をタッチして最後尾に移動はできません。
（最後尾から先頭へも移動できません。）

アドバイス トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。（スクロールは一巡すると止まります。）
※走行中はスクロールしません。

■ 選曲モードから選曲する ※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

① 選曲モード ➡選曲方法をリストから選んでタッチする。

：選曲モードに表示される内容や以降の操作は機器によって異なります。

② 再生中画面 ⮌ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチすると、ひとつ前の画面に戻ります。

アドバイス
- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 機器によっては、ボタン表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を長押しする。

アドバイス
- 早送り／早戻しをすばやく解除すると、機器によっては早送り／早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は ▶（再生）または ⏸（一時停止）をタッチして解除してください。
- ⏮／⏭をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム再生する

※AVRCP ver.1.3以下では操作できません。

1 再生モードをタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）

アドバイス
- ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。
- AVRCP ver.1.4以上対応でリピート／ランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。（機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。）

Music Rackを使う

音楽CDを1曲も録音していない場合は、Music Rackを聞くことはできません。
(録音について☞I-1)

音楽を再生する

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から Music Rack をタッチする。

アドバイス

- トラック名／アーティスト名／アルバム名の表示文字数は最大で全角32(半角64)文字です。
- アルバム名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アルバム XXXXXXXX”と表示されます。
- アーティスト名がGracenoteデータベースから取得できていない場合は、“新規アーティスト”と表示されます。
- 該当するジャンル名がない場合は“その他”と表示されます。
- トラック名／アーティスト名／アルバム名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールをやめます。走行中はスクロールしません。

選曲する

■ 1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

① ⏮／⏭をタッチする。

■ トラックリストから選曲する

① ☰ ➡再生したい曲をタッチする。

トラックリスト表示

アドバイス
- 表示されるリストは選曲モード(☞H-36)によって変わります。
- トラック名が表示しきれない場合にリストをタッチするとトラック名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※トラック名スクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。

■ アルバム選曲する

① ● ➡再生したいアルバムをタッチする。

：タッチしたアルバムの先頭の曲を再生します。

アドバイス
- 選曲モードで ジャンル ／ お気に入り (お気に入りトラック)を選んだ場合は、 ● はタッチできません。
- 表示されるリストは選曲モード(☞H-36)によって変わります。

■ 選曲モードから選曲する

① 選曲モード ➡選曲方法を選んでタッチする。

※走行中は、安全のため 全曲 以外は操作できません。

② 表示されるリストから選んでいき、再生したい曲を選んでタッチする。

全曲	再生画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。
アルバム	再生したいアルバム➡トラックをタッチ
アーティスト	再生したいアーティスト➡アルバム➡トラックをタッチ
ジャンル	再生したいジャンル➡トラックをタッチ
お気に入り	① 再生したいお気に入りアルバム(1～4)／お気に入りトラック(1～4)をタッチ ② ■ ①で再生したいお気に入りアルバム(1～4)を選択した場合 再生したいアルバム➡トラックをタッチ ■ ①で再生したいお気に入りトラック(1～4)を選択した場合 再生したいトラックをタッチ ※お好みの曲だけを集めることもできます。 あらかじめお気に入り登録をする必要があります。

③ 再生中画面 ⮌ をタッチする。

：再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

アドバイス

- 録音した曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- ジャンルリスト、お気に入りリストで再生したいジャンル、お気に入り登録曲を選んだときに該当するトラックがない(Gracenoteデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。
- アーティストリスト／アルバムリストのとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。
  ※登録順表示にしても他の画面を表示すると名前順表示になります。

アーティストリスト(例)

アーティスト名に“よみ”が入っているものを名前順に表示
(“よみ”が入っていないものは、その下に表示)

本機に録音した順に表示
(新しいものがリストの一番上)

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

音楽を早戻し／早送りする

1 ⏮／⏭を長押しする。

アドバイス ⏮／⏭をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音楽をリピート／ランダム／スキャン再生する

1 再生モードをタッチする。

2 再生したいモードを選んでタッチする。

※タッチするたびに下表のように切り替わります。

リピート	再生中の曲をリピート（REPEAT TRACK 表示） ↓ リピート再生解除（マーク非表示）
ランダム	今聞いているリストの中からランダム再生（RANDOM 表示） ↓ ランダム再生解除（マーク非表示）
スキャン	曲の初め（イントロ）を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。 今聞いているリストの中からスキャン再生（SCAN 表示） ↓ スキャン再生解除（マーク非表示）

アドバイス ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

Music Rackの曲管理を行う

曲の削除／曲情報(アーティスト名など)の変更(直接入力／再検索／オンライン検索)／再生したい曲の選択ができます。

1

編集 ➡ **曲管理** をタッチする。

※曲管理を行う際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2

アルバムまたはトラックを選ぶ。

アルバムリストを編集 ・アルバムごと削除したい ・アルバム名を変更したい ・アルバム内の曲のアーティスト名を一括で変更したい ・再生させないアルバムを選びたい	① アルバムリストから アルバムを選んでタッチする。 ② 手順 **3** へ
トラックリストを編集 ・曲を削除したい ・曲名とアーティスト名を変更したい ・再生させない曲を選びたい	① アルバムリストから アルバムを選んでタッチする。 ② **トラック表示** をタッチする。 ③ トラックを選んでタッチする。 ④ 手順 **3** へ

アドバイス　アルバム、トラックの再生する順番を変更することはできません。

3

操作したい項目を選ぶ。

■ 曲を削除する

① **削除** をタッチする。

⚠注意 **削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。
※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

■ 再生させないアルバム／トラックを選ぶ

① **再生選択** をタッチする。

② 再生させないアルバム／トラックの✔印を非表示にする。

※アルバム／トラックをタッチするたびに✔印が表示／非表示となります。

（例）アルバム再生選択画面

□表示：再生しません。
✔表示：再生します。

全てのアルバムに✔印が付きます。

全てのアルバムの✔印が消えます。

③ **決定** をタッチする。

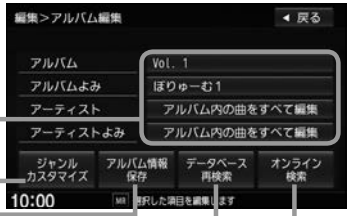
アドバイス

- ✔印を外して再生しない設定にしても、本機内の音楽（アルバム）は存在したままとなります。また、ジャンル／お気に入りのリストには反映されません。
- ✔印を外して再生しない設定にしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に **前へ** ／ **次へ** が表示されます。**前へ** ／ **次へ** をタッチして100アルバムごとに再生選択をしてください。

■ 曲情報／アルバム名を変更する

① **アルバム編集** ／ **トラック編集** をタッチする。

アルバム編集画面（例）



文字入力して変更する場合は、変更する項目をタッチ

ジャンルを変更できます。

アルバム情報を保存します。（カスタムアップデートするときにタッチします。）

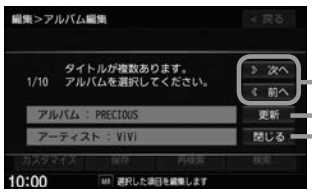
データベースを再検索して曲情報を上書きします。

オンラインでデータベースを検索して曲情報を上書きします。

アドバイス

データベース再検索 ／ **オンライン検索** をタッチして複数検索された場合は下記画面が表示されます。

タイトル複数選択画面



1 **次へ** ／ **前へ** をタッチしてアルバムを選ぶ。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチする。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

ジャケット写真を登録する

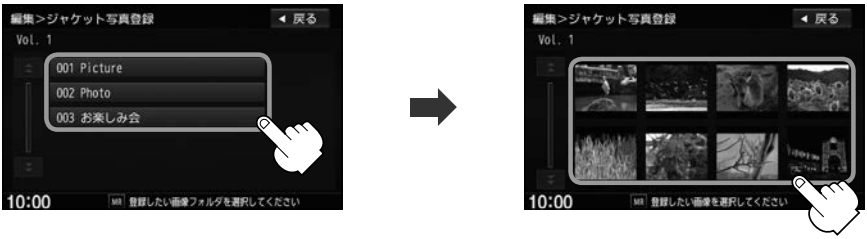
1 編集 ➡ 曲管理 をタッチする。

※ジャケット写真を登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

2 ジャケット写真を登録したいアルバムを選んで、
ジャケット写真 をタッチする。

3 登録したい画像ファイルが入ったメディアを
選んで、 ジャケット写真を選択する をタッチする。

4 登録したい画像ファイルが入っているフォルダを選んで、
登録したい画像をタッチする。



アドバイス

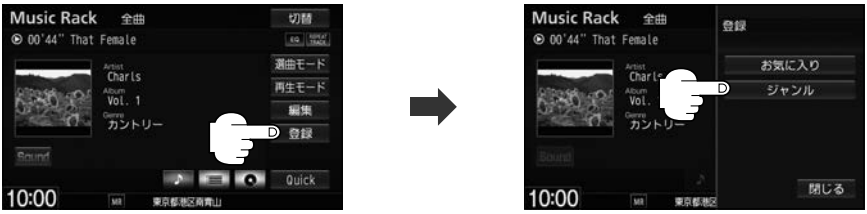
- ジャケット写真に登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。

※176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
※16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

ジャンルを変更する

1 ジャンルを変更したい曲の再生中に 登録 ➡ ジャンル をタッチする。

※変更する際、再生を停止するメッセージが表示されます。



2 アルバム単位 ／ トラック単位 ➡ジャンルを選んでタッチする。

：ジャンル名が変わります。

お気に入りに登録する

再生中の曲をお気に入りに登録して、オリジナルリストを作成できます。

1 お気に入りに入れたい曲／アルバムの再生中に 登録 ➡ お気に入り をタッチする。

※お気に入りに登録する際、再生を停止するメッセージが表示されます。

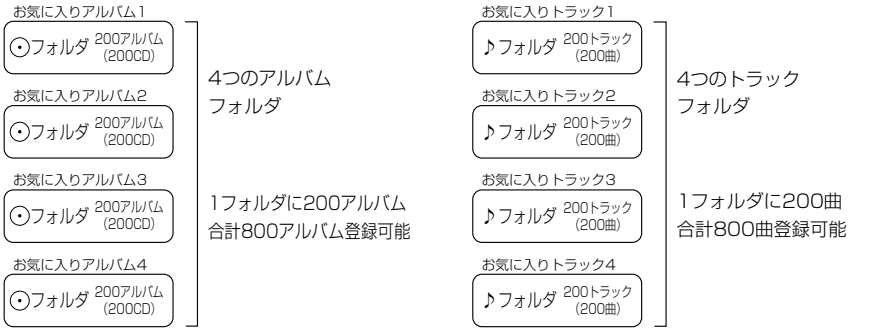
2 登録先のお気に入りフォルダをタッチする。

再生中のトラックのアルバムを登録したい	お気に入りアルバム１ ～ お気に入りアルバム４ を選んでタッチ
再生中のトラックを登録したい	お気に入りトラック１ ～ お気に入りトラック４ を選んでタッチ

アドバイス

- １つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

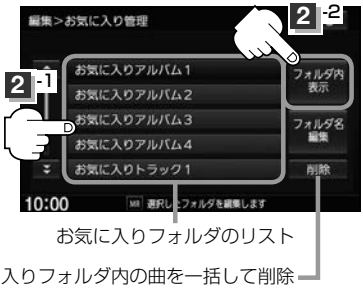


- 曲管理からもお気に入り登録できます。

お気に入りから削除する

1 編集 ➡ お気に入り管理 をタッチする。

2 お気に入りフォルダを選んで、
フォルダ内表示 をタッチする。



3 お気に入りから削除したいアルバム／曲を選んで、
削除 をタッチする。

⚠注意 **削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。**
他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入りフォルダ名を変更する

1 編集 ➡ お気に入り管理 をタッチする。

2 お気に入りフォルダを選んで、 フォルダ名編集 をタッチする。

3 文字入力して変更し、 決定 をタッチする。

フェード・バランス／サブウーファー音量の調整をする

前後左右のスピーカーやサブウーファーの音量バランスを調整することができます。
※オーディオOFFのときはフェード・バランス／サブウーファー音量の調整はできません。

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ フェードバランス をタッチする。

※DVDソース時はMENUを2回タッチします。

2 ◀／▶／▼／▲／＋／－ をタッチして調整する。

フェード・バランス	◀…右スピーカーの音量が下がる。 ▶…左スピーカーの音量が下がる。 ▼…前スピーカーの音量が下がる。 ▲…後ろスピーカーの音量が下がる。 ※イラストを直接タッチし、ポイントを移動させて調整することもできます。
サブウーファー	＋…サブウーファーの音量が上がる。 －…サブウーファーの音量が下がる。

3 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選んだり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。
※オーディオOFFのときはイコライザーの調整はできません。

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ イコライザー をタッチする。

※DVDソース時はMENUを2回タッチします。

アドバイス 交通情報受信中は、イコライザーの設定はできません。（ボタンは選べません。）

2 お好みの音質を選ぶまたは値を設定する。

■ お好みの音質を選ぶ

① 設定したい音質をタッチする。

：音質が確定され、選んだ音質で再生されます。
※さらにお好きな値に調整することもできます。

イコライザー画面

イコライザー設定を解除します。

アドバイス
POP ／ ROCK ／ JAZZ の値は本機に既存の値が設定されています。
USER1 ／ USER2 の値はOFF状態(±0)に設定されています。

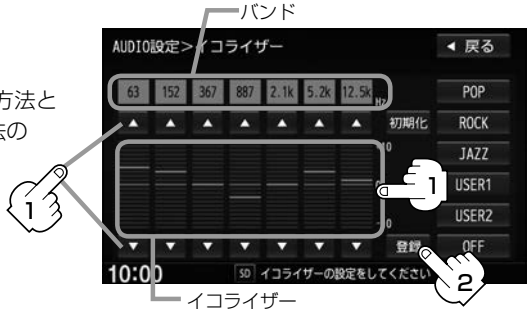
□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲ ／ ▼ をタッチする方法の
2種類があります。
▲…レベルアップ
▼…レベルダウン

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。



アドバイス
走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

3 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。

アドバイス
- 登録 をタッチする前に音質を変更(POP ／ ROCK ／ JAZZ ／ USER1 ／ USER2 を選択)すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- 手順 2 で音質を選ぶとDSP、SRS CS Auto(☞H-46)は自動的にOFFとなります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき EQ マークが表示されます。

SDソース画面

イコライザー画面を表示　　マーク表示

サラウンドの設定をする

※オーディオOFFのときはサラウンドの調整はできません。

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ サラウンド をタッチする。

※DVDソース時は MENU を2回タッチします。

SRS CS Auto	SRSのサラウンド効果を有効にします。
DSP	いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。
OFF	サラウンド効果設定をOFFにします。

アドバイス 交通情報受信中は、サラウンド(臨場感)の設定はできません。(ボタンは選べません。)

2 DSP ／ SRS CS Auto を選んでタッチする。

DSP	**擬似再現したい音場環境を選んでタッチ** LIVE ……ライブハウスのような音場 HALL ……コンサートホールのような音場 STADIUM …スタジアムのような音場 CHURCH …残響音の多い教会のような音場
SRS CS Auto	**FOCUS ／ TruBass ／ MixToRear を選んでタッチ** FOCUS ……感覚的に、耳の高さから音が聞こえるように調整できます。 (車種によっては耳の高さから聞こえない場合があります。) ＋ ／ － をタッチして、フロントおよびリアを調整してください。 (＋…音の聞こえてくる位置が高くなる　－…位置が低くなる) TruBass ……低音の強さを、フロントおよびリアで設定できます。 ＋ ／ － をタッチして調整してください。 (＋…低音が強くなる　－…低音が弱くなる) MixToRear …DVDによってはセリフなどがフロントスピーカーのみで出力されるものがあります。フロントの出力を後席にも出力できるように設定できます。 ◀ ／ ▶ をタッチして、出力量を調整してください。 (◀…出力量が小さくなる　▶…出力量が大きくなる)

アドバイス DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。
DSP 、 SRS CS Auto を選ぶとイコライザーの設定は自動的にOFFとなります。

3 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。

スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時の音のゆがみを抑制することができます。
※オーディオOFFのときはスピーカーの調整はできません。

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ スピーカー をタッチする。

※DVDソース時はMENUを2回タッチします。

2 LARGE ／ NORMAL を選んでタッチする。

位置／大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17 cm以上	16 cm以下
リア	17 cm以上	16 cm以下

※スピーカーの大きさは目安ですので、設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選んでください。

選んだ結果が反映される

：NORMAL選択時

：LARGE選択時

3 設定を終えるには、戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ 車速連動音量 をタッチする。

※DVDソース時はMENUを2回タッチします。

2 HIGH ／ MIDDLE ／ LOW ／ OFF から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの中間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

3 設定を終えるには、 戻る をタッチして表示したい画面まで戻る。

I

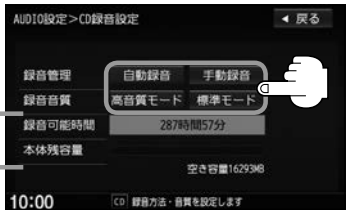
Music Rackに音楽を録音する

音楽CDの録音設定をする……I-2
音楽CDを録音する……I-3
タイトル情報の更新について……I-5
　個別にタイトル情報を更新する……I-5
　データベースを更新する……I-5
ローカルアップデートをする……I-7
カスタムアップデートをする……I-8
Music Rackへ録音時の注意点について……I-10
Music Rackの使用容量を確認する……I-11
Gracenoteデータベースのデータを
初期化する……I-12
録音データを初期化する……I-12

音楽CDの録音設定をする

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ 録音管理 をタッチする。

2 CD録音設定 ➡録音方法を選んでタッチする。



録音可能時間や本体残容量を表示

録音管理	自動録音 …音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。 手動録音 …自動録音しません。手動の録音方法 ☞I-3
録音音質	高音質モード …高音質で録音します。音の質は良くなりますがデータ容量は大きくなります。 標準モード ……標準で録音します。音の質は下がりますがデータ容量は小さくなります。

アドバイス

- 1曲でも録音済みの音楽CDを挿入した場合、自動録音は開始されません。(曲は再生されます。)
  未録音の曲を録音したい場合は、 ●録音 ➡ ●録音開始 をタッチしてください。
  録音する曲を選ぶ場合は ☞I-3
- 手動録音のときは、CDソースで録音前にオンライン検索でタイトル情報を取得できます。
- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

録音可能曲数*1	約4000曲
最大容量	16 GB

＊1･･･録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4600曲となります。)
※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。

音楽CDを録音する

音楽CDを本機に録音できます。

録音管理で **自動録音** に設定していると、未録音の音楽CDを挿入したとき、自動で録音が始まります。1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合、未録音の曲は自動録音されません。未録音の曲やお好みの曲などを録音する場合や **自動録音** に設定していない場合は、下記の手順を行ってください。

1 CD再生画面で ●録音 をタッチする。

2 録音方法を選ぶ。

全ての曲を録音	**全曲録音** をタッチ ：音楽CD内にある全ての曲を録音します。ただし本機の容量が足りない場合、 **全曲録音** はタッチできません。 ※録音順は音楽CDに収録されているとおりとなります。
曲を選んで録音	**選択曲録音** ➡録音したい曲を選ぶ➡ **決定** をタッチ 録音曲選択画面 選択が解除され、ひとつ前の画面に戻ります。 録音したい曲を確定します。 トラックをタッチするたびに✔印の有無が切り替わります。 ☑：録音します。 □：録音しません。

アドバイス Gracenoteデータベースにヒットしない場合、録音曲選択画面は“トラックXX”（XXはトラック番号）と表示されます。

3 ●録音開始 をタッチする。

：全曲または録音曲選択画面で選んだ曲の１曲目から順に再生しながら録音します。

録音中画面(例)

録音を中止

※録音を中止してもすでに録音したトラックは本機に保存されます。

アドバイス

- 本機が自動的にトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名を付加します。(CD-TEXTの情報は付加しません。)
  ※録音された音楽の情報がGracenoteデータベースで取得できる場合に限ります。データーベースはお客様で更新できます。(新曲が出たときなど)
- 全ての曲の録音が完了すると、自動で録音を終了し、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音をしながら他のソースにすることができます。
  ※録音が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
- CDソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。

タイトル情報の更新について

本機にはあらかじめ音楽CDの約95%のタイトル情報を取得できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・トラック名などを付けることができます。

※全てのタイトル情報の取得および正確性を保証するものではありません。

※データベースにタイトル情報がない場合は、誤ったタイトル情報を表示する場合があります。

本機に収録されているGracenoteデータベースは更新することができます。更新する方法は、1つのCDアルバムのタイトル情報を個別に更新する方法と、本機のデータベースを更新する方法があります。

個別にタイトル情報を更新する

Gracenoteデータベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信USBを使用してGracenote音楽認識サービスよりオンラインで取得できます。(オンライン検索)

オンライン検索する方法は、録音を行う前のCD再生画面からタイトルを取得する方法とMusic Rack再生画面からタイトルを取得する方法の2種類あります。(録音済みの曲をオンライン検索する場合は、Music Ruckから行ってください。)

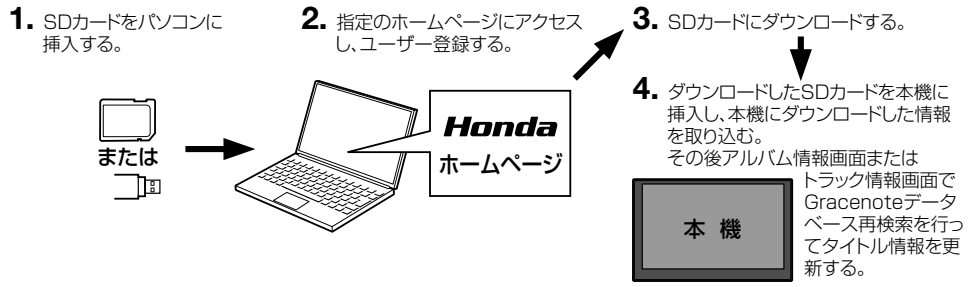
それぞれの画面で **オンライン検索** をタッチすると、タイトル情報が更新されます。詳しい手順は、CD再生画面からの場合(☞H-8)、Music Ruckからの場合(☞H-38)を参照してください。

アドバイス インターナビデータ通信を利用しないで個別更新する場合は、カスタムアップデート(☞I-8)を行ってください。パソコンを使用してインターネットから個別更新が行えます。

データベースを更新する

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。(ローカルアップデート)

※SD カードの代わりにUSB メモリーでもできます。



タイトル情報の更新について

アドバイス

- ローカルアップデートおよびカスタムアップデートを行うには、パソコン、インターネット接続環境（64 kbps以上推奨）、SDカード（8 MB以上）などの動作環境を整えていただく必要があります。
  ※パソコンの動作環境（OSなど）については、指定ホームページをご覧ください。
- ローカルアップデート、カスタムアップデートには専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順（操作方法）は指定ホームページ(注)でご確認ください。ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

（注）：指定のホームページ

VRM-165VFEiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-165vfei/

VRM-165VFiの場合　http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vrm-165vfi/

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

ローカルアップデートをする

Hondaのホームページで定期的に提供される更新ファイルを使って、本機に収録されているGracenoteデータベースを最新の情報に更新することができます。

1

MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース をタッチする。

※ Gracenoteデータベース は走行中／録音中は選べません。

2

ローカルアップデート(定期更新) をタッチする。

※AUDIOソースによっては再生が停止されます。

アドバイス

ローカルアップデートする前に

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする。
2. 更新ファイルをパソコンにダウンロードする。
3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATAフォルダを作成する。
4. パソコンにダウンロードした更新ファイルをNVDATAフォルダに移動させ、SDカードまたはUSB機器に取り込む。
5. SDカードまたはUSB機器を本機に挿入／接続する。

※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行います。

3

メディアを選んで、 更新開始 ➡ はい を タッチする。

⚠注意

更新中は他の操作(ソースの切り替え／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器から更新したGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面

お買い上げ時のバージョンを表示

お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenoteデータベース検索でここに表示されていないバージョンを更新してください。
バージョン情報は、一定の個数を超えると古い順に上書きされます。

アドバイス

最新の更新ファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。更新をしたい期間の更新ファイルを全てダウンロードし、更新を行ってください。

4 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** をタッチする。

本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。
※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

カスタムアップデートをする

あらかじめUSBメモリーを本機と接続、またはSDカードを本機に挿入しておく必要があります。

1 アルバム情報を一旦本機に保存する。

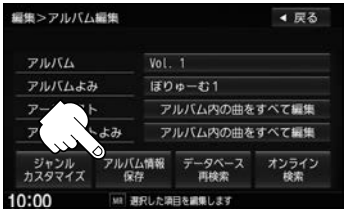
■ 新規アルバム(No title表示)のとき

自動でアルバム情報が保存されますので手順 **2** に進んでください。

■ 間違ったタイトルを表示しているとき

① Music Rack再生画面の **編集** ➡ **曲管理** ➡ **はい** をタッチする。

② 間違ったアルバムをタッチ➡ **アルバム編集** ➡ **アルバム情報保存** をタッチする。



2 SDカード／USBメモリーにデータの書き出しをする。

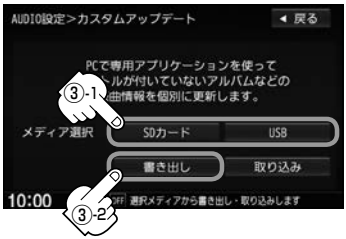
① MENU ➡ **設定** ➡ **AUDIO設定** ➡ **Gracenoteデータベース** をタッチする。

※ **Gracenoteデータベース** は走行中／録音中は選べません。

② **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

※AUDIOソースによっては再生が停止されます。

③ **SDカード** ／ **USB** ➡ **書き出し** ➡ **はい** をタッチする。



3 パソコンを使って更新する。

① 本機よりSDカード／USBメモリーを取り外し、パソコンに挿入／接続する。

② パソコンからGracenote音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

③ 取得した情報をSDカード／USBメモリーに取り込む。

4 本機にデータの取り込みをする。

① SDカード／USBメモリーをパソコンより取り外し、本機に挿入／接続する。

② MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース をタッチする。

③ カスタムアップデート(個別更新) をタッチする。

④ SDカード ／ USB ➡ 取り込み ➡ はい をタッチする。

⚠注意 更新中は他の操作(ソースの切り替え／車のエンジンスイッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

5 本機に取り込んだ情報を反映する。

① Music Rack再生画面の 編集 ➡ 曲管理 ➡ はい をタッチする。

② タイトル情報を更新したいアルバムをタッチ➡ アルバム編集 をタッチする。

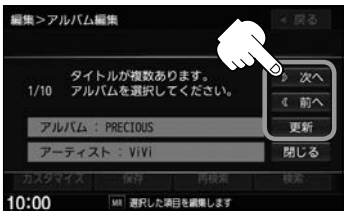
③ アルバム編集画面またはトラック編集画面で データベース再検索 をタッチする。

：本機に取り込んだ情報が反映されます。

アドバイス

データベース再検索を行ったときにタイトル情報が複数ある場合

次へ ／ 前へ でお好きなアルバムを選んで、 更新 をタッチする。



Music Rackへ録音時の注意点について

● 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
● 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。

- 車のエンジンスイッチをロックに入れる、またはオーディオをOFF状態にしても前回設定した手動／自動の選択、録音音質は保持されます。
- 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3／WMAファイル、DVD、FM、AM、Digital TV、SDカード、BLUETOOTH Audio、USB機器、iPodなどから録音することはできません。
- 車のエンジンスイッチをアクセサリーに入れた状態で録音しているときに、ONに入れてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
- ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音する音楽CDに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
  ・音楽CDを録音中にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
- 録音中、ソースを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
- 本機で録音した音楽CDは、重複して録音することはできません。
- 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済みまたは1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選んで録音を開始させてください。☞ I-3
- 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
- 録音可能時間が音楽CDの演奏時間より短い場合は録音されません。
- 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDは正常に録音、再生できない場合があります。
- 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、音楽CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音終了後、現在再生している曲の再生が終わるまで早送り／早戻し、再生モードの変更はできません。
- 録音を行うと録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
- 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
  ・録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
  ・録音中に音楽CDを取り出した場合

Music Rackの使用容量を確認する

本機のMusic Rack内の使用状況を確認することができます。

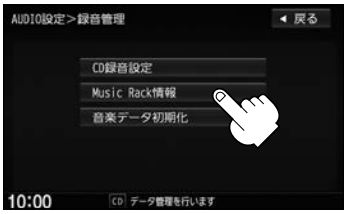
1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ 録音管理 をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2 Music Rack情報 をタッチする。

：本機のMusic Rackの使用状況が表示されます。

録音管理画面



3 使用状況を確認したら、
AUDIO をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

音楽データの使用情報

Gracenoteデータベースのデータを初期化する

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ Gracenoteデータベース をタッチする。

※ Gracenoteデータベース は走行中／録音中は選べません。

2 初期化 をタッチする。

※AUDIOソースによっては再生が停止されます。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

3 設定を終えるには、 AUDIO をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

- **初期化中は他の操作（AUDIOソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど）をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選ぶと、お客様が今まで更新したデータ（ローカルアップデート／カスタムアップデート）は消去され、データはもとに戻りません。初期化は十分確認のうえ行ってください。**

録音データを初期化する

1 MENU ➡ 設定 ➡ AUDIO設定 ➡ 録音管理 をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

2 音楽データ初期化 をタッチする。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行ってください。

※AUDIOソースによっては再生が停止されます。

3 設定を終えるには、 AUDIO をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻ります。

- **初期化中は他の操作（AUDIOソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更するなど）をしないでください。**
  他の操作をすると故障の原因となります。
- **初期化で はい を選ぶと、お客様の音楽データは消去され、もとに戻りません。**

J

DVDを見る

DVDを見る …… J-2
基本的な操作 …… J-2
音声言語／字幕言語／アングル(角度)を切り替える … J-3
リピート再生する …… J-3
タイトルメニュー／DVDメニューを操作する …… J-4
タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する … J-4
TITLE／CHAPTERとTIMEの表示を切り替える … J-5
お好みのタイトル／チャプターから再生する …… J-5
DVDの初期設定をする …… J-6
言語設定 …… J-6
ダイナミックレンジ圧縮の設定 …… J-8
モニター設定 …… J-8
視聴制限レベルの設定 …… J-9

DVDを見る

1 ディスクを入れ(☞A-16)、AUDIOメニュー(☞A-14)から CD／DVD をタッチする。

：再生が始まります。DVDにDVDメニューが収録されているものは、DVDメニューを操作して再生してください。☞J-4

アドバイス
- 走行中、DVDの映像は表示されません。音声のみの再生となります。
- DVDの映像を調整するには☞0-24
- 再生できるDVDについて☞0-31

基本的な操作

本体パネルのボタンやタッチパネルの操作ボタンで操作します。操作ボタンはDVD再生中に MENU をタッチ、または画面をタッチすると表示します。

早戻し／早送り	⏮／⏭ を長押しする
再生停止	■ (停止)をタッチ ：停止画面が表示されます。 ※再生中に ■ (停止)をタッチすると、再生を止めた位置をメモリーします。(ディスクによってはメモリーしません。) 続き再生解除 をタッチまたはディスクを取り出すと解除されます。 DVD設定 を変更した場合、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭から再生します。
一時停止／再生	再生中に ▶II をタッチ ：一時停止します。 ※再生停止／一時停止のとき ▶II をタッチすると再生します。
スロー戻し／スロー送り	一時停止中に ⏮／⏭ を長押しする ※スロー中は音声は出ません。 ※VRモードでは、スロー戻しに対応していません。
チャプター戻し／チャプター送り	⏮／⏭ をタッチ

アドバイス
- ディスクによっては操作の一部を禁止しているものがあります。
- ⏮／⏭ をしばらく押し続けていると早戻し／早送り、またはスロー戻し／送りが止まり、通常の再生に戻ります。

音声言語／字幕言語／アングル(角度)を切り替える

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
音声 ／ **字幕** ／ **アングル** をタッチする。

：タッチするたびに切り替わります。

アドバイス

- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。
- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は別の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては、操作ボタンでは音声言語／字幕言語の切り替えができないものがあります。その場合は、DVDメニューや言語設定で切り替えてください。

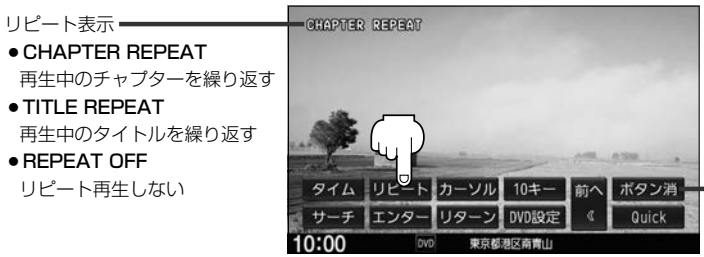
リピート再生する

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ **リピート** をタッチする。

：**リピート** をタッチするたびにリピート表示が切り替わります。

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでもリピート再生できないものもあります。

※ディスクによっては、CHAPTER REPEAT中に早戻し／早送りするとCHAPTER REPEATが解除される場合があります。



タイトルメニュー／DVDメニューを操作する

※タイトルメニュー／DVDメニューが収録されているDVDのみ

■ メニューを表示する

① DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル** ／ **メニュー** をタッチする。

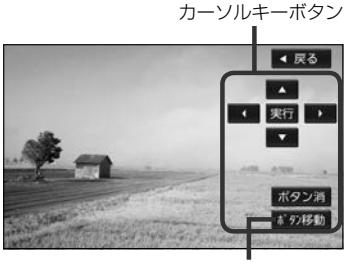
■ メニューを操作する

タイトルメニュー／DVDメニューの操作は、メニュー項目をタッチして操作します。
（操作ボタンが表示されている場合は、 ボタン消 をタッチして操作ボタンを消してください。）
※タイトルメニュー／DVDメニューをタッチして操作できないDVDもあります。
その場合は、画面にカーソルキーボタンを表示させて操作してください。☞下記

□ カーソルキーボタンで操作する

① DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、**次へ** ➡ **カーソル** をタッチする。

② ▲ ▼ ◀ ▶ をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

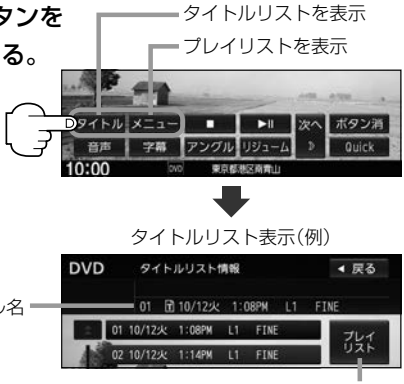


タイトルリスト／プレイリストから選んで再生する

※VRモードのDVDのみ

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、**タイトル** ／ **メニュー** をタッチする。

アドバイス
VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。



2 リストより再生したいものを選んでタッチする。

TITLE／CHAPTERとTIMEの表示を切り替える

タイトル番号／チャプター番号、と再生時間の表示を切り替えます。

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ タイム をタッチする。

：タイム をタッチするたびに
表示が切り替わります。

タイム表示(例)
- TITLE……タイトル番号を表示
- CHAPTER…チャプター番号を表示
- TIME……再生時間を表示

アドバイス タイム をタッチして表示を消すまで、表示されたままになります。

お好みのタイトル／チャプターから再生する

タイトル番号／チャプター番号を入力して、入力したタイトル／チャプターから再生します。

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ サーチ をタッチする。

2 切替 をタッチして、画面左上表示を切り替える。

チャプターサーチ入力 ⟶ タイトルサーチ入力
↑ ← 非表示 ←

TITLE表示(例)

3 0 ～ 9 をタッチして、
タイトル番号／チャプター番号を入力する。

※タイトル／チャプター表示が消えたら、再度 切替 をタッチしてください。

4 実行 をタッチする。

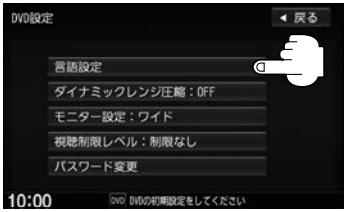
アドバイス
- 数字の入力はTITLE／CHAPTER表示が表示されている場合のみ有効です。
- ディスクに収録されていないタイトル／チャプター番号を入力しても無効です。
- ディスクによっては、タイトル／チャプターからの再生を禁止しているものもあります。

DVDの初期設定をする

再生言語の初期設定／ダイナミックレンジ圧縮のON/OFF／モニターのワイド表示設定／視聴制限設定の変更ができます。

言語設定

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ DVD設定 ➡ 言語設定 をタッチする。



2 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更したい項目をタッチする。

※言語コード表 J-7

設定した言語を表示
（タッチすると言語コード入力画面を表示）

言語コード入力画面

字幕言語が非表示

再生するディスクで優先されている言語で再生

お買い上げの状態に戻す

アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー再生が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 言語が オリジナル または OFF に設定されている場合は、 言語を選択 と表示されます。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいコードを入力しなおしてください。
- 入力した数字を修正するときはクリアをタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- ディスクによっては設定されたとおりに再生しないものもあります。

言語コード表

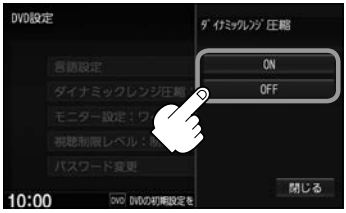
コード		言　語	コード		言　語	コード		言　語
1027	AA	アファル語	1239	IE	国際語	1482	RN	キルンディ語
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	1483	RO	ルーマニア語
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	1489	RU	ロシア語
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	1491	RW	キニヤルワンダ語
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	1495	SA	サンスクリット語
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	1498	SD	シンド語
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	1501	SG	サンゴ語
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	1502	SH	セルビアクロアチア語
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	1503	SI	シンハラ語
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	1505	SK	スロバキア語
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	1506	SL	スロベニア語
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	1507	SM	サモア語
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	1508	SN	ショナ語
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	1509	SO	ソマリ語
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	1511	SQ	アルバニア語
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	1512	SR	セルビア語
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	1513	SS	シスワティ語
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	1514	ST	セストゥ語
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	1515	SU	スンダ語
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	1516	SV	スウェーデン語
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	1517	SW	スワヒリ語
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	1521	TA	タミール語
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	1525	TE	テルグ語
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	1527	TG	タジク語
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	1528	TH	タイ語
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	1529	TI	ティグリニャ語
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	1531	TK	トゥルクメン語
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	1532	TL	タガログ語
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	1534	TN	セツワナ語
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	1535	TO	トンガ語
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	1538	TR	トルコ語
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	1539	TS	ツォンガ語
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	1540	TT	タタール語
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	1543	TW	トウィ語
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	1557	UK	ウクライナ語
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	1564	UR	ウルドゥー語
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	1572	UZ	ウズベク語
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	1581	VI	ベトナム語
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	（アファン）オロモ語	1587	VO	ボラピュク語
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	1613	WO	ウォロフ語
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	1632	XH	コーサ語
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	1665	YO	ヨルバ語
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	1684	ZH	中国語
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	1697	ZU	ズール語
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語			
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ＝ロマン語			

ダイナミックレンジ圧縮の設定

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ DVD設定 ➡ ダイナミックレンジ圧縮 をタッチする。

2 “ダイナミックレンジ圧縮” ON ／ OFF を選んでタッチする。



ON	圧縮します。（小さい音量でも迫力のある音で楽しみたいときに選びます。）
OFF	圧縮しません。（標準音域で聞くときに選びます。）

※設定が終わったら 閉じる をタッチしてください。

モニター設定

1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ DVD設定 ➡ モニター設定 をタッチする。

2 設定したいアスペクト比をタッチする。

※16：9ワイドスクリーン／4：3レターボックス／4：3パン&スキャンとなります。

※設定が終わったら 閉じる をタッチしてください。

アドバイス

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、ワイドに設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、 レターボックス または パン&スキャン に設定してください。
  ※この場合は、本機のディスプレイ選択を ノーマル （☞ 0-25）に設定しないと不自然な画像となります。
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、フルまたはこれに相当するモードにして、本機を レターボックス または パン&スキャン に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、レターボックス または パン&スキャン の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4：3になるモードに設定してください。

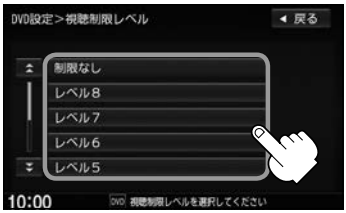
お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

視聴制限レベルの設定

視聴制限が収録されているDVDを再生するとき、パスワードを入力しないと再生できないよう設定することができます。

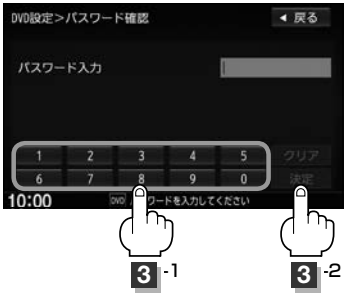
1 DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ DVD設定 ➡ 視聴制限レベル をタッチする。

2 設定したい視聴制限レベルを選んでタッチする。



3 視聴制限のパスワードを入力し、
決定 をタッチする。

※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。



アドバイス
- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。正しいパスワードを再入力ししてください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。

■ パスワードを変更する

① DVD再生中に MENU をタッチして操作ボタンを表示させ、
次へ ➡ DVD設定 ➡ パスワード変更 をタッチする。

② 現在のパスワード／新しいパスワード／
パスワード再入力をそれぞれ入力し
決定 をタッチする。

アドバイス
- 入力した数字を修正するときは クリア をタッチして数字を再入力してください。
- 変更したパスワードは、忘れないでください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。

K
Digital TVを見る

miniB-CASカードを入れる／取り出す……K-2
TVを見る……K-4
初期設定を行う……K-4
選局する……K-6
信号を切り替える……K-6
地上デジタル（12セグ）／ワンセグを切り替える…K-6
番組表を見る……K-7
カーソルパネルの操作……K-8
ホームモード／おでかけモードを切り替える……K-9
視聴予約を確認する／取り消す……K-9
テレビの設定をする……K-10
B-CASカードをテストする……K-11
放送メールを見る……K-11
ソフト情報を見る……K-11
緊急警報放送について……K-12

miniB-CASカードを入れる／取り出す

本機には、ID(識別)番号の異なるminiB-CASカードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。

1 ⏏ ➡ OPEN をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

2 カードを入れる／取り出す。

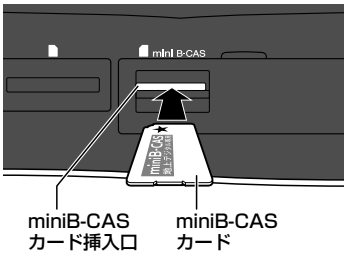
■ miniB-CASカードを入れる

① カード挿入口カバーを開ける。

※ドライバーなど工具を使用して開けると、ツメ部分が破損するおそれがありますのでご注意ください。

② miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。

※★の付いた面を上にし、⬆(右イラストの矢印)の方向に奥まで挿入してください。



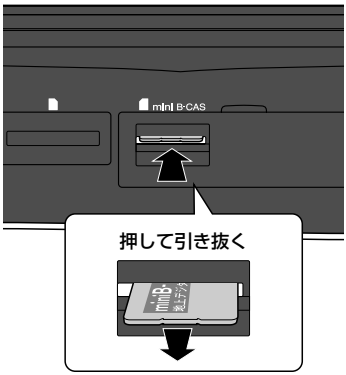
③ カード挿入口カバーを閉じる。

■ miniB-CASカードを取り出す

① カード挿入口カバーを開ける。

② miniB-CASカードを１回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。

③ カード挿入口カバーを閉じる。



3 ⏏ をタッチする。

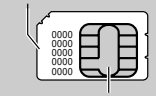
：ディスプレイが閉じます。

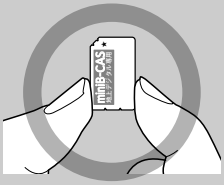
お願い

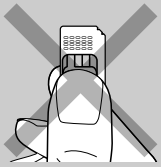
- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。
「B-CASカードをテストする」K-11

⚠注意

- **miniB-CASカードのIC(集積回路)部を汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりしないでください。**
- **miniB-CASカードのIC(集積回路)部には触れないでください。**
  IC(集積回路)部に付いた汗や指紋、汚れなどによりTVが映らなくなる場合があります。
  miniB-CASカードの両脇を持ち、本機に挿入してください。







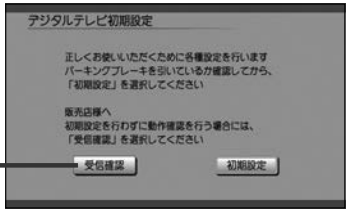
TVを見る

1 AUDIOメニュー(☞A-14)から **Digital TV** をタッチする。

アドバイス
- 走行中、TVの映像は表示されません。音声のみとなります。
- TVの映像を調整するには ☞O-24

初期設定を行う

初めてDigital TVソースに切り替えたとき、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。テレビ放送を見るためには初期設定が必要です。



Honda販売店で初期設定を行わずに動作確認をする場合は **受信確認** をタッチしてください。
受信確認中は ◀ ▶ で物理チャンネルを変更できます。

1 **初期設定** をタッチする。

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** をタッチする。

3 お住まいの都道府県を選んでタッチする。

※以下の地域にお住まいの場合は下記のようにタッチしてください。
- 伊豆、小笠原諸島地域にお住まいの場合：**沖縄・その他の島部** ➡ **東京都島部** をタッチ
- 南西諸島鹿児島県地域にお住まいの場合：**沖縄・その他の島部** ➡ **鹿児島県島部** をタッチ

4 **次へ** をタッチする。

5 表示された地域を確認して、**決定** をタッチする。

6 各チャンネルと放送局名を確認して、**決定** をタッチする。

■ チャンネルを修正するには

① ▲ / ▼ でチャンネル番号を選ぶ。

② ◀ / ▶ で放送局を選ぶ。

7 miniB-CASカードが挿入されていることを確認して、**テスト**をタッチする。

8 **次へ**➡**終了**をタッチする。

：初期設定が終了し、テレビ画面が表示されます。

※B-CASカードテストがNGの場合は**いいえ**➡**終了**をタッチし、
以下の手順を行ってください。

①**miniB-CASカードを取り出し、再度挿入する。**

②**B-CASカードテストを行う。**（K-11）

それでもNGになる場合は、Honda販売店にお問い合わせください。

アドバイス 引っ越しなどで受信地域が変更になった場合は、初期設定項目の変更を行ってください。
郵便番号設定／県域設定／ホームチャンネル設定 K-10

選局する

選局パネル

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、放送局リストから選んでタッチする。

アドバイス
- リストはドラッグ／フリックによるスクロール操作はできません。
- ⏮／⏭操作で選局することもできます。

信号を切り替える

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**デジタルTVメニュー** ➡ **信号切換** をタッチして、各項目を設定する。

マルチビュー	同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像があるときに切り替えて視聴できます。
映像	複数の映像があるときに選べます。
音声	複数の音声があるときに選べます。
二重音声	音声多重放送のとき、主音声／副音声／主＋副音声から選べます。
字幕	字幕の言語を選びます。また非表示にするか選びます。
文字スーパー	文字スーパーの言語を選びます。また非表示にするか選びます。

地上デジタル(12セグ)／ワンセグを切り替える

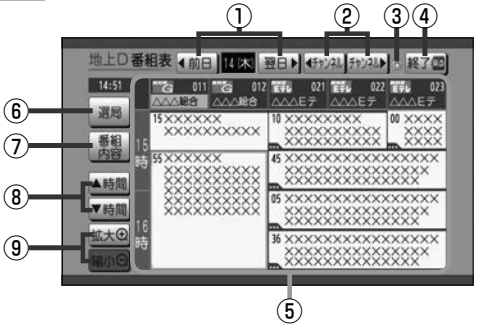
1 選局パネルから **デジタルTVメニュー** ➡ “受信モード” **自動切換** ／ **ワンセグ** ／ **地上D** をタッチする。

自動切換	電波状況により、12セグ／ワンセグを自動で切り替え
ワンセグ	ワンセグのみで受信
地上D	12セグのみで受信

番組表を見る

※番組表から視聴予約を行うこともできます。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、番組表をタッチする。



① 前日・翌日に切り替え（過去の日は表示できません。）
② チャンネルの変更
③ ホームモード／おでかけモードマーク
④ 番組表画面を消す
⑤ 番組表（タッチすると選んだ番組の番組内容を表示）
⑥ 選局パネルを表示
⑦ 選択中の番組（黄色の線で囲まれている番組）の番組内容を表示 ☞下記
⑧ 時間帯の変更（過去の番組は表示できません。）
⑨ 番組表の拡大／縮小

アドバイス
- 選んだ番組（チャンネル）に複数の番組がある場合、番組選択画面が表示されます。希望の番組を選んでください。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチすると番組名が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 12セグの場合、番組表は現在放送中の番組から7日後まで表示されます。
- ワンセグの場合、番組表は現在放送中の番組から最大10番組まで表示されます。

■ 番組内容画面の操作

ひとつ前の画面へ
番組内容または番組属性
今すぐ見る …すでに放送が始まっているとき表示
タッチするとTV画面に切り替え
視聴予約 …まだ放送が始まっていないとき表示
タッチすると視聴予約を実行
※視聴予約の確認／取消 ☞K-9

番組内容を表示　番組属性を表示

アドバイス

視聴予約について

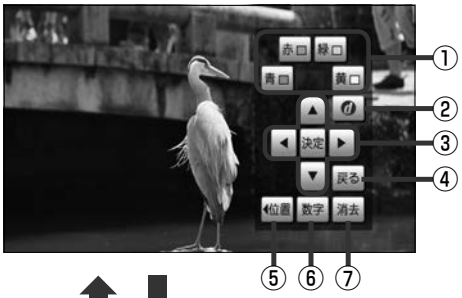
- 予約開始時間が重なった場合は、視聴予約できません。
- 番組視聴中に別のチャンネルの予約番組が始まると、予約番組に切り替わります。
- 他のソース使用中に予約番組が始まると、自動でTVソース（予約番組）に切り替わります。
- 視聴予約した放送局が受信できない場合、予約番組に切り替わったあと、自動で中継局や系列局のサーチを行います。
- 放送時間が変更になっても、予約時間は自動で変更になりません。
- 視聴予約番組が終了しても、予約番組が始まる前に見ていたチャンネルには戻りません。
- 自動受信以外の受信モード（ワンセグ／地上D）で予約した場合、異なる受信モードの視聴予約は実行できません。（例：ワンセグ番組を視聴予約していて、予約開始時間に地上Dモードにしていた）
- 緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

カーソルパネルの操作

※データ放送の表示や操作は、カーソルパネルから行います。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、d操作をタッチする。

カーソルパネル



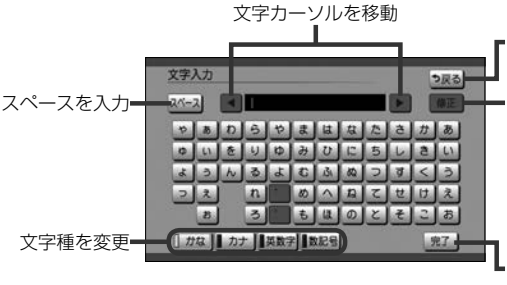
操作 をタッチ　　数字 をタッチ

数字パネル

① 色ボタン
② データ放送を表示
（データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る）
③ データ放送画面内の項目を選択／実行
④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
⑤ カーソルパネル／数字パネル表示位置の変更（画面左／右）
⑥ 数字パネルに切り替え
⑦ カーソルパネル／数字パネルを消す
⑧ 数字ボタン
⑨ 入力した数字を決定／実行
⑩ カーソルパネルに切り替え

アドバイス

● 文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。



● 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

ホームモード／おでかけモードを切り替える

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、
デジタルTVメニュー ➡ **ホーム** ／ **おでかけ** をタッチする。

ホームモード／おでかけモードの切り替え

おでかけモードのチャンネル設定（プリセット）をします。

アドバイス

２通りのチャンネル設定をして、自宅周辺ではホームモード、お出かけ先ではおでかけモードというように、チャンネル設定を切り替えてテレビを視聴することができます。

エリア	現在地に応じて受信できる放送局を自動で切り替えます。
初期スキャン	現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。
再スキャン	現在のおでかけモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。（消去・上書きなどはされません。）

視聴予約を確認する／取り消す

番組表画面で視聴予約した番組の確認と取り消しができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、
デジタルTVメニュー ➡ **情報／設定** ➡ **視聴予約** をタッチする。

視聴予約画面

① 視聴予約番組リスト
取り消したい番組を選ぶと、✔印が付きます。
② 取り消したい視聴予約番組を選んだ後、
取消 ➡ **はい** をタッチで取り消し

テレビの設定をする

地上デジタル放送に関する設定や、引っ越した場合に地域や郵便番号の再設定をします。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、**デジタルTVメニュー** ➡ **情報／設定** ➡ **システム設定** をタッチする。

2 各項目を選んでタッチし、設定する。

オート放送局サーチ	受信状態が悪くなった場合、自動で受信状態のよい中継局、同系列の放送局に切り替えます。 **する** ……オート放送局サーチする。 **しない** …オート放送局サーチしない。 アドバイス **する** に設定していても、放送局を切り替えられない場合があります。(県境を越えて移動中など)その場合は、選局パネルから放送局を選んでください。
地上D選局対象	**テレビ** …… テレビサービスのみ選局 **テレビ／データ** …テレビサービスと独立データサービスを選局 アドバイス ● **テレビ** に設定したときは、番組表もテレビのみ表示されます。 ● 設定できるのは地上デジタル放送のみです。ワンセグの場合、設定しても有効になりません。
郵便番号	引っ越しなどで郵便番号が変わった場合などに設定しなおします。 **お住まいの地域の郵便番号を入力し、 決定 をタッチ**
県域	引っ越しなどで県域が変わった場合などに設定しなおします。 **地域を選んでタッチ→都道府県を選んでタッチ**
ホームチャンネル	引っ越しなどで受信地域が変わった場合などに設定しなおします。 あらかじめ、ホームモードに切り替えておいてください。 **初期スキャン** ……現在受信できるチャンネルを検索し、以前のリストに上書きされます。 **再スキャン** ……現在のホームモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。 ※以前のリストに上書きされません。 **マニュアル** ……設定したチャンネルを修正します。☞K-4手順 6 ※放送局一覧の局名やチャンネルの入れ替えができます。

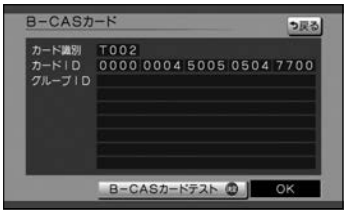
B-CASカードをテストする

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、
デジタルTVメニュー ➡ 情報／設定 ➡ B-CASカード をタッチする。

アドバイス カードID(B-CASカード番号)はお問い合わせの際に必要な場合があります。メモを取るなど忘れないようにしておいてください。

2 B-CASカードテスト をタッチする。

※テストがOKの場合は“OK”と表示されます。
“NG”と表示された場合は、再度テストしてください。それでも“NG”になる場合は、Honda販売店にお問い合わせください。



放送メールを見る

放送メールを確認します。最大31件受信し、新しく受信したときに古いメールから削除されます。
確認したいメールを選んでタッチすると、内容が表示されます。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、
デジタルTVメニュー ➡ 情報／設定 ➡ 放送メール をタッチする。

ソフト情報を見る

ソフト情報を確認することができます。

1 TV視聴中に画面をタッチして選局パネルを表示させ、
デジタルTVメニュー ➡ 情報／設定 ➡ ソフト情報表示 をタッチする。

アドバイス 文書1 文書2 文書3 をタッチすると、それぞれの情報画面に切り替わります。

緊急警報放送について

■緊急警報放送(EWS)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)
もとに戻すには、手動で切り替えてください。
・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り替わりません。
・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
・Digital TVソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り替わることがあります。
・緊急警報放送視聴中は視聴予約を実行しません。

L

外部機器の映像を見る／音声を聞く

接続する……L-2
映像を見る／音声を聞く……L-4

接続する

市販のAV機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。

※接続の前に

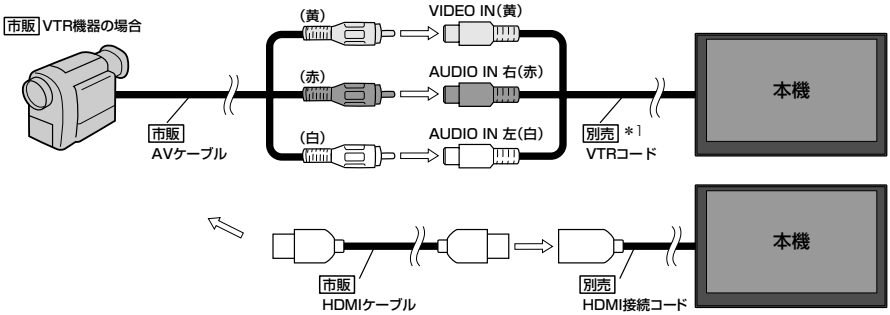
①接続する機器側の電源を切ってください。

②車のエンジンスイッチをロックに入れてください。

（本機の電源を入れたままAV機器やポータブルオーディオ機器などを接続したり、外したりするとノイズが出ることがあります。）

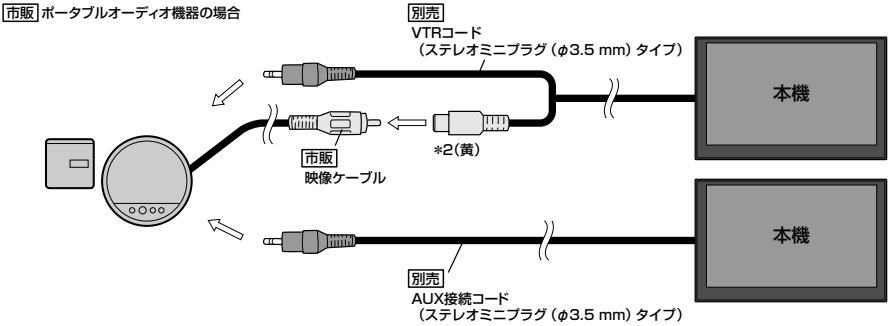
1 機器を接続する。

VTR機能	別売のVTRコードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	別売のAUX接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続
HDMI機能	別売のHDMI接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続



※車両によってはHDMI接続コードの代わりにHDMI接続ジャックを使って接続する場合があります。

＊1…VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合は外してください。☞H-17イラスト



＊2…DVDプレーヤーなどの場合に使用します。

2 外部接続を設定する。

※VTR／AUXで接続する場合は外部接続の設定をする必要はありません。

① MENU ➡ 設定 ➡ システム設定 ➡ その他 をタッチする。

② HDMI接続設定 をタッチする。

③ “HDMIを使用”の する をタッチする。

映像を見る／音声を聞く

1 本機と使用する機器の電源を入れ、AUDIOメニューから HDMI ／ VTR を選んでタッチする。

アドバイス

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

HDMIソース画面(例)

ボタン消 ―― ボタンを消し、全画面を表示

Quick ―― Quick MENUを表示

2 AV機器やポータブルオーディオ機器などを操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。

アドバイス

- 走行中、外部機器の映像は表示されません。音声のみとなります。
- 接続される機器の電源をOFF にしてから、本機の電源をOFF(エンジンスイッチをロックに入れる)にしてください。
- VTR／AUX端子から入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- HDMI端子から入力された映像や音楽はHDMIソースで視聴できます。
- VTR／AUX／HDMIの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16：9、4：3)です。
- HDMIで接続した機器の音声がBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音声が出ないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFF してからHDMIを使用してください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入力インピーダンス75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入力インピーダンス47 kΩ)

- 外部機器の映像を調整するには☞ 0-24

M
ハンズフリーを使う

初期登録設定 …… M-2
携帯電話を登録する……M-2
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する…M-5
携帯電話の割り当てを切り替える ……M-6
登録した携帯電話の自動接続を設定する……M-7
登録した携帯電話の優先接続の設定をする……M-8
本機のBLUETOOTH情報を確認する……M-9
デバイス名／パスキーを変更する ……M-9
ハンズフリー電話を使う …… M-10
電話を受ける（着信時の操作）……M-10
通話中の操作……M-11
電話をかける……M-12
発信中の操作……M-13
ハンズフリーの通話設定 …… M-14
携帯電話のアドレス帳を本機に転送する …… M-15
QQコールを利用する（有料サービス） …… M-17
QQコールとは……M-17
QQコールを利用するまでの流れ……M-17
QQコールを表示する …… M-17
Siri Eyes Free機能を使う …… M-19
準備する……M-19
使用する……M-19

初期登録設定

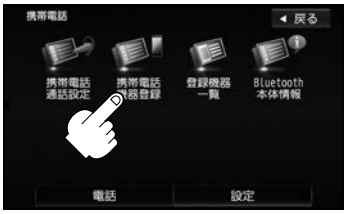
ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

携帯電話の登録は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 携帯電話機器登録 をタッチする。

※ 携帯電話機器登録 は端末が追加登録可能な場合に選べます。



2 ハンズフリー をタッチする。

：携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ ハンズフリー は端末が追加登録可能な場合に選べます。

3 登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

※携帯電話の会社名を選ぶことで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行われます。

：接続待機中画面が表示されます。

※すでに登録済み(BLUETOOTH接続済み)の携帯電話(番号)がある場合、メッセージが表示されるので“はい”を選んでください。
“はい“を選ぶと現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選んだ場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、BLUETOOTHに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

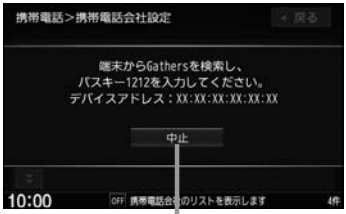
携帯電話会社設定画面

ご使用の携帯電話がドコモ／au／ソフトバンク以外の場合、 その他 を選んでください。
本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/

4 携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、 はい をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に 中止 をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。

アドバイス

- ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
- セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられてます。パスキーの入力はこの制限時間内に行ってください。
- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
- 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。
  「(本機のBLUETOOTH情報を確認する)」M-9

5 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

: 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行うことができます。
- 携帯電話は２台までハンズフリー登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。

情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ３本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意　味
BT 1 ／ BT 2	割り当てられている携帯電話（ 1 ／ 2 ）と電波状態（アンテナ本数多い程良好）
圏外	圏外（電波は届いていません。）

着信／発信／通話中のとき電波状態を表示

電池残量

※電波状態（アンテナの本数）は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。（良好でも圏外となることがあります。）
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

2 詳細情報を見る、または削除する。

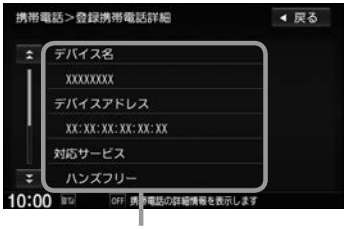
■ 詳細情報を見る

① 詳細情報を見たい携帯電話の 詳細 をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

携帯電話登録一覧画面

詳細情報画面



登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。
（デバイス名*1／デバイスアドレス／対応サービス*2／携帯電話会社／自局番号を表示）

＊1･･･携帯電話に設定されている名称を表示します。

＊2･･･登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※お手持ちの携帯電話の自局情報（プロフィール）に絵文字を使用している場合、本機では“_”（アンダーバー）で表示されます。

※本機に表示される名称（デバイス名）は登録時のものとなります。携帯電話側で名称（自局情報）を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号（携帯電話の電話番号）が取得できた場合には、その番号も表示します。（取得できなかった場合には“ー”（ハイフン）で表示されます。）

■ 削除する

① 削除したい携帯電話の 削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので はい をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話画面に戻ります。

携帯電話登録一覧画面

アドバイス

2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

3 **設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。**

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は２台まで登録が可能ですが、常時接続できる携帯電話機は１台です。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

2 **割り当てたい携帯電話の 接続する を タッチする。**

：メッセージを表示しBLUETOOTH接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、BLUETOOTH切断を行ったあとに割り当てを変更します。

携帯電話登録一覧画面

3 **設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。**

：戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。
※初期設定は“する”に設定されています。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

2 自動接続の設定をする。

する	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。

携帯電話登録一覧画面

3 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると１つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 登録機器一覧 ➡ ハンズフリー をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、 登録機器一覧 は選べません。

2 優先したい携帯電話の 優先する をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると 優先する は選べません。

携帯電話登録一覧画面(例)

3 設定を終えるには、 戻る または 現在地 をタッチする。

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 現在地 をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

アドバイス

- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

本機のBLUETOOTH情報を確認する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

本機のBLUETOOTH情報を表示

デバイス名／パスキーを変更する

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ Bluetooth本体情報 をタッチする。

2 ■ デバイス名を変更する

① デバイス名変更 をタッチする。

② 英数字でデバイス名を入力し、決定 をタッチする。

■ パスキーを変更する

① パスキー変更 ➡ ハンズフリー をタッチする。

② 数字でパスキーを入力し、決定 をタッチする。

アドバイス 安全上の配慮から車の完全に停止した場合のみ操作できます。

ハンズフリー電話を使う

ハンズフリー電話を行うには、あらかじめ携帯電話を本機に登録・接続しておく必要があります。

電話を受ける(着信時の操作)

電話がかかってくると着信中画面が表示されます。

着信中画面

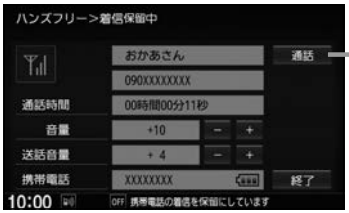
相手の名前、電話番号を表示
(名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示)

呼び出し音の音量を調整

電波状態を表示

携帯電話の名称と電池残量を表示

1 操作したいボタンを選んでタッチする。

開始	通話が開始され、通話中画面が表示されます。
保留	相手と電話がつながり、相手へ電話に出られないことを音声で案内します。 着信保留中画面  電話に出る ※着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。(対応していない携帯電話では 保留 をタッチすると切断されます。) ※保留中も相手には通話料金がかかります。
終了	かかってきた電話を応答せずに切ります。

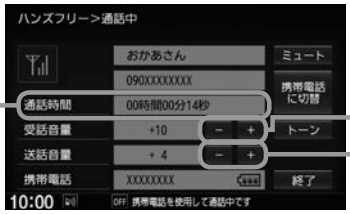
アドバイス

- 携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されていた場合、着信音が出ない場合があります。
- 携帯電話の着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

通話中の操作

通話が始まると通話中画面が表示されます。

通話中画面



1 操作したいボタンを選んでタッチする。

ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。) ※ミュートを行うと、ミュートが通話に変わります。 通話をタッチすると、再度自分の声が相手に聞こえるようになります。
携帯電話に切替	ハンズフリー通話をやめて、携帯電話での通話に切り替えます。 ※携帯電話に切り替えると、携帯電話に切替がカーナビに切替に変わります。カーナビに切替をタッチすると、ハンズフリー通話になります。
トーン	0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されるので、タッチするとトーン入力が行えます。 ※安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
終了	通話を終了し、電話を切ります。

アドバイス

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
  ※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。

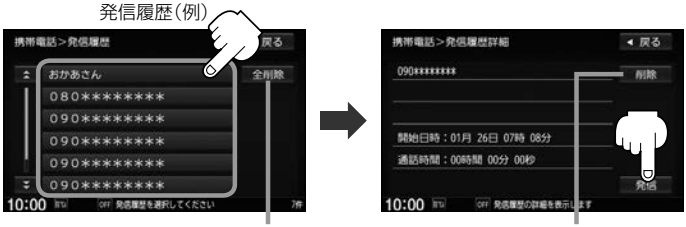
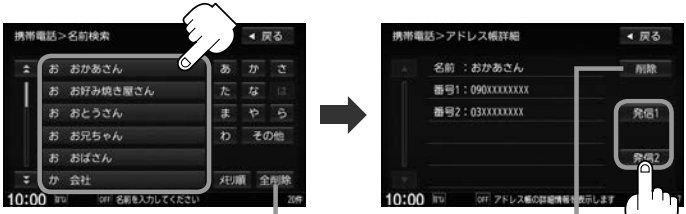
通話中の地図画面表示について

- 通話中に 現在地 を押すと、地図画面が表示できます。
- 地図画面から通話中画面に戻るには、 MENU ➡ 携帯電話 をタッチしてください。
- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- ハンズフリー通話中はオーディオの音量調整は無効となります。

電話をかける

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 をタッチする。

2 電話をかける方法を選んでタッチする。

電話から	0 ～ 9 、 ＊ 、 # ボタンが表示されます。 電話番号を入力して 発信 をタッチ ※36桁まで入力でき、画面には24桁まで表示します。
リダイヤル	メッセージが表示されるので、 はい をタッチ ：前回電話をかけた番号に発信します。 ※発信履歴がない場合、 リダイヤル は選べません。
発信履歴 ／ 着信履歴	履歴リストが表示されます。 ① 履歴リストから電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 発信 をタッチする。 発信履歴(例)  発信履歴画面の場合は、発信履歴を一括で削除　　選んだ履歴１件を削除 ※履歴がない場合 発信履歴 ／ 着信履歴 は選べません。
アドレス帳から	アドレス帳画面が表示されます。 ※あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく必要があります。 （アドレス帳にリストが１件もない場合は、アドレス帳から発信できません。） ① リストから電話をかける相手を選んでタッチする。 ② 発信1 ／ 発信2 を選んでタッチする。  アドレス帳の全件を一括で削除　　選んだアドレス帳１件を削除

アドバイス

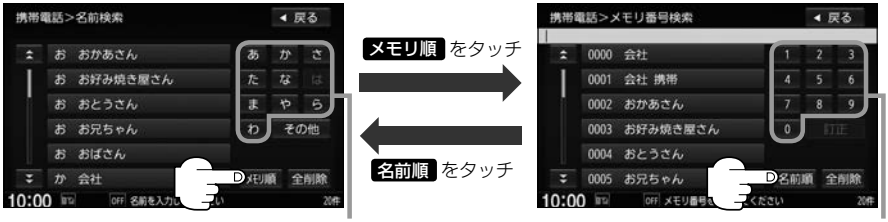
走行中は発信操作が制限されます。

発信履歴／着信履歴について

- 発信履歴リスト／着信履歴リストに表示される履歴は最新の10件分です。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合、電話をかけることはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。
- 施設の詳細、登録地詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。（施設名は表示されません。）
- 同じ相手への発信履歴や同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。

アドレス帳画面について

- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳に正しく50音割り当てされない場合があります。
- 携帯電話によっては、本機で表示されるメモリ番号と携帯電話のメモリ番号が一致しない場合があります。
- **メモリ順** をタッチするとアドレス各件に振られているメモリ番号の順にリストを並べ替えて表示します。



タッチしたひらがなのアドレス（名前）を表示

タッチしたメモリ番号のアドレス（名前）を表示

発信中の操作

電話をかけると発信中画面が表示されます。

発信中画面

相手の名前、電話番号を表示
（名前はアドレス帳に名前登録がある場合のみ表示）

呼び出し音の音量を調整

発信を中止する

アドバイス

接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。（例：本機は発信中で相手はまだ電話に出てないが、本機の画面では通話中となります。）

ハンズフリーの通話設定

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 設定 ➡ 携帯電話通話設定 をタッチする。

2 設定したい項目を選んでタッチする。

発着信音量	呼び出し音の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
受話音量	通話中の相手の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。
送話音量	通話中の相手に伝わる自分の声の音量を設定します。 ＋：音量が大きくなります。 －：音量が小さくなります。

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話しください。

携帯電話のアドレス帳を本機に転送する

アドレス帳の転送は、本機と携帯電話の両方を操作して行います。
本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、携帯電話の説明書もご覧になりながら転送操作を行ってください。

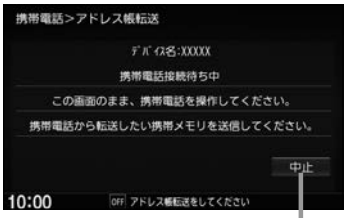
1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 ➡ 携帯メモリ読み出し をタッチする。

アドバイス

- お使いの携帯電話の機種によっては、 携帯メモリ読み出し をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります。(この場合の転送は全件転送のみとなります。)この場合、手順 3 に進んでください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話側で自動転送しない設定をしてください。詳しくはお使いの携帯電話の説明書でご確認ください。
- BLUETOOTH Audio機器を接続している場合は読み出し終了まで接続できない場合があります。

2 携帯電話を操作して、転送したいアドレス帳を選んでデータ送信を開始させる。

携帯電話接続待ち中画面



読み出しを中止

※アドレス帳の全件転送(一括送信)を選んだ場合のみ、右記画面が表示されます。
追加保存 ／ 上書き保存 を選んでタッチしてください。
上書き保存 を選んだ場合、本機に登録済みのアドレス帳を全て削除したうえで、メモリ読み出しが開始されることがあります。

3 アドレス帳転送(読み出し)が完了したら、 終了 をタッチする。

ハンズフリー

アドバイス

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。（転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。）
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり（1台あたり最大1500件）、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
  ※すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。（故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。）
- 転送中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。（携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。）
- 読み出しできる文字数·桁数は、名前：全角9文字まで／よみ：半角18文字まで／電話番号：36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 全件転送（一括送信）をすると携帯電話の機種によってオーナー番号（お客様自身の番号）も登録される場合があります。

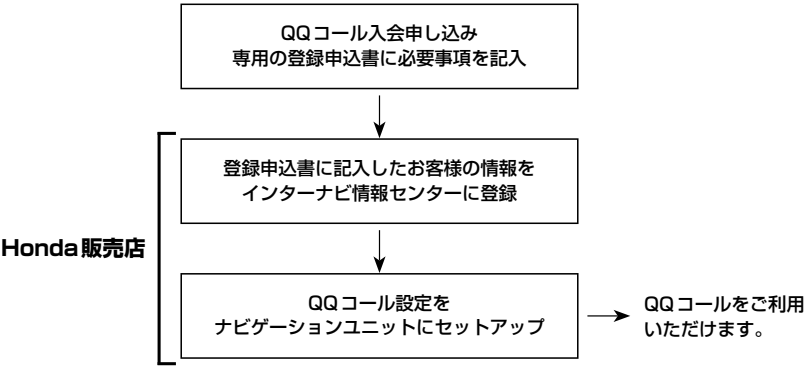
QQコールを利用する(有料サービス)

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料のロードサービスのひとつで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。
「QQコール」は、Honda販売店での入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/qqcall/

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。
QQコールセンターへの連絡には通話料がかかります。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。
QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1 MENU ➡ 携帯電話 ➡ 電話 ➡ QQコール をタッチする。

：QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードが表示されます。

2 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機にBLUETOOTH接続されている

① **発信** をタッチする。

※走行中、**発信** はタッチできません。

現在地のマップコード

※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、**通話終了** をタッチする。

■ 携帯電話が本機にBLUETOOTH接続されていない

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。

電話番号

現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。

アドバイス

- QQコールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQコールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
  - ・地図表示(方位)の切り替え
  - ・地図の拡大／縮小
  - ・地図スクロール
  - ・オーディオモードの音量調整
  - ・オーディオモードのON／OFF
- 走行中はQQコールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQコール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

BLUETOOTH接続時のQQコール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量／送話音量を調整できます。

Siri Eyes Free機能を使う

Siri Eyes Freeは、iPhoneを本機とBLUETOOTH接続し付属のマイクに話しかけることにより、手で操作することなくiPhoneが利用できる機能です。
※利用できる機能に制限がかかる場合があります。利用できる操作はお使いのiPhoneによります。

準備する

Siri Eyes Free機能はiPhone 6、iPhone 6 Plus、iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5、iPhone 4sでご利用になれます。
iOS6.1.3以降をご利用ください。(2015 年4月現在)
あらかじめiPhoneを本機とBLUETOOTH登録・接続する必要があります。

使用する

1 **iPhoneのSiri機能をオンにする。**

※詳しくはiPhoneのユーザガイドなどをご覧ください。

2 **AUDIO またはオーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE) を長押しする。**

：Smartphone VR画面が表示されます。

3 **ピピッと音が鳴るのでマイクに向かって発話する。**

※再度ピピッと鳴り、Siri Eyes Free機能が動作します。

※再度発話する場合は、以下いずれかの操作をして発話してください。

- AUDIO をタッチ
- をタッチ
- オーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE)を押す

VRM-165VFEi(例)

再度発話する場合にタッチ

受話音量を調整

Siri Eyes Free機能を終了

4 **Siri Eyes Free機能を終了するには、AUDIO またはオーディオリモコンスイッチの MODE (車両によっては SOURCE) を長押しする。**

アドバイス

- Siri Eyes Free起動中でも 現在地 や MENU をタッチすると、地図画面やトップメニューに切り替えることができます。地図画面などでもSiri Eyes Free機能はご利用になれます。
  Smartphone VR画面に戻るにはトップメニューの Smartphone VR をタッチします。

VRM-165VFEi(例)

- 走行中などの使用状況によっては、iPhoneが音声を認識できない場合があります。
  例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境
- iPhoneの電波が届きにくいところでは、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンスイッチをロックに入れているときにiPhoneでSiri機能を起動し、その後エンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れると、本機のSmartphone VR画面が表示されない場合があります。その場合はSiri機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri起動中であっても、iPhone側の動作状態によっては、Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio接続中のiPhoneに対し、楽曲再生指示を行い、BLUETOOTHより再生が開始された場合は、自動的にSiri機能を終了して、本機のBLUETOOTH Audioソースに切り替わります。
- オーディオ再生中にSiriを起動した場合、楽曲再生指示を行わなくても、本機がBLUETOOTH Audioソースに切り替わる場合があります。
- iPhoneがUSB接続中の場合、Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio再生開始時、iPhoneが読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iOSのバージョンによっては、Siri Eyes Freeの終了に時間がかかる場合があります。
- 電話発信指示が行われたことによるハンズフリー通話は、発信履歴には保存されません。
- BLUETOOTH Audioソースから再生が開始されない場合は、iPhone出力先から音楽が再生されます。
- 本機とiPhoneを接続中に、iPhone側からSiriを起動しないでください。Siriが適切に機能しなかったり、Siriが終了してしまうことがあります。
- オーディオ リモコン スイッチの操作は車両によって異なる場合があります。
- Siri Eyes Free起動中は、オーディオの音声はでません。
- Siri Eyes Freeが起動しないときは以下を確認してください。
  - ・Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneがハンズフリー登録されていること。
  - ・iPhoneのSiri機能がオンになっていること。
  - ・本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行う。

N

困ったとき

故障かな？と思ったら……N-2
こんなメッセージが表示されたら……N-21

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共　通

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	[▼]／[▲](VOL)で調整してください。	H-2
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。	H-44
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	–
	Siri Eyes Freeが起動中である。	Siri Eyes Freeを終了してください。	M-19
低音が聞こえにくい。	サブウーファーの音量バランスがずれている。	サブウーファーの音量を調整してください。	H-44
本機に登録されていた情報が消失している。	● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	–
ディスクが出ない。 **ディスクを読み込まない。**	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	O-32
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。	保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	–
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW／MIDDLE／HIGHになっている。	車速連動音量をOFFに設定してください。	H-48
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。 ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がりディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。	–

モニター

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	0-24
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	—
	HDMI／VTRソースになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。(HDMI／VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていないと画面は明るくなります。	—
	昼夜切替 をタッチして画面の輝度を切り替えている。	昼夜切替 をタッチして解除してください。	0-25
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	0-24
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。 リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやDigital TV、iPodビデオなど)となります。	0-42

自車マーク関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑（複雑）にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	–
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	O-2
自車を移動させても地図がスクロールしない。 自車マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	–
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	–
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	–
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	–
自車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ（進みや遅れ）が発生した。	しばらく（およそ30 km/h以上の速度で30分程度）走行すると自動的に調整されます。	–
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	–

音声案内関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-13
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	–

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症　状	原　因	処　置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	−
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
ルート探索後、有料道路出入口付近を通っても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルートを走行していない。（案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示）	探索されたルート上を走行してください。	−
自動再探索ができない。	道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。	D-17
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	−

ルート探索関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	−
	出発地と目的地が近い。	故障ではありません。	−
遠回りな自動ルートを探索する。	探索では、広い道路を優先して使用する場合があるため、遠回りなルートになることがあります。	故障ではありません。	−
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	−
	細街路※を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	−

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

ルート探索関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
遠回りな自動ルートを探索する。	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	–
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	–
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	–
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	–
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	–

VICS関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
VICS情報が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	–

カメラシステム関係

症　状	原　因	処　置	参考ページ
フロント・コーナーカメラ映像が出ない。	高速で走行している。	低速で走行してください。	–
リアカメラ映像が出ない。	セレクトレバーがRの位置になっていない。	セレクトレバーがR(リバース)の位置になっているか確認してください。	–
カメラ映像の映りが悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。	–
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故障ではありません。直接周囲の状況の安全確認をしながら、運転してください。	–
	車体やその周辺部で反射した太陽光などの強い光が直接カメラに入っている。		
カメラのガイド表示が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda販売店で車種にあわせた設定と調整を行ってください。	–
	ガイド表示が“OFF”になっている。	コーナーカメラのガイド表示の場合は、画面をタッチして ガイドON をタッチしてください。	G-10
		リアカメラのガイド表示の場合は、セレクトレバーがR(リバース)の位置になっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	G-14
	フロントカメラはガイドを表示しません。	–	–
カメラのガイド表示が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていない。	Honda販売店での調整が必要です。	–
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態でご確認ください。ガイド表示の調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。	–

CD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDソースに切り替わらない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	–
● 再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 **● 音が飛んだり音質が悪い。**	ディスクに問題がある。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	–
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	O-32
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	–
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	–
ディスクが入らない。	結露している。	本機をしばらく放置してから使ってください。	–
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	–
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	–
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	● 本体を長時間使用していた。 ● ディスクを長時間再生していた。	長時間使用すると本体内部の温度が上がり、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	–

CD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMAファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3／WMAファイルが混在している場合、MP3／WMAファイルは再生できません。	–
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3／WMAファイルにしてください。	O-46
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3／WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3／WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	–
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。）	–
聞きたいMP3／WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	–
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	–
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3／WMAファイルの再生順序は、CD-R／CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(01、02など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	–
CDのタイトル情報が異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル情報の取得、正確性を保証するものではありません。（同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。）	カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。	I-8

ラジオ

症　状	原　因	処　置	参考ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	H-9
放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。	場所を移動し、手動でリスト更新してください。	H-11
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	H-9
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	–
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	–
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	–

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声が流れない。	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。	iPod／iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	–
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	H-17
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	–
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	–
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。	–
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。	–

iPod

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビデオ再生しない。（映像がでない。）	ケーブルを正しく接続していない。またはiPod本体に付属のケーブルを使用している。	音声・映像を再生させる（出力させる）には、別売のiPod接続コードに別売のUSB接続ジャックとVTRコードを全て接続する必要があります。	H-17
選択できないビデオがある。	アーティスト名、アルバム名などのタイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイトルを登録してください。	—
ビデオが途中から再生する。	各動画コンテンツごとにリジューム情報をiPod本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないようにするには、iPodに付属のiTunes＊1で再生位置を記録のチェックをOFFにしてください。	—
ビデオ再生ができない。	iPodがビデオ再生に対応していない。	Lightningケーブルで接続するiPod／iPhoneでは、ビデオ再生できません。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにしてください。	—
	別売のiPod接続コードで接続されていない。	ビデオ再生するには、別売のiPod接続コードで接続してください。	—
ジャンルが正しく表示されない。	iPod／iPhoneが間違ったデータを送信している。	iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
再生中のタイトルが正しく検索されない。	iPod/iPhoneが間違ったデータを送信している。	iPod／iPhoneの機種／バージョンによって発生することがあります。iPod／iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしてください。	—
	タイトル情報が入っていない曲を検索している。	タイトル情報が入っていない曲はiPod／iPhoneの機種／バージョンによっては検索ができない場合があります。	—

＊1…Apple社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

Music Rack

症　状	原　因	処　置	参考ページ
CDを再生しても、自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	I-2
	MP3／WMAを再生している。	MP3／WMAは録音できません。音楽CDが挿入されているかご確認ください。	—
録音できない。	本機の容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済みの曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。	I-11
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(✔印を消している。)	✔印を付けてください。	H-39
録音したはずの曲(アルバム)が再生されない。または止まる。	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
現在地をタッチしても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中である。	更新後または初期化後にタッチしてください。	—
ジャケット写真を登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入／USB機器未接続である。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。	G-20
	本機で再生できないSDカード／USB機器を挿入／接続している。	再生可能なSDカード／USB機器を挿入／接続してください。	O-33、O-34
		対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	O-44、O-48、O-49
	動作モードが間違っている。	再生したい動作モードを選んでください。	H-19
	結露している。	SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	拡張子を確認してください。	O-44、O-48、O-49
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	SD／USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD／USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルにしてください。	O-44
	音楽ファイル を選んでいない。	**モード切替** で **音楽ファイル** に切り替えてください。	H-19

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
MP3／WMA／AACファイルを再生できない。	著作権保護された音楽データで記録されている。	著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3／WMA／AACファイルを再生してください。	—
	SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。		
	UNICODEなど本機に対応していない文字コードでフォルダ名／ファイル名が付けられている。	本機に対応した文字コードでフォルダ名／ファイル名を付けてください。	O-44
JPEGファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルにしてください。	O-48
	画像ファイル を選んでいない。	モード切替 で 画像ファイル に切り替えてください。	H-19
AACファイルを再生できない。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているSDカードまたはUSB機器を再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合AACファイルは再生できません。	—
MP3／WMA／AAC再生時にエラーメッセージが表示される。	Macで作成したファイルをSDカード／USBメモリーで再生している。	Macでファイルを作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。そのファイルを一緒にフォルダの中にコピーしていると、再生時にエラーが発生します。使用するSDカード／USBメモリーから隠しファイルを削除してください。	—
ウォークマン®でMP3／WMA／AACファイルが再生できない。	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送を行っている。ドラッグ＆ドロップ転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えません。	ドラッグ＆ドロップ転送またはMedia Goで転送した曲は、選曲モードのフォルダから選曲することで再生することができます。	—
		x-アプリまたはSonicStageを使用することで、MP3／WMA／AACをATRAC AD規格で転送することができます。x-アプリまたはSonicStageのアプリケーションを使用して転送した曲は、全曲／アルバム／アーティスト／ジャンル／グループ／プレイリストの絞込み選曲を行えます。	—
USB機器を認識していない。	対応していないUSB機器の可能性があります。	別のUSB機器で試してください。	—
		本機に対応しているウォークマン®か確認してください。	O-37

SD／USB

症　状	原　因	処　置	参考ページ
USB機器を認識していない。	USB機器が正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。	H-25
	USB接続ジャックが正しく接続されていない。	Honda販売店にお問い合せください。	—
ジャケット写真が表示できない。	MP3／WMA／AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	O-45
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3／WMA／AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。 小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

HDMI(外部接続)

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声が流れない。	HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している。	HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod／iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	—

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がOFFになっている。	設定を変えてください。	J-3
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中である。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	記録面を下にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	0-32
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	0-31
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	J-9
“⃠”(禁止マーク)を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	0-32
	振動の生じるところで使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがありります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

DVD

症　状	原　因	処　置	参考ページ
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	J-9
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	パスワードが間違っている。	正しいパスワードを入力してください。	—
	パスワードを忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	—
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	J-6
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

Digital TV

症　状	原　因	処　置	参考ページ
映像がでない。	●miniB-CASカードを挿入していない。 ●miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	K-2
文字スーパーが出ない。	● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で **表示しない** にしている。 ● 受信モードがワンセグである。	文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	K-6
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	—
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	K-6
受信できない。	受信できる放送局がない。	再スキャンを行ってください。	K-10
映像が止まったりモザイクがかかる。	電波が弱い場所で受信している。	自動切替に設定しておくと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。	K-6
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

BLUETOOTH Audio

症　状	原　因	処　置	参考ページ
BLUETOOTH Audio対応機器が接続できない。	本機との接続情報が消えてしまう。	再度登録してください。	—
	BLUETOOTH Audio対応機器の設定が、BLUETOOTH接続待ちの状態になっていない。	BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご確認ください。	—
	本機から接続を受けつけない。		
	特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。		
音楽が流れない。	BLUETOOTH Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。	BLUETOOTH Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	H-26
		BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。	—
BLUETOOTH Audio対応機器の操作を本機からできない。	BLUETOOTHのリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。	BLUETOOTH Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	H-26
		BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。	—
● **音が飛ぶ。** ● **操作がおくれる。** ● **再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。**	BLUETOOTH Audio対応機器が本機から離れすぎている。	BLUETOOTH Audio対応機器を本機に近づけてください。	—
	ハンズフリー、データ通信などを行っている。	故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。	—
リストが操作できない。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP ver.1.4 に対応した機器を使用してください 。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP ver.1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。	—

ハンズフリー

症　状	原　因	処　置	参考ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ● **相手の声が聞こえない。** ● **着信音が聞こえない。**	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	M-14
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		携帯電話の電波状態を確認してください。	
相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。（ミュート中）	送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。	M-11、M-14
通話後、オーディオの声が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	A-11
携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチをロック→ONにしてください。	—
	BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	M-2
Siri Eyes Free が起動しない。	対応機器が接続されていない。	Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneをハンズフリー登録してください。	M-2、M-19
	接続機器が利用できない状態になっている。	iPhoneのSiri機能をオンにしてください。	—
		本機とiPhoneのBLUETOOTH接続を一度OFFにし、再度接続を行ってください。	—

こんなメッセージが表示されたら

ナビゲーション

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”（FM多重）	FM多重のVICS情報（レベル1／レベル2）表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	–
“情報の受信中です。”（FM多重）	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。（受信感度は良い）	受信できるまでしばらくお待ちください。	–
“サーチ中は登録できません。”（FM多重）	放送局のサーチ中に、 未設定 を長押しして登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	–
“放送局は登録されていません。”（FM多重）	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は働きません。	E-6
“情報を受信していません。”（FM多重）	受信エリア外に居る。	受信エリア外では、受信できません。	–
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	–
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	–
	VICS 放送局でない放送局（周波数）を受信している。	全てのFM放送局が交通情報を放送しているわけではありません。交通情報を放送している放送局を受信してください。	E-5
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。	安全な場所に車を止めてから操作をしてください。	–

ナビゲーション

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがない。	あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。	—
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	オーディオでSDカードを使用している。	オーディオを終了してください。	H-3
“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”	SDカードが差し込まれていない。	車のエンジンスイッチをロックに入れ、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをONに入れてください。	A-16
	SDカードが挿入されていない。	指定のホームページから地点／ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	F-24
	SDカードは挿入されているが、認識できていない。	SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。	—
“ETCカードを確認してください”	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。	正常な状態のETCカードを挿入してください。	—
“ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください”	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。	Honda販売店にご相談ください。	—
“ETCカードが挿入されていません”	カード入れ忘れ警告の設定を する に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。	ETCカードを挿入してください。	—
“ETCユニットがセットアップされていません”	ETC車載器本体がセットアップされていない。	ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。	—
“ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません”	カード有効期限案内の設定を する に設定しているときに、有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れた。	有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。	—

オーディオ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“リージョンコードが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	—
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	J-9
“入力されたパスワードが間違っています。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	J-9
“走行中は映りません。”	走行中に映像(動画)を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。 安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
● **“録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。”** ● **“録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。”**	本機の容量が一杯になったため。	本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆に挿入されている。 ● ディスクに汚れ／異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。	● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
● **“録音に失敗しました。もう一度録音してください。”** ● **“CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。”**	CDに汚れ、傷がある。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	O-32

オーディオ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。	自動でデータベースの修復を行いますので、メッセージ表示が消えるまでそのままでお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦ロックに入れてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをアクセサリー、またはONに入れてください。 ※復帰しない場合に、音楽データの初期化をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	I-12
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“再生可能な曲がありません。”	SDカードに再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	O-44
	USB機器に再生可能なMP3／WMA／AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	O-44
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード／USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたままで再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をOFFにし、SDカード／USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	—
“SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	A-16
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	

オーディオ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	—
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。	G-20
	本機がSDカードを正しく認識できない。	SDカードを本機から一度取り出し、再度挿入してください。	—
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—
“USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されている。	本機に対応しているUSB機器を使用してください。	H-25、O-34
“対応していない機器が接続されています。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。		
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れた。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	M-2
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	—
	他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。	—

テレビ

メッセージ表示	メッセージが出るとき	処　置	参考ページ
“受信できません。”(0020)	地上デジタル/ワンセグ放送の受信レベルが低い。	受信できる場所に移動してください。	—
“受信できません。”(E202)	地上デジタル/ワンセグ放送の電波を受信できていない。	受信できる場所に移動してください。	—
“受信できません。”(E203)	地上デジタル放送/ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。	受信できる場所に移動してください。	—
	放送休止のチャンネルを見ている。	視聴できるチャンネルを選んでください。	—
“B-CASカードが正しく挿入されていません　表裏または挿入方向を確認してください。”	miniB-CASカードが汚れている。	miniB-CASカードのパッケージの記載内容に従ってminiB-CASカードをお手入れしてください。	—
	miniB-CASカードの挿入方向を間違えている。または使用できないカードが挿入されている。	付属のminiB-CASカードを正しく挿入してください。	K-2

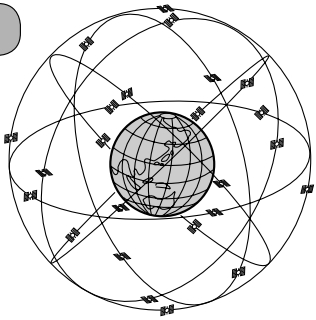
0

必要なとき

GPS衛星の電波受信と測位……0-2
GPS(Global Positioning System)について…0-2
受信しにくい場所について……0-2
受信するまでの時間について……0-2
自律航法とマップマッチング……0-3
現在地の誤差について……0-3
自律航法＆マップマッチング……0-3
学習度と現在地……0-3
交通情報(VICS情報)について……0-4
VICS情報の更新に伴う表示変更について……0-4
音声案内について……0-5
ルート案内時の注意点……0-6
出発地・経由地・目的地の設定について……0-8
経由地、目的地の設定の注意点……0-8
VICSについて……0-10
地図ソフトについて……0-14
市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア……0-18
地図に表示される記号……0-22
ETCについて……0-23
映像の調整のしかた……0-24
画質を調整する……0-24
画面サイズを選ぶ……0-25
昼夜切替をする……0-25
オーディオ リモコン スイッチ……0-26
オーディオ／テレビ／ラジオの設定について…0-28
Gracenoteデータベースについて……0-29
ディスク／SDカードについて……0-31
再生できるディスク……0-31
ディスクの取り扱いについて……0-32
SDカードについて……0-33
SDカードの取り扱いについて……0-33
USB機器について……0-34
miniB-CASカードについて……0-35
miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について……0-35
ウォークマン®について……0-36
対応可能なウォークマン®……0-37
iPod／iPhoneについて……0-38
対応可能なiPod／iPhone……0-38
使用上のお願い……0-38
BLUETOOTHについて……0-39
ハンズフリーについて……0-39
BLUETOOTH Audioについて……0-41
リア席モニターについて……0-42
リアモニタHDMI音声入力……0-43
音楽ファイルについて……0-44
画像ファイルについて……0-48
動画ファイルについて……0-49
構成内容……0-51
仕様……0-52
初期設定一覧……0-53
別売品(システムアップ)について……0-56
商標など……0-58
個人情報の取り扱いについて……0-60
保証とアフターサービス……0-60
さくいん……0-61

GPS衛星の電波受信と測位

GPS(Global Positioning System)について



地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

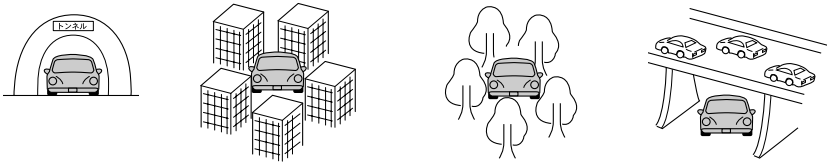
※本機では高度は表示しません。

アドバイス GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。
GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。
受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。

- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行ってください。
GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。
本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。**現在地を表示するまでは移動しないでください。**)通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

自律航法＊1＆マップマッチング＊2

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自車マークの位置を補正します。

＊1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。

＊2…測位した現在地が道路上にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自車マークを近くの通路上に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。
ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。
これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合があることをご承知おきください。

交通情報(VICS情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

アドバイス

表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などについては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。

音声案内について

音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経由地に近づくと“まもなく経由地１付近です”と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくと“目的地に到着しました。ルートガイドを終了します”と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。

アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-13をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 現在地 をタッチすると、再度音声案内を聞くことができます。
  F-13で 消音 を選んでいる場合は、 現在地 をタッチしても音声案内を聞くことはできません。

ルート案内時の注意点

●表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。

●道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

●ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。

●ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。

●目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除したときにルートは消えます。

●再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。

●ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。

●距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。

●距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。

●道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。

●経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下のようになることがあります。

- どれか１カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
- 経由地付近でルートがつながらないことがあります。
- 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
- 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行いません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。

●以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。

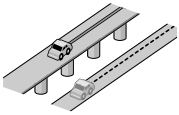
- 現在地と目的地が遠すぎる場合。
  この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
- 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
- 極度に迂回したルートしかない場合。
- その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

●以下のようなルートが表示されることがあります。

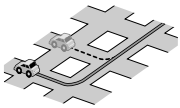
- ルート探索しても、自車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示することがあります。
  この場合は自車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自車マークが正しい道路上に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示することがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先 を選んでルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
  ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや 探索条件 の設定でフェリーを優先 しない に設定しても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

●自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。
故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。

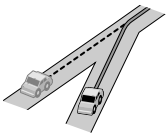
- 高速道路と一般道路が近くにある。



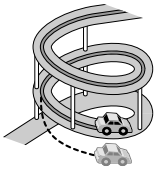
- 碁盤目状の道路を走行している。



- 角度の小さなY字路を走行している。



- らせん状の道路などを走行している。



- 地図画面に表示されない道路上の走行や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路などを走行しているとき。
- 車のエンジンスイッチをロックに入れてターンテーブルなどで旋回したとき、また立体駐車場から出てきたとき。
- 旋回、切り返しを繰り返したとき。
- S字の連続する道路を走行しているとき。
- 直線や緩やかなカーブを長距離走行しているとき。

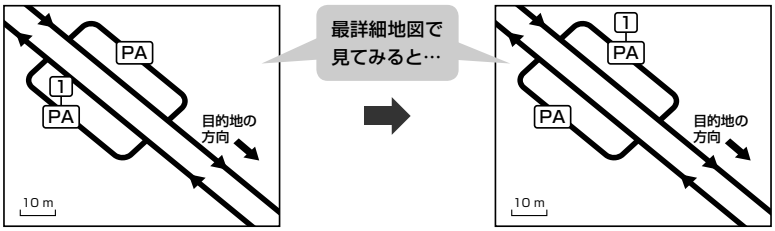
アドバイス エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の設定の注意点

通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。
最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

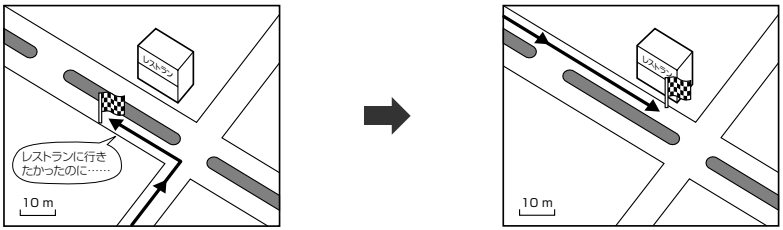
例）高速道路のPAに経由地を設定した場合



目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

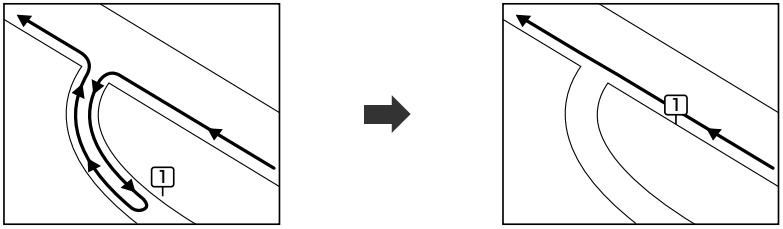
例）中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合



目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

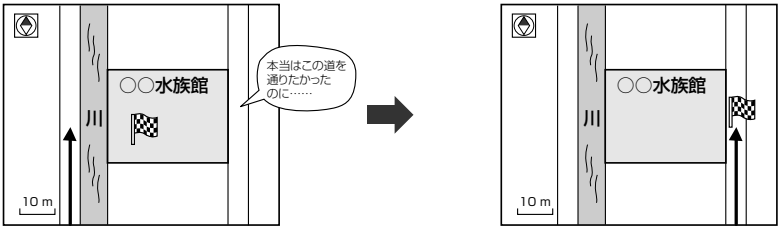
例）設定したい経由地付近に細街路がある場合



立ち寄りたい地点とは別の道路上に設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“○○水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
（駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合）

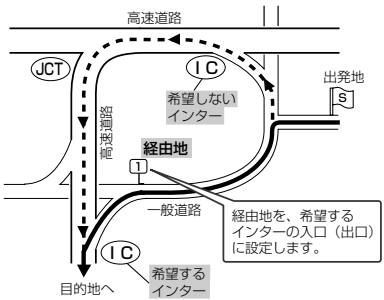


目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。

アドバイス 出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(- - - - ►)を選ぶことがあります。

VICSについて

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*1から、FM多重放送*2を使ってリアルタイム*3に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

＊1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。

＊2 FM多重放送では広域情報を提供します。

＊3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈情報提供時間〉

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。

FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。

※VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICSリンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICSリンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICSリンクデータベース：VICSリンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ先 / 問い合わせ項目	お買い上げのHonda販売店	VICSセンター
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
車載機の調子、機能、使い方	○	

※VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

※VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

電話番号　0570-00-8831
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間　平日9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号　(03)3562-1719

FAX受付時間　24時間

URL　http://www.vics.or.jp/index1.html

＊お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。
※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。
このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

(約款の適用)
第1条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。
(約款の変更)
第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。
(用語の定義)
第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者
(4) VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)
第4条　VICSサービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス
(VICSサービスの提供時間)
第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契 約

(契約の単位)
第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。
(サービスの提供区域)
第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。
（VICSサービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第４条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。
（契約上の地位の譲渡又は承継）
第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。
（加入者が行う契約の解除）
第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき
（当センターが行う契約の解除）
第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
２　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料 金

（料金の支払い義務）
第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保 守

（当センターの保守管理責任）
第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。
（利用の中止）
第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
２　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑 則

（利用に係る加入者の義務）
第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。
（免責）
第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
２　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金 300円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地図ソフトについて

重　要　!!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使　用　規　定

1．(株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。

2．(株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し､本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。

3．お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。

（1）必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。

（2）車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。

4．お客様は、以下の事項を承諾するものとします。

（1）本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。

（2）本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は､(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)

（3）本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。

5．お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。

（1）本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。

（2）第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡･レンタル･リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む｡)の全部または一部を使用させること。

（3）本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。

（4）本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。

（5）その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

⚠ 警告

指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があり、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平26情使、第244-B54号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平25情使、第798-004号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061・13-063)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2014年11月のものを使用しています。

地図ソフトについて

- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- “ゼンリン”および“ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2014年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2014年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
  - ◆3D交差点……ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆ジャンクションビュー…ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
  - ◆方面看板……ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。（全国の主要交差点）
    ※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2014年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図（国土地理院発行）の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは（株）ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ（2014年11月発行）をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。（予測データ提供元：NTTデータ　予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター）
  なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、（一財）日本デジタル道路地図協会、（公財）日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
  ※本ソフトの収録エリアには2015年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICS センター)
電話番号：0570-00-8831
電話受付時間：9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2014年12月(高速・有料道路)／2014年10月(国道・都道府県道)
■交通規制※1：2014年11月　■住所検索　：2014年11月　■電話番号検索：2014年11月
■個人宅電話番号検索：2014年8月　■郵便番号検索：2014年11月　■ジャンル検索：2014年10月
■高速・有料道路料金※2：2014年12月　■市街地図　：2014年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。また、増税などにより実際の金額とは異なる場合があります。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2015年10月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2015年10月発行　製作／株式会社ゼンリン
© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION
© 2014 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION
© ジオ技術研究所
© 2015 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先
株式会社ゼンリン　カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-210-616
受付時間 9:30～17:30　月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 %以上収録地域 → 無印、50 %以上収録地域→□、50 %未満収録地域→

北海道	札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町、岩見沢市、網走市、留萌市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、江差町、斜里町、伊達市、白老町、音更町、北斗市、池田町、洞爺湖町、新ひだか町、清水町、芽室町、幕別町、七飯町、八雲町、岩内町、余市町、奈井江町、鷹栖町、東神楽町、美瑛町
青森県	三沢市、青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、藤崎町、大鰐町、東北町、つがる市、平川市、野辺地町、田舎館村
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、陸前高田市、釜石市、二戸市、雫石町、岩手町、滝沢市、一関市、紫波町、矢巾町、大槌町、山田町、岩泉町、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、平泉町
宮城県	多賀城市、仙台市、石巻市、塩竈市、気仙沼市、白石市、角田市、名取市、岩沼市、大河原町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、富谷町、色麻町、加美町、登米市、栗原市、東松島市、美里町、大崎市、蔵王町、村田町、柴田町、亘理町、大和町、大衡村、涌谷町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、五城目町、井川町、由利本荘市、潟上市、大仙市、北秋田市、にかほ市、仙北市、八郎潟町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、河北町、高畠町、川西町、庄内町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、桑折町、国見町、本宮市、鏡石町、西郷村、矢吹町、小野町、田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、会津美里町、石川町、玉川村、三春町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
茨城県	水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、石岡市、結城市、龍ケ崎市、下妻市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、常陸大宮市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、行方市、常総市、つくばみらい市、小美玉市、河内町、城里町、大子町、美浦村、八千代町
栃木県	宇都宮市、小山市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、上三川町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、那須町、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、茂木町
群馬県	前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、桐生市、榛東村、吉岡町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、嬬恋村、草津町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、下仁田町、昭和村
埼玉県	川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀞町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里市、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町
山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ケ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
愛知県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市

市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)の収録エリア

90 %以上収録地域 → 無印、50 %以上収録地域→□、50 %未満収録地域→

三重県	津市、松阪市、いなべ市、東員町、菰野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曽岬町、朝日町、川越町、多気町、明和町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町
滋賀県	近江八幡市、草津市、大津市、彦根市、長浜市、守山市、栗東市、野洲市、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、米原市、高島市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、長岡京市、宇治田原町、笠置町、和束町、南山城村、京丹後市、南丹市、大山崎町、伊根町、与謝野町
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、福崎町、太子町、上郡町、神戸市、姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、養父市、丹波市、宍粟市、朝来市、たつの市、多可町、香美町、新温泉町、加東市、市川町、神河町
奈良県	奈良市、橿原市、桜井市、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、田原本町、明日香村、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町、河合町、安堵町、川西町、宇陀市、三宅町、高取町、吉野町、大淀町、下市町、黒滝村
和歌山県	和歌山市、海南市、岩出市、かつらぎ町、湯浅町、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、有田川町、高野町、紀美野町、九度山町、広川町、美浜町、日高町、由良町、印南町、みなべ町、日高川町、上富田町、太地町、串本町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、三朝町、日吉津村、八頭町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、伯耆町
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、雲南市
岡山県	岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
広島県	呉市、尾道市、福山市、府中市、府中町、坂町、江田島市、広島市、竹原市、三原市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、海田町、熊野町、安芸高田市
山口県	下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、和木町、平生町、周防大島町、田布施町
徳島県	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、石井町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町、阿波市、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
香川県	高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、綾川町、宇多津町、まんのう町、琴平町、多度津町、三豊市、小豆島町、三木町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、松前町、砥部町、伊方町、久万高原町、西予市、東温市、内子町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、梼原町、四万十市、香南市、香美市、四万十町、黒潮町、いの町、越知町

福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、苅田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、福智町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、対馬市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市＊、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、氷川町、芦北町、津奈木町 ＊印…熊本市南区は50 %以上収録地域になります。
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、さつま町
沖縄県	那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町、豊見城市、与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、宮古島市、南城市、八重瀬町

アドバイス

- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2014年7月です。

地図に表示される記号

地図表示記号(例)

- 都道府県庁舎(灰色)
- 市役所・特別区庁舎(灰色)
- 町村役場・政令指定都市区役所庁舎
- 官公署・市町村役場支所(出張所)
- 消防署(含む:分署・支署・出張所)
- 自衛隊
- 学校
- 病院
- 警察署・交番・駐在所
- 図書館
- 海水浴場・(湖水、池)水泳場
- デパート・スーパー・ショッピング施設
- スーパーマーケット・その他ショップ
- ホテル・旅館・宿泊施設
- 史跡・旧跡、観光名所
- 神社
- 寺院(仏閣、地蔵)
- 教会
- 城・城跡
- 美術館
- 博物館
- 郵便局
- 銀行
- 飛行場・空港
- 港
- フェリーターミナル
- ファミリーレストラン
- 山頂
- 工場
- 一方通行記号
- 交差点
- サービスエリア
- パーキングエリア
- インターチェンジ
- ジャンクション
- 料金所
- ランプ(出入口)
- ランプ(出口専用)
- 駐車場
- 運動施設
- サッカースタジアム
- 墓地
- 冬季通行止め
- その他目標施設
- ウインズ
- ガソリンスタンド
- 展望タワー
- 動物園
- 植物園
- 水族館
- ゴルフ場
- 温泉
- スキー場
- 遊園地・テーマパーク
- テーマパークゲート
- キャンプ場
- スタジアム
- 公園
- マリーナ
- 盗難多発地点

道路の表示色

青色:高速道路、有料道路
赤色:国道
緑色:主要地方道、県道
灰色:一般道、細街路
青色(破線):フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。

アドバイス
道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。
上記の色は **ノーマル** を選んだときの色を記載しています。

立体アイコン(例)

東京タワー

新宿センタービル

神宮球場

松江城

日本武道館

横浜ランドマークタワー

東京都庁(第一庁舎)

通天閣

原爆ドーム

JR 東京駅

ETCについて

＜ETCとは＞

インターチェンジランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。
しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。
ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。
ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。
通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。
※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

＜ETCを利用するには＞

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。
カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。
また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。

アドバイス

- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーンの表示(☞F-5)を **しない** に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- 右画面AV表示で映像を表示させているとき、ETCゲート通過時のETC利用可能メッセージ表示中は、映像が表示されません。

予告案内について

- ETCの利用ができないときは、“ETCが利用できません”とETC車載器から予告案内を音声と表示でお知らせします。また、ETCの利用が可能なときは、受信音でお知らせします。
- 予告案内は料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

映像の調整のしかた

各オーディオや別売の各カメラ映像などで別々に調整することができます。

※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。走行中は調整できる項目が限られます。

※ 携帯電話 をタッチ後は、 MENU を長押ししても画質調整を行うことはできません。

※リアカメラの映像を調整する場合は、セレクトレバーをリバースに入れるため、パーキングブレーキを引くなど車の停止を確認してから映像調整を行ってください。

画質を調整する

1 **調整したい映像を表示させて、 MENU を長押しする。**

2 **画質調整 ➡調整したい項目を選んでタッチする。**

※調整する画面によっては、 画質調整 のタッチは不要です。

※調整する画面によっては、調整項目が 明るさ ／ コントラスト のみになります。

3 **◀／▶をタッチして値を調整する。**

アドバイス
調整はタッチパネルの ◀ または ▶ をタッチし続けても調整できます。
タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのを止めてください。

設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。

明るさ(1～31)調整	◀をタッチすると暗くなり、▶をタッチすると明るくなる。 アドバイス 車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。
コントラスト(1～31)調整	◀をタッチすると黒さが増し、▶をタッチすると白さが増す。
色の濃さ(1～31)調整	◀をタッチすると淡くなり、▶をタッチすると濃くなる。
色合い(1～31)調整	◀をタッチすると赤が強くなり、▶をタッチすると緑が強くなる。

画面サイズを選ぶ

1 MENU を長押しする。

2 画面サイズを選んでタッチする。

ノーマル	映像を4：3で表示 ※16：9の映像は横方向に圧縮されます。 ※両端は黒い帯で表示されます。
フル	16：9の映像を最適に表示 ※4：3の映像は画面全体が引き延ばされて表示されます。
ワイド	左右の端部が横方向に向けて引き延ばされて表示 ※映像は左右が切れて表示されます。
シネマ	ノーマル表示が上下左右方向に引き延ばされて表示 ※映像は上下が切れて表示されます。

アドバイス Digital TVソースの場合は ノーマル ／ フル のみとなります。

昼夜切替をする

画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。

1 画質調整画面で 昼夜切替 をタッチする。

：タッチするたびに昼／夜と画面の輝度が切り替わります。

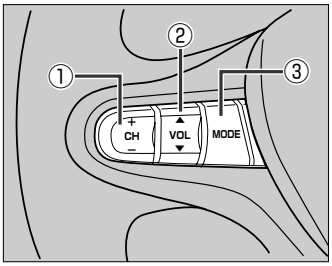
アドバイス 車のライトをON／OFFした場合、昼／夜も連動して切り替わります。

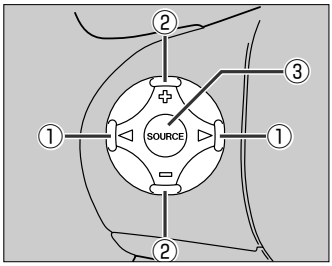
画質調整画面

オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作をするためのスイッチです。
イラストはイメージ図です。





車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。
※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH－／CH＋**スイッチ、** ◁／▷**スイッチ**

- ラジオを聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：プリセットされている次の放送局を選局します。
  CH－／◁**を押す。**：プリセットされている前の放送局を選局します。
  CH＋／▷／CH－／◁**を長く押す。**：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- Digital TVを見ているとき
  CH＋／▷、CH－／◁**を押す。**：選局します。

- MP3／WMA／AACファイル(CD・DVD＊1／SD／USB)を聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
  CH＋／▷**を長く押す。**：フォルダアップします。
  CH－／◁**を長く押す。**：フォルダダウンします。

- CD／Music Rack／iPod／BLUETOOTH Audioを聞いているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次の曲の頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前の曲の頭出し)します。
  ※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

- DVDを見ているとき
  CH＋／▷**を押す。**：スキップ(次のチャプターの頭出し)します。
  CH－／◁**を押す。**：リプレイ(再生中や前のチャプターの頭出し)します。
  ※CH＋／▷、CH－／◁の長押しは無効です。

② VOL▲／VOL▼**スイッチ、** ✙／▭**スイッチ**
  VOL▲／✙**を押す。**：オーディオ音量が大きくなります。
  VOL▼／▭**を押す。**：オーディオ音量が小さくなります。
  VOL▲／✙**を長く押す。**：連続してオーディオ音量が大きくなります。
  VOL▼／▭**を長く押す。**：連続してオーディオ音量が小さくなります。

＊1…CD・DVDでのAAC再生はできません。

③ MODE 、 SOURCE スイッチ

MODE ／ SOURCE **を押す。**：スイッチを押すたびに、

→ FM → AM → CD/DVD → Music Rack → USBまたはiPod → SD →
VTR/リアモニタHDMI ← HDMI ← Digital TV ← BLUETOOTH Audio ↲

と切り替わります。

MODE ／ SOURCE **を長く押す。**：Siri Eyes Free機能が起動します。

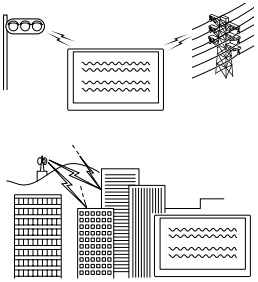
※USBとiPodは同時に接続できません。
※iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。

アドバイス

- オーディオモード⇔ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の AUDIO ⇔ 現在地 をタッチして切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
  - ディスク、SDカード未挿入
  - USB／iPod／VTR／AUX／BLUETOOTH Audio機器未接続
  - HDMI接続設定でHDMIを使用しないに設定

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。
- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。



・電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
・電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
・トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
・一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。
・本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。
・携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。
・ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。

Gracenoteデータベースについて

CDをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、トラック名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● **Gracenoteデータベースについて**

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。
詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc.提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote.本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote、CDDB、Music ID、Media VOCS、Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および／またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。

gracenote

アドバイス 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● **Gracenoteデータベースのご利用について**

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenote ソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote**プライバシーポリシー**を参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様による Gracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote

ディスク／SDカードについて

再生できるディスク

DVD-R ／ -RW ／ -R DL　CD-R ／ -RW

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。
- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク（海賊版のディスク）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）で収録されたディスク

■DVDレコーダ等で作成したディスクのビデオ再生対応

メディアの種類（記録方式） ／ 録画映像の種類	DVD-RW（VRモード）CPRM対応	DVD-RW（VRモード）CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM対応	DVD-R DVD-R DL（VRモード）CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	−	−	○	−	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

−：記録できないディスク
×：再生できないディスク
＊…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。（映像が乱れるなどの可能性があります。）

※DVD-R／-R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。
DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。
※タイトル（映像）の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。
※録画方式など詳しくはDVDレコーダなどの説明書をよくお読みください。

■CD-R、CD-RWについて
拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■8 cmディスクについて
本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しての再生もできません。

■次のような場合は再生できないことがあります。
- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- データ書き込みに失敗し再度録音した場合
- 記録に使用したレコーダ／ディスクと本機の相性が悪い場合
- 「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスク（ただしMP3／WMAは再生できます。）

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

ディスク／SDカードについて

■下記のディスクには対応していません。（再生できても正常に再生されないことがあります。）

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVDオーディオ
- SVCD
- DVD+R／+RW／+R DL
- コピー防止機能付CD（コピーコントロールCD）

■下記のディスクは使用しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

ラベルなどを貼り付けたディスク

シールやテープ、のりが付着している

プリンターで作成したラベル

プロテクトフィルム、保護シート

ディスクアクセサリー（スタビライザーなど）

破損・変形したディスク

そっている

ひびやキズがある・欠けている

透明なディスク

全体が透明

一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク

ハート形

カード型

三角形

バリがある

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面（DVD面）と音楽専用面（CD面）とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクにキズがついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

ディスクの取り扱いについて

- ディスクを持つときは記録面に触らないように持ってください。

- 使用する前など、記録面に付いたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。

- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- そらないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- 長時間使用しないときはディスクを本機から取り出してください。

SDカードについて

- **本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。**
- **SDカードに記録されているデータを本機で編集することはできません。**
- **本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。**

使用できるSDカードの種類（下記以外のSDカードは使用できません。）	
・SDカード（2 GB以下、256 MB以上を推奨） ・SDHCカード（4 GB～32 GB）（Class2～10）	※SDロゴ、SDHCロゴのある（SD規格準拠）カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。 ※セキュリティ機能など特殊な機能が付いているSDカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- **SDカードの初期化は本機で行ってください。**
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中（再生中／初期化中など）にSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってあるSDカードは使用しないでください。

SDカードの取り扱いについて

- 使用する前など、カートリッジの表面についたほこりやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など）でのご使用や保存はしないでください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 静電気や電気的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。

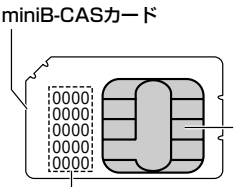
USB機器について

- 本機にはUSB機器は付属しておりません。
- 本機に接続されている別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してご使用ください。
- USB機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB機器の再生中にUSB機器を外さないでください。
- 32 GBまでの容量のUSBメモリーに対応しています。（256 MB以上を推奨）
- マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- 下記のUSB機器、接続には対応していません。
  - ・パーティションが複数あるUSB機器
  - ・電流が500 mAを超えるUSB機器
  - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSB機器
  - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器
  - ・USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0の機器を接続した場合、USB2.0で動作します。
- 全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。

miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。
ID番号は大切な番号です。(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



契約内容などを管理するための大切な番号です。お問い合わせの際にも必要です。

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
  - ・折り曲げたり、変形させない。
  - ・上に重いものを置いたり踏みつけたりしない。
  - ・水をかけたり、濡れた手でさわらない。
  - ・IC(集積回路)部には手をふれない。
  - ・分解加工は行わない。
  - ・カード挿入口に正しく挿入する。　☞「miniB-CASカードを入れる／取り出す」K-2
  - ・ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない。
    ※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
  - ・付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない。
  - ・付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできない。
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細は、B-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　　受付時間　10：00～20：00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「説明書」「取付要領書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

ウォークマン®について

本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。
※2015年2月現在に発表されているものに限ります。
※Windows Media Video(WMV)には対応していません。
※Walkman Phoneには対応していません。
※対応可能なウォークマン®については☞0-37

- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の説明書を参照してください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless／WAV(PCM)などの形式の曲には対応していません。
- 本機に接続すると、起動中はウォークマン®へ充電を行います。
- **ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子 “oma” が付いたものだけです。**
  ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
  ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
  ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- ドラッグ&ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transfarで転送した音楽ファイルは選曲モードのフォルダからのみ再生できます。
- Media Goから転送した音楽ファイルは、選曲モードの全曲やフォルダからのみ再生できます。
- x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルに対応しています。
  x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルはATRAC AD形式で保存されます。
- ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®が対応している階層とは異なります。)
- 「歌詞ピタ」サービス／「ちょい聴きmora」サービス／おまかせチャンネル／おでかけ転送／ポッドキャスト／カラオケ・語学学習モードには対応していません。

対応可能なウォークマン®

2015年2月現在

モデル名	ミュージック（音楽）	フォト（画像）	ビデオ（動画）
NW-E305/E307	○	×	×
NW-E405/E407	○	×	×
NW-E505/E507	○	×	×
NW-E002/E003/E005	○	×	×
NW-E013/E015/E016	○	×	×
NW-E023F/E025F/E026F	○	×	×
NW-E042/E043/E044	○	×	×
NW-E052/E053	○	×	×
NW-E052K/E053K	○	×	×
NW-E062/E063	○	×	×
NW-E062K/E063K	○	×	×
NW-E083	○	○	×
NW-E083K	○	○	×
NW-A605/A607/A608	○	×	×
NW-A805/A806/A808	○	○	○
NW-A916/A918/A919	○	○	○
NW-A828/A829	○	○	○
NW-A845/A846/A847	○	○	○
NW-A855/A856/A857	○	○	○
NW-A865/A866/A867	○	○	○
NW-A16/A17	○	○	○
NW-S203F/S205F	○	×	×
NW-S603/S605	○	×	×
NW-S703F/S705F/S706F	○	×	×
NW-S615F/S616F	○	○	○
NW-S636F/S638F/S639F	○	○	○
NW-S715F/S716F/S718F	○	○	○
NW-S736F/S738F/S739F	○	○	○
NW-S644/S645	○	○	○
NW-S744/S745/S746	○	○	○
NW-S754/S755/S756	○	○	○
NW-S764/S765/S766	○	○	○
NW-S774/S775	○	○	○
NW-S784/S785/S786	○	○	○
NW-S14/S15	○	○	○

モデル名	ミュージック（音楽）	フォト（画像）	ビデオ（動画）
NW-S636FK/S638FK	○	○	○
NW-S736FK/S738FK	○	○	○
NW-S644K/S645K	○	○	○
NW-S744K/S745K	○	○	○
NW-S754K/S755K	○	○	○
NW-S764K/S765K	○	○	○
NW-S774K/S775K	○	○	○
NW-S784K/S785K	○	○	○
NW-S14K/S15K	○	○	○
NW-S764BT	○	○	○
NW-S774BT	○	○	○
NW-F805/F806/F807	○	○	○
NW-F805K/F806K	○	○	○
NW-F805BT	○	○	○
NW-F885/F886/F887	○	○	○
NW-X1050/X1060	○	○	○
NW-Z1050/Z1060/Z1070	○	○	○
NW-ZX1	○	○	○
NW-ZX2	○	○	○
NW-M505	×	×	×
NW-HD1	×	×	×
NW-HD2	×	×	×
NW-HD3	×	×	×
NW-HD5/HD5H	×	×	×
NW-A1000/A1200	×	×	×
NW-A3000	×	×	×
NW-E103/E105/E107	×	×	×
NWD-W202	×	×	×
NWD-W253	×	×	×
NWD-W263	×	×	×
NWD-W273	×	×	×
NW-W274S	×	×	×
NW-WS615	×	×	×
NW-WH303	×	×	×

○：可能　×：不可

iPod／iPhoneについて

対応可能なiPod／iPhone

2015年5月現在

iPod／iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod接続コード(別売)で接続		Lightning-USBケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 6	8.3	×	×	○	×
iPhone 6 Plus	8.3	×	×	○	×
iPhone 5s	8.3	×	×	○	×
iPhone 5c	8.3	×	×	○	×
iPhone 5	8.3	×	×	○	×
iPhone 4S	8.3	○	○	×	×
iPhone 4	7.0.6	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.5	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	8.3	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.5	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2	○	○	×	×
iPod Video	1.3	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1	○	×	×	×

○：可能　×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。

アドバイス

- iPod／iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
  ※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod／iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod／iPhone側で操作しないでください。
- iPod／iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod／iPhone本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPod／iPhoneの仕様はiPod／iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のお願い

- iPod／iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod／iPhoneの故障の原因となります。
- iPod／iPhoneのユーザガイドもあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod／iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch／iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch／iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

BLUETOOTHについて

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応機器はBluetooth SIG. Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
  ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
  1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
  3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・分解や改造をする　・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、BLUETOOTH対応機器と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。

ハンズフリーについて

- **ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。**
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。

- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
  ・通話エリア外に車が移動したとき
  ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
  安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話しください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意にならないようにしてください。)
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。
- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。

アドバイス
携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/

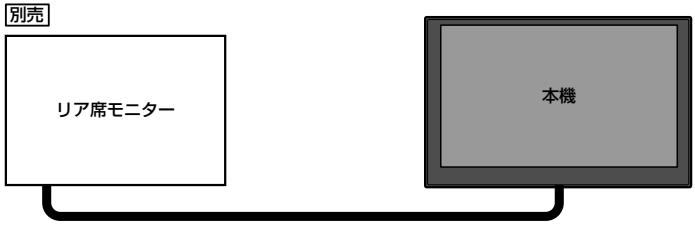
BLUETOOTH Audioについて

- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合もあります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH対応機器の音楽再生アプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

リア席モニターについて

別売

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”＊1などの使い方ができます。
＊1…DVDの音声が本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機のモード		本機に表示される画面	リア席モニターに表示される画面
ナビ	－	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR）	ナビ	Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR）
Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR）	－	Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR）	Digital TV（SD／USBの動画ファイル／iPodビデオ／VTR）
DVD	－	DVD	DVD
ナビ	FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI	ナビ	表示されません
FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI	－	FM／AM／CD／MP3／WMA／Music Rack／SD／iPod／USB／BLUETOOTH Audio／HDMI	表示されません

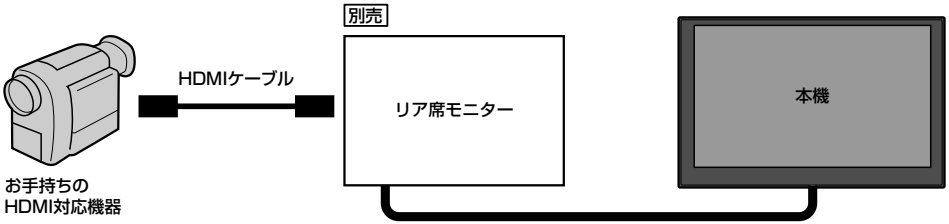
※Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。

アドバイス

- オーディオモードを終了（OFF状態）にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行います。モード選択や画面の操作を行うことはできません。操作は本機で行ってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- 標準／メーカーオプションナビ用のリア席モニター（ルーフ取付タイプHDMI入力端子/リモコン付）には対応していません。

リアモニタHDMI音声入力

リア席モニターの中には、HDMI対応機器と接続でき、映像をリア席モニター側で表示、音声を本機側で出力するものがあります。本機側で音声を出力する場合は下記手順を行ってください。



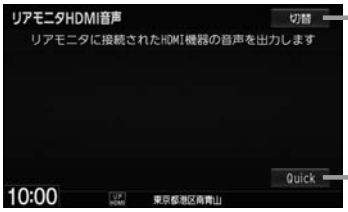
1 AUDIOメニュー(☞ A-14)から **リアモニタHDMI** をタッチする。

：リア席モニターと接続したHDMI対応機器の音声が出力されます。
（本機の画面に映像は表示されません。）

アドバイス

- 接続した機器の音声を聞きながら地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音声が出ない場合があります。
- 本機とリア席モニターを接続すると、AUDIOメニューの **VTR／AUX** が **リアモニタHDMI** に変わります。
- リア席モニターにHDMI対応機器が未接続時は、音声は出力されません。

リアモニタHDMI タッチ時の本機画面(例)



画面全体に時計を表示

Quick MENUを表示

音楽ファイルについて

● 音楽データの規格について

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R／-RW、DVD-R／-RW／-R DL、SD、USB	CD-R／-RW、DVD-R／-RW／-R DL、SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD、DVD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)		
1メディア内の最大ファイル数	CD、DVD：512 SD、USB：10,000		
1メディア内の最大フォルダ数	CD、DVD：255 SD、USB：400		
表示可能なタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名 ※ウォークマン®の場合、ジャンル名の表示も可能		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1： 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3： CD： 全角30/半角60文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	CD、DVD： 全角30/半角30文字 SD、USB： 全角32/半角64文字	全角32/半角64文字
ジャケット写真	CD、DVD：非対応　　SD、USB：対応		

※m3u／MP3i フォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスは非対応。
※WMA9 Professional／WMA9 Losslessは非対応。
※DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。
※WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
※著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
※チャンネル数が2を超える音楽データは再生できません。
※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

● **音楽ファイルの再生について**

・極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
・選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

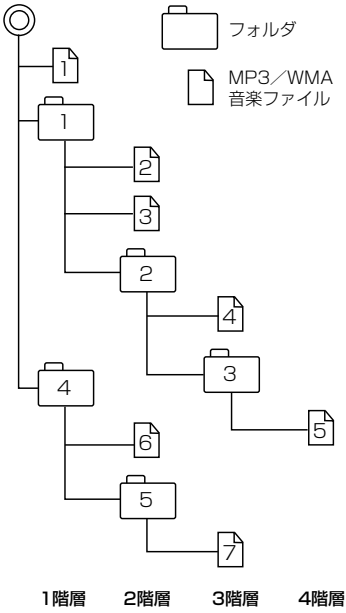
● **音楽ファイルのファイル名について**

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

● **ジャケット写真について**

・パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付与することができます。
※Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
・MP3／WMA／AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
・音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
・176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
・1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● **階層と再生順序について**



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
・本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
・ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
・再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
・使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
・通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
・同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
・8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

		MP3		WMA		AAC
		MPEG1	MPEG2	WMA7	WMA9 standard	
サンプリング周波数 (kHz)	16.000	−	○	−	−	○
	22.050	−	○	−	−	○
	24.000	−	○	−	−	○
	32.000	○	−	○	○	○
	44.100	○	−	○	○	○
	48.000	○	−	−	○	○
ビットレート (kbps)	8	−	○	−	−	○
	16	−	○	−	−	○
	24	−	○	−	−	○
	32	○	○	−	−	○
	40	○	○	−	−	○
	48	○	○	○	○	○
	56	○	○	−	−	○
	64	○	○	○	○	○
	80	○	○	○	○	○
	96	○	○	○	○	○
	112	○	○	−	−	○
	128	○	○	○	○	○
	144	−	○	−	−	○
	160	○	○	○	○	○
	192	○	−	○	○	○
	224	○	−	−	−	○
	256	○	−	−	○	○
	320	○	−	−	○	○
	VBR (可変ビットレート)	○	○	−	○	○

・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3／WMA／AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

● MP3／WMA／AACファイルの作り方について

MP3／WMA／AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・音楽CDをMP3／WMA／AACファイルに変換する場合

パソコンと市販のエンコーダソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA／AAC形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

・ディスクに書き込む場合

MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。このとき、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

- **MP3／WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

- **マルチセッションについて**

マルチセッションに対応しており、MP3／WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3／WMAファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。

アドバイス

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3／WMA／AACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3／WMA／AACファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3／WMA／AACファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイル／AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3／WMA／AACファイル以外に、“MP3”／“WMA”／“m4a”の拡張子を付けないでください。
  MP3／WMA／AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

画像ファイルについて

● 再生可能なJPEGファイルについて

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG／jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名／ファイル名	全角32文字／半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル～4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイルについて

● 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480
H.264	216 kbps～4 Mbps	15 fps、30 fps	720×480

※MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profileレベル3までです。
※ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。
※H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profileレベル2.1までです。
※可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※Windows Media Videoには対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps～320 kbps	16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかったり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
※動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。
※動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れる場合があります。

再生可能な拡張子	MP4／M4V／mp4／m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

動画ファイルについて

● 動画ファイルの再生について

・極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかったり、再生までに時間がかかることがあります。
・同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
・チャンネル数が2を超える音声データを含む動画ファイルは再生できません。
・フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
・対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4／M4V／mp4／m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
・動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
・SDカード／USBメモリデバイスの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因になる場合があります。

● 著作権について

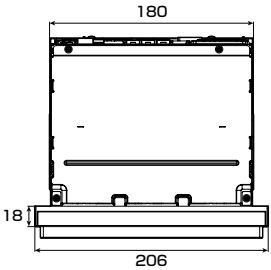
テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

構成内容

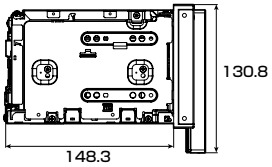
外形寸法図(単位：mm)

本体

VRM-165VFEi

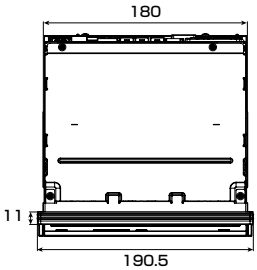


［平面図］

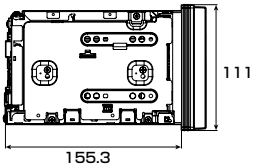


［左側面図］

VRM-165VFi

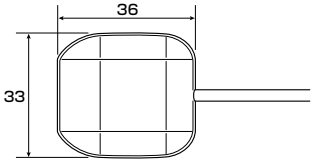


［平面図］

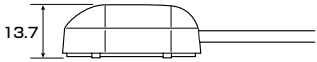


［左側面図］

GPSアンテナ

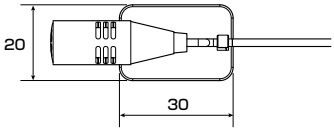


［平面図］

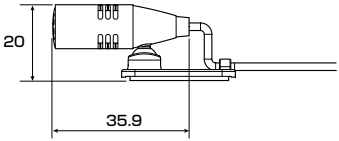


［側面図］

マイク



［平面図］



［側面図］

必要なとき

仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFTアクティブマトリックス方式
画面サイズ	〔VRM-165VFEi〕8 V型 〔VRM-165VFi〕7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	UHF：13～52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ／ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPSアンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	−145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20～20,000 Hz
S／N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM／FM／MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0～90.0 MHz AM 522～1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μV) AM 37 dB(μV)
S／N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオセパレーション	FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3 % AM 0.5 %

DVD部

対応ディスク	DVDビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz～20,000 Hz
S／N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1 %以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
リアモニター接続端子	7ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 **(VICS入力端子)**	3ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント／コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	GT13専用コネクター
マイク入力端子	ミニジャック
LUF入力端子	4ピン専用コネクター
HDMI入力端子	タイプEコネクター

その他

供給電源電圧	DC12 V
消費電流	約2 A (CD再生出力 VOL=MAX)
最大出力	3.15 Vrms(バランス出力)
外形寸法	〔VRM-165VFEi〕 206×130.8×166.3 mm 〔VRM-165VFi〕 190.5×111×166.3 mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	〔VRM-165VFEi〕2.6 kg 〔VRM-165VFi〕2.5 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(8 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

● ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール＝100 m	
	右画面	北方向を上 スケール＝400 m	
Quick MENU	自宅へ帰る、案内スタート／ストップ、 渋滞地点、再探索、地点を登録、周辺施設、 右画面表示、昼夜切替、道路切替		
情報	FM多重	周波数設定	自動選局＝ON プリセット選局＝未設定
	ecoドライブ設定	急加減速のお知らせ＝する eco速度超過のお知らせ＝する アイドリングのお知らせ＝しない 評価履歴＝残す 評価レベル＝初級 ecoドライブ表示＝しない	
設定	地図表示	メイン画面の設定 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
		右画面の設定 右画面に地図表示＝しない 名称の文字サイズ＝小 吹き出しを表示＝する 標高地図を表示＝する 地図モード＝北向き 3D視角調整＝10目盛中左から1目盛目	
		地図色設定 昼夜切り替え＝スモール連動 地図切り替え＝ノーマル 標高地図色＝季節連動	
		情報バー表示設定 MAPCODEを表示＝する 地図情報を表示＝住所名 AUDIO情報を表示＝しない	
		その他設定 緯度・経度を表示＝しない 登録地点を表示＝する 右画面AVを表示＝しない	

設定	ルート案内	全ルートの表示＝する 交差点情報の表示＝する ルート色の表示＝ピンク ETCレーンの表示＝する ルート情報の表示＝しない ハイウェイモードの表示＝する JCTビューの表示＝する 交差点拡大図の表示＝する リアル3D表示＝する 方面看板の表示＝する AV画面中の案内割込み＝する 右画面AV中の案内割込み＝する 盗難多発地点案内＝しない 目的地方向を表示＝しない EWS(緊急情報)の割込み＝する
	ランドマーク	カーディーラー＝Honda Cars店、オートテラス
	現在地(カーマーク)	矢印
	音声案内	合流案内＝案内中 踏み切り案内＝案内中 専用レーン案内＝ON 高速走行時の音声切替＝ON VICS案内＝ON 案内音量＝15目盛中左から7目盛目
	探索条件	探索条件＝推奨 料金表示＝普通車 自動再探索＝する フェリーを優先＝しない 季節規制考慮＝する 時間規制道路を考慮＝する スマートICを利用＝しない ルート学習結果を利用＝する VICS自動再探索＝する internavi交通情報を考慮＝する
	VICS	一般道＝ON　有料道＝ON 駐車場＝ON　規制＝ON 渋滞無し＝OFF　渋滞混雑＝ON 点滅＝ON
	到着予想	自動 ※自動をOFFにすると、一般道路／国道／有料道路が設定可能となります。 一般道路＝30 km/h 国道＝40 km/h 有料道路＝80 km/h
	走行軌跡	軌跡の記録スタート／ストップ＝ストップ 軌跡保存データ＝なし

設定	オプションボタン	自宅
	ETC	カード挿入アイコン表示＝する 本体ブザー音＝する 音声案内＝する カード入れ忘れ警告＝する カード有効期限案内＝する 表示割込み時間＝５秒
	セキュリティ	セキュリティ設定＝する セキュリティインジケータ＝する
	フロント／コーナーカメラ設定	フロント／コーナーカメラ自動表示＝いいえ 登録地点検知＝はい カメラインジケータ表示＝はい ※別売のフロント／コーナーカメラ接続時のみ
	リアカメラ設定	リアカメラ設定次回表示ビュー ＝前回表示ビューと同じ ※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時
	その他	キー操作音＝キー操作音１
		HDMI接続設定 HDMIを使用＝しない
		映像中の時計表示＝する

● 音量調整

音量＝3

● 画質調整

明るさ
・イルミ※1 OFF時＝25(ナビ、カメラ映像※2共通)
・イルミ※1 ON時 ＝8(ナビ)
16(フロント／コーナーカメラ)
12(リアカメラ)
コントラスト＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)
18(Digital TV)
色の濃さ＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)
色合い＝16(ナビ、カメラ映像※2共通)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ／色合い／ディスプレイ選択は表示されません。
※1…イルミ＝イルミネーション
※2…カメラ映像＝リア／フロント／コーナーカメラ

● CD

再生モード＝通常再生

● USB／SD

選曲モード＝全曲
再生モード＝通常再生
モード切替＝音楽ファイル

● サラウンド設定

OFF
※DSP選択時＝HALL
SRS CS AUTO FOCUS＝4
TruBass＝4
MixToRear＝4

● イコライザー設定

OFF

● スピーカー設定

フロント＝LARGE
リア＝NORMAL

● フェード・バランス調整

FADE＝0
BALANCE＝0
SUB WOOFER＝0

● 車速連動音量

設定＝MIDDLE

● 録音管理

録音管理＝自動録音
録音音質＝高音質モード

● FM／AM(ラジオ)

FM／AM＝FMモード
FM周波数＝76.0 MHz
AM周波数＝522 kHz
交通情報＝1620 kHz

● Music Rack

選曲モード＝全曲
再生モード＝通常再生

● iPod

モード＝ミュージック

● BLUETOOTH Audio

パスキー＝0000

● DVD

音声言語＝日本語
メニュー言語＝日本語
字幕言語＝日本語
ダイナミックレンジ圧縮＝OFF
モニター設定＝ワイド
視聴制限レベル＝制限なし

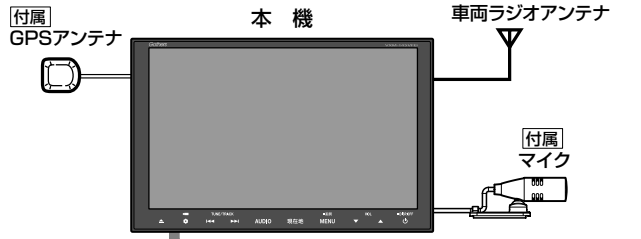
● Digital TV

受信モード＝自動切換
プリセットモード＝おでかけ
字幕＝表示しない
文字スーパー＝表示しない
システム設定
オート放送局サーチ＝する
地上D選局対象＝テレビ

● ハンズフリー

パスキー＝1212
発着信音量＝＋10
受話音量＝＋10
送話音量＝＋4
自動接続＝する
デバイス名＝Gathers

別売品(システムアップ)について



別売 ① ETC車載器（ナビ連動タイプ）

別売 ② リアカメラ／リアワイドカメラ
※車両標準装備の場合があります。

別売 ③ フロントカメラ

別売 ④ コーナーカメラ（2ビュー）

別売 ⑤ USB接続ジャック H-25

別売 ⑥ USBメモリーデバイスコード H-25

別売 ⑦ iPod接続コード H-17

別売 別売 ⑧ VTRコード／HDMI接続コード L-2

別売 ⑨ AUX接続コード L-2

別売 ⑩ 地上デジタルテレビ放送用
フィルムアンテナ
※車両標準装備の場合があります。

別売 ⑪ リア席モニター

別売 ⑫ オーディオ リモコン スイッチ 0-26
※車両標準装備の場合があります。

①ETC車載器(ナビ連動タイプ)

②リアカメラ／リアワイドカメラ

③フロントカメラ

④コーナーカメラ(2ビュー)

⑤USB接続ジャック
USB機器やiPodを再生する場合に必要です。

⑥USBメモリーデバイスコード

⑦iPod接続コード
iPodを再生させる場合に必要です。

⑧VTRコード／HDMI接続コード
市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。
※VTRコードはiPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

⑨AUX接続コード
市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

⑩地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ
地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。

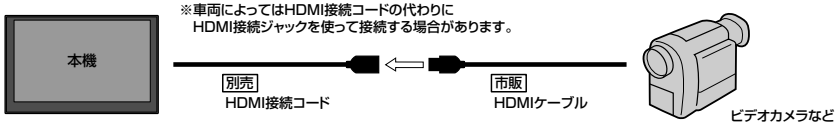
⑪リア席モニター

⑫オーディオ リモコン スイッチ

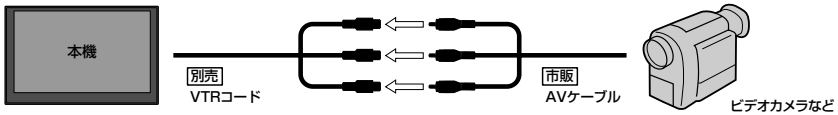
※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

■ ビデオカメラなどを使う

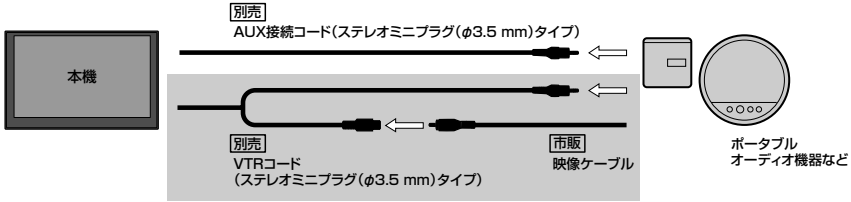
HDMIケーブル接続の場合



AVケーブル接続の場合

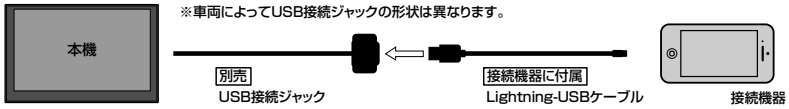


■ ポータブルオーディオ機器などを使う

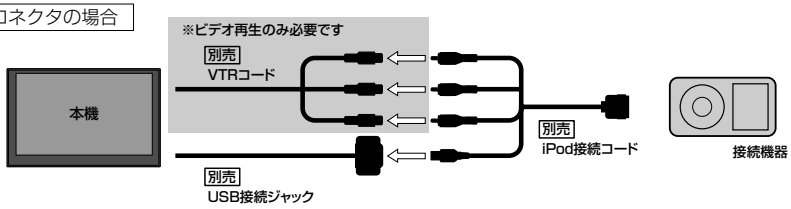


■ iPod／iPhoneを使う

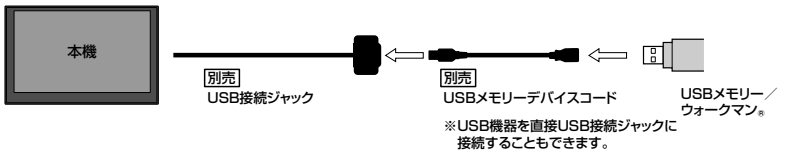
Lightningコネクタの場合 ※ビデオ再生には対応していません。



Dockコネクタの場合



■ USB機器を使う



※接続コード類の仕様は変更となる場合があります。

商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国Bluetooth SIG. Incの登録商標です。
- DVD VIDEO はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。
- ETCは、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- 本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- “NaviCon” は株式会社デンソーの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されております。分解したり、改造することも禁じられております。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  ・画像情報をMPEG-4 Visual規格に準拠して(以下、MPEG-4ビデオ)記録すること。
  ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4ビデオを再生すること。
  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for iPod iPhone

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siri and Siri Eyes Free are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- “WALKMAN®” “ウォークマン®” はソニー株式会社の登録商標、“ATRAC3plus”、“ATRAC Advanced Lossless” は、ソニー株式会社の商標です。

- Androidは、Google Inc.の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
- VICS® は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.
- SRS CS Auto はSRS Labs, Inc.の商標です。
- CS Auto技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。

ACCESS NetFront Browser

・ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標、または商標です。
© 2015 ACCESS CO.,LTD. ALL rights reserved.

- 本機はARIB(電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

- **MD5 Message-Digest Algorithm**

Copyright © 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Please be noted that this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm.

個人情報の取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。☞ G-20

保証とアフターサービス

■保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき … 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低６年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

さくいん

あ　行

案内スタート……D-12
案内ストップ……D-12
イコライザー設定……H-44
一般優先(ルート探索条件)……D-3, D-11
緯度・経度表示設定……F-3
ウォークマン®……H-19
ウォークマン®対応機種……O-37
迂回探索……D-16
映像調整……O-24
オーディオ リモコン スイッチ……O-26
オーディオをON／OFFする……H-3
オート放送局サーチ(TV)……K-10
オプションボタンの設定をする……G-2
音声案内について……O-5
音声案内の音量調整(ナビゲーション)……F-13
音声案内の詳細設定(ナビゲーション)……F-13
音声案内をやめる(ナビゲーション)……F-13
音声はそのままで画面を消す……H-3
音声はそのままでナビゲーション画面を表示する……H-3
オンライン検索……H-8, I-5
音量調整(オーディオ)……H-2

か　行

カーマーク設定……F-10
外形寸法……O-52
回転ボタン……H-23
各部のなまえとはたらき……A-11
カスタムアップデート(個別更新)……I-8
画像再生(USB機器／SD)……H-22
画像ファイルについて……O-48
画面を消す……A-11
キー操作音設定……G-19
季節連動……F-2
距離優先(ルート探索条件)……D-3, D-11
緊急警報放送(TV)……K-12
クイック ルート探索……D-2, D-6
経由地セット……B-11
経由地の入れ替え……D-10
経由地の変更／削除……D-10
経由地をスキップする……D-14
経由地を追加……D-9
現在地表示……B-8
現在のルートを表示……D-12
高音質モード(録音)……I-2
交通情報(VICS情報)……E-2
コーナーカメラ映像を表示する……G-6
故障かな？と思ったら……N-2
個人情報の取り扱いについて……O-60
小文字に変換……A-18

さ　行

再生できるディスク……O-31
再生モード……H-7, H-15, H-16, H-22, H-33, H-37
再探索……D-17, D-18, D-20
サブウーファー音量調整……H-44
サラウンド設定……H-46
サンプリング周波数……O-46
時間規制道路を考慮……D-18, D-20
時間連動……F-2
自車マーク……B-3, F-10
施設詳細……C-4
自宅セット……B-11
自宅登録……B-12
自宅へのルートを探索……D-6
自動再探索……D-18
自動録音……I-2
絞込み……C-2
ジャケット写真を登録する……H-40
車速連動音量設定……H-48
シャッフル再生……H-15
ジャンクションビュー(JCTビュー)……F-6
住所検索……C-6
渋滞情報……E-3
渋滞地点……D-14
周辺施設検索……C-8
受信モード切替……K-6
出発地・経由地・目的地の設定について……O-8
出発地セット……B-11
出発地の変更……D-7
手動録音……I-2
仕様……O-52
初期化……G-20, I-12
初期設定一覧……O-53
初期登録設定(BLUETOOTH Audio)……H-26
自律航法とマップマッチング……O-3
スキャン再生……H-7, H-22, H-37
スピーカー設定……H-47
スマートIC……D-18, D-20

スモール連動……F-2
スライドショー……H-23
設定ルート……D-12
選曲モード……H-14, H-21, H-32, H-36
全曲録音……I-3
選択曲録音……I-3
ソース選択……H-2

た　行

代表地点……B-12
探索開始……D-8
探索条件……D-3, D-11, D-18
地図画面の見かた……B-2
地図記号……O-22
地図を拡大／縮小する……B-7
地図をスクロール(地図を動かす)……B-5
地点を登録……B-13
地点を編集……F-15
地名入力……C-6
昼夜切替……B-10, O-25
続きメモリー機能(DVD)……J-2
ディスクを入れる／取り出す……A-16
ディスプレイの角度調整……A-16
テナント情報……B-11
デモ走行……D-15
デモ走行中止……D-15
動画ファイルについて……O-49
盗難多発地点案内……F-7
道路切替……B-10
登録ルート……D-13
道路交通情報……H-11
道路メイン(地図切り替え)……F-2
時計表示……H-4
ドラッグ操作……A-12

な　行

ナビ設定……F-1

は　行

パーソナルHPと同期……F-25
ハイウェイモード……B-15, F-6
ハンズフリー……M-1
微調整をする(地図をスクロールする)……B-6
ビットレート……O-46
表示できる施設……C-10
標準モード(録音)……I-2
ピンチ操作……A-12, B-7
フェード・バランス調整……H-44
フェリーを優先……D-18
複数探索……B-11, D-5
プリセット選局(ラジオ)……H-10
フリック操作……A-12, B-5
フロントカメラ映像を表示する……G-6
平均時速設定……F-14
別売品(システムアップ)……O-56
方面看板……F-6
保存したルートの呼び出し／削除をする……D-13
ボタン消……J-4, L-4
本体情報……E-8

ま　行

マップコード……C-17, D-4
マルチセッション……O-47
右画面AV……F-4
右画面表示……B-14
メイン画面／右画面の設定をする……F-2
メッセージ表示について……N-21
メニュー画面……A-14
モード切替……H-19
目的地周辺……C-8
目的地セット……B-11
目的地の入れ替え……D-10
目的地の追加……D-8
目的地の変更……D-7
目的地までのルートを探索する……D-2, D-4, D-6
目的地を探す……C-1
文字／数字を入力する……A-18
文字訂正……A-19

や　行

有料優先(ルート探索条件)……D-3, D-11

ら　行

ラジオを聞く……H-9
ランダム再生……H-7, H-22, H-33, H-37
ランドマーク表示設定……F-9
リアカメラ映像を表示する……G-13
リアカメラの次回表示ビュー設定……G-18

リア席モニターについて 別売 ……O-42
立体アイコン ……O-22
リピート再生 ……H-7, H-15, H-22, H-33, H-37
ルート案内時の注意点 ……O-6
ルート案内設定 ……F-5
ルート案内をストップ／スタートする ……D-12
ルート学習 ……D-18, D-20
ルート削除 ……D-13
ルート情報 ……B-15, F-5
ルート設定 ……D-2
ルート全表示 ……D-12
ルート沿い ……C-8
ルート探索 ……D-4, D-6
ルート探索条件設定 ……D-18
ルート保存 ……D-13
ルートを変更する ……D-7
レベル1(文字)表示 ……E-2
レベル2(簡易図形)表示 ……E-2
レベル3(地図)表示 ……E-3
ローカルアップデート ……I-7
録音 ……I-1
録音音質 ……I-2
録音方法(自動／手動) ……I-2

わ 行

ワンセグに切り替え ……K-6

数字・アルファベット

3D地図 ……B-3
3D表示の角度調整 ……F-2
AAC ……O-44
BLUETOOTH Audio ……H-26
CD-TEXT情報 ……H-5
CD再生 ……H-5
CD録音設定 ……I-2
CPRM対応 ……O-31
Digital TV(12セグ／ワンセグ) ……K-1
DSP(サラウンドの設定) ……H-46
DVD再生 ……J-1
ecoドライブ ……E-9
ETC ……E-14, G-3, O-23
ETCレーン表示 ……F-5
FM／AM ……H-9
GPS ……B-3
Gracenoteデータベース ……O-29
H.264 ……O-49
internavi情報 ……E-8
internavi設定について ……G-2
internaviルート ……D-2, D-11
iPod／iPhone対応可能機種 ……O-38
iPod再生 ……H-12
JPEG(画像ファイル) ……O-48
miniB-CASカードについて ……O-35
miniB-CASカードを入れる／取り出す ……K-2
MP3 ……O-44
MPEG4 ……O-49
Music Rack ……H-34, I-1
NaviCon ……C-20
QQコール ……M-17
Quick MENU ……B-9, B-10
SDカード ……H-19, O-33
SDカードから地点を登録する ……F-24
SDカードを入れる／取り出す ……A-16
SRS CS Auto(サラウンドの設定) ……H-46
USB ……H-19, O-34
VICS ……E-2
VICS渋滞情報(矢印表示) ……E-3
VICS情報マーク ……E-3
VICSタイムスタンプボタン ……D-14
VRモードディスク ……J-4, O-31
VTR／AUX／HDMI ……L-1
WMA ……O-44

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間:**9時～12時、13時～17時**／
但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

発売元　株式会社ホンダアクセス
〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　パナソニック株式会社
オートモーティブ＆インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

08A40-5U0-4300-8A
Printed in Japan　YEFM0600540